

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和 6 年 03 月 28 日

新電元工業健康保険組合

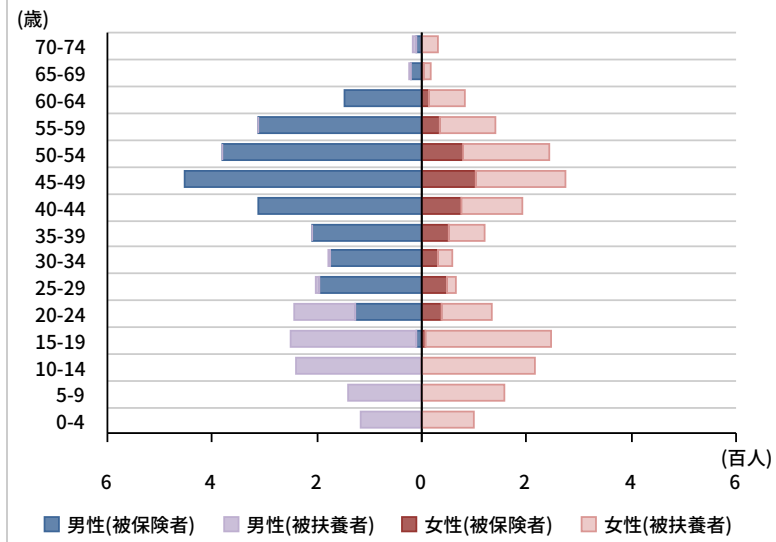
STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	43145		
組合名称	新電元工業健康保険組合		
形態	単一		
業種	機械器具製造業		
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	2,840名 男性82.75% (平均年齢44.89歳) * 女性17.25% (平均年齢42.29歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	5,206名	-名	-名
適用事業所数	10ヵ所	-ヵ所	-ヵ所
対象となる拠点数	7ヵ所	-ヵ所	-ヵ所
保険料率 *調整を含む	100.00%o	-%o	-%o

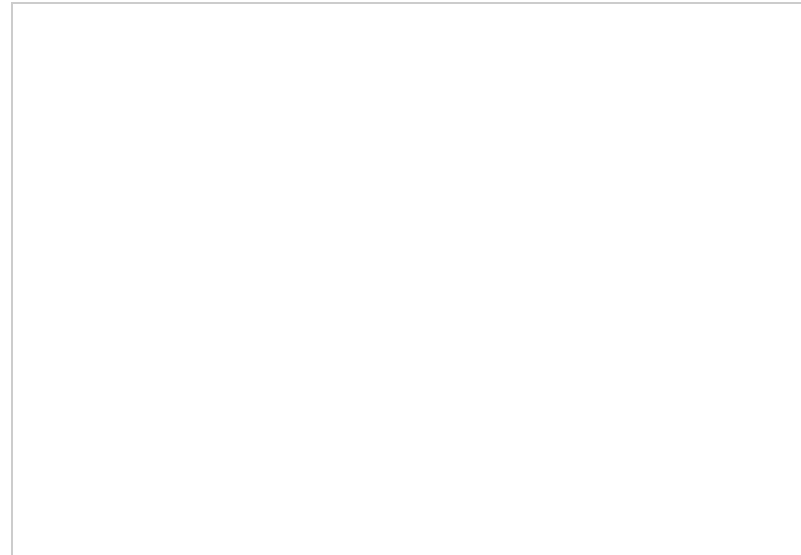
		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)					
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)		全体	2,218 / 2,494 = 88.9 %				
		被保険者	1,840 / 1,846 = 99.7 %				
		被扶養者	378 / 648 = 58.3 %				
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)		全体	341 / 459 = 74.3 %				
		被保険者	340 / 420 = 81.0 %				
		被扶養者	1 / 39 = 2.6 %				

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	8,677	3,055	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	10,984	3,868	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	5,149	1,813	-	-	-	-
	疾病予防費	54,125	19,058	-	-	-	-
	体育奨励費	55	19	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	200	70	-	-	-	-
	小計 …a	79,190	27,884	0	-	0	-
	経常支出合計 …b	1,807,370	636,398	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	4.38		-		-	

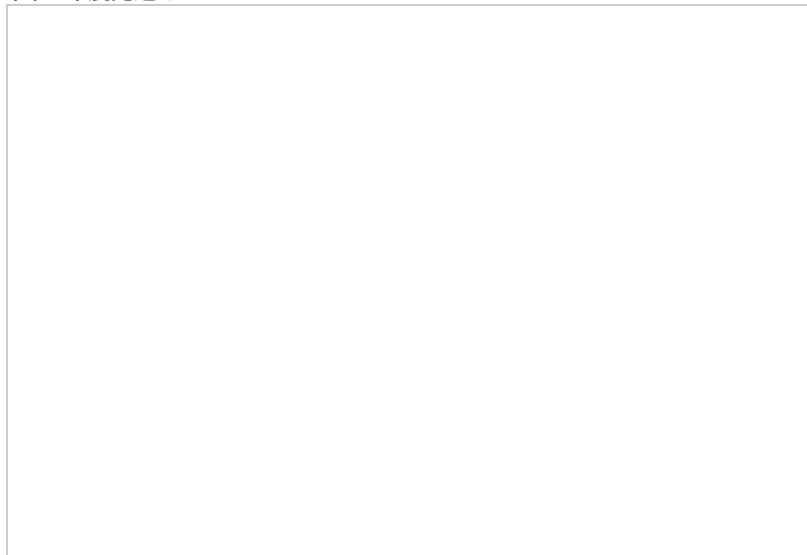
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	9人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	128人	25～29	195人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	176人	35～39	208人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	311人	45～49	451人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	382人	55～59	312人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	149人	65～69	19人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	10人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	8人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	39人	25～29	47人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	31人	35～39	53人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	76人	45～49	103人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	80人	55～59	34人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	14人	65～69	5人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	116人	5～9	141人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	239人	15～19	239人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	115人	25～29	6人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	2人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	1人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	0人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	6人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	98人	5～9	157人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	216人	15～19	241人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	97人	25～29	16人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	28人	35～39	70人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	116人	45～49	171人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	164人	55～59	107人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	68人	65～69	13人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	31人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

1. 被保険者の男女の構成をみると男性が圧倒的に多い（82.7%）
2. 関東を中心に拠点があるが、秋田、山形、熊本と、遠方にも拠点が点在している
3. 被保険者の年齢構成をみると、45～49歳がピークとなっている

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴 (特定健診受診率) 被保険者の受診率は95%程度と高い水準にあるが、被扶養者については、人間ドック並びに委託業者による生活習慣病健診を併せても40%程度と低い水準であり、更に受診率向上に向けて施策を講じる必要がある (特定保健指導) 被保険者については全員対象として実施しているが、明確な改善が見られない、また指導を拒否するケースもある。一方被扶養者については特定保健指導を実施しておらず、早い段階での保健指導の実施を検討したい

事業の一覧	
職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
特定健康診査事業	メタボを減らす（若年層対策）
保健指導宣伝	事業主との健康課題の共有（保健事業推進委員会）
保健指導宣伝	機関誌及びホームページ
保健指導宣伝	事業所毎に状況を分析し対応する
疾病予防	人間ドック受診率の向上
疾病予防	医療費の削減
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（任継被保険者・被扶養者）
特定健康診査事業	前期高齢者向け健康相談
特定保健指導事業	特定保健指導（４０歳以上被保険者）
保健指導宣伝	機関誌及びホームページ並びに健康情報誌（赤ちゃんと！・健康管理誌）
保健指導宣伝	健康教育講演会（生活習慣病、メンタルヘルス）
疾病予防	保健師による保健指導（４０歳未満被保険者）
疾病予防	たばこ対策（オンライン禁煙プログラム）
疾病予防	がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん検診含む）
疾病予防	歯科健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	受診勧奨（マイヘルスレポート）
疾病予防	医療費通知（後発医薬品差額通知含む）
体育奨励	体力づくり（ハイキング補助）
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	雇い入れ時健康診断

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
特定健康診査事業 保健指導宣伝	2,3,4	メタボを減らす(若年層対策)	1. 肥満者 (BMI25以上) の人を1割以上減らす。	全て	男女	18～39	被保険者,基準該当者	7,475	任継及び被扶養者に対する特定健診は全額健保負担、30歳～39歳の生活習慣病健診も全額健保負担、更にオプションとなる婦人科に係るがん検診も全額健保負担にて受診。 埼玉連合会の共同事業により保健師さんの派遣により被保険者及び被扶養者に対する保健指導を実施した。	人間ドック等の補助並びにオプションである婦人科に係るがん検診を全額健保負担で受診できるため、年々受診者が増加して、健診に対する意識が上がっている。	被扶養者向けの健診・保健指導の充実	4
	1	事業主との健康課題の共有(保健事業推進委員会)	事業所より選出された委員により、年2回開催を予定	全て	男女	18～74	被保険者	0	6月第1回開催 事業所別医療費、人間ドック等受診率、令和4年度保健事業の概要等説明	6月開催により、被扶養者の特定健診受診要請や各事業所における特定保健指導への協力依頼ができ、各々受診率UPに繋がっている コロナ禍の為、Web会議にて実施	被扶養者の特定健診の受診率が目標に届いていないため、更なる協力をお願いする。 また特定保健指導の受診についても事業所に協力をお願いをする。	5
	1,2,5	機関誌及びホームページ	タイムリーな情報提供により、健保組合が実施する保健事業等の周知並びに参加率の向上を図る	全て	男女	0～74	加入者全員	1,205	ホームページは継続して開設、機関誌をホームページに年2回掲載。	機関誌とホームページを活用し、情報を発信	タイムリーな情報発信ができるような工夫が必要	5
	1	事業所毎に状況を分析し対応する	秋田新電元の特定保健指導実施率22%⇒60%	一部の事業所	男女	0～74	加入者全員	2,791	秋田、岡部、東根、新電元スリーイーのメタボ率、喫煙率、人間ドック受診率、医療費を事業所ごとに分析した。	メタボ率については、岡部、スリーイーが減少した。喫煙率は、母体が減少で推移でしている。	メタボ率がなかなか下がらない。 喫煙率も微増の事業所があり、対策が必要。	5
疾病予防	2,3	人間ドック受診率の向上	令和5年には対象者全体で人間ドック受診率年間で50%以上を目標とする。 もしくは2年単位で見た場合に、人間ドック受診率55%以上を目標とする。(←人間ドックを2年に一度の割合で受けている人も多いため設定した。)	全て	男女	30～75	加入者全員	33,166	人間ドック6割補助(令和3年度5割) 婦人科健診全額補助	人間ドック等の補助並びにオプションである婦人科に係るがん検診を全額健保負担で受診できるため、年々受診者が増加して、健診に対する意識が上がっている	令和5年度より医療機関の直接契約から業者委託契約への変更に伴う受診率の変動	5
	2,3,4,5,6,7,8	医療費の削減	医療費全体が増える状況で、まずは年間医療費を前年比横ばいを目標とする。保険給付費は多くても年間7億円以下にしたい。 ジェネリック医薬品の利用率を80%以上とする。	全て	男女	0～74	加入者全員		人間ドックの6割補助、被扶養者に対する生活習慣病健診の全額補助、オプションとなる婦人科に係るがん検診の全額補助、インフルエンザ予防接種1,000円/回補助、医療費通知の発行を実施	医療費通知によりジェネリック医薬品の利用割合も年々上がっている 令和4年度は人間ドック、生活習慣病健診(被扶養者向け)いずれも受診率が増加した。	高額医療受診者の抑制	5
個別の事業												
特定健康診査事業	2,3	特定健康診査(任継被保険者・被扶養者)	被扶養者の特定健診受診者目標 平成30年度350人、平成31年度380人、令和2年度400人、令和3年度410人、以降毎年10人以上の受診者を増やしていく。	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	7,475	委託業者である日本健康文化振興会で特定健診を無料で受診できるようにし、4月に受診対象者全員に自宅宛に受診案内を送付した。	特定健診費用を無料、更に婦人科(子宮がん、乳がん)検診を全額健保組合負担で受診できることとしており、年々受診者が増加傾向にある。	無関心層への受診勧奨。	5
	4,5,6	前期高齢者向け健康相談	重症化予防等健康寿命の延伸、また重複受診等不適切な受診行為の是正による医療費の適正化	全て	男女	63～74	被扶養者,基準該当者	407	7月に健康アンケート送付(70名分) アンケート返信者37名(52.9%) 内電話支援実施者25名(35.7%)	アンケート返信の未返者へ再度返信の依頼を行った。	疾病予防へ繋げる次の施策	5
特定保健指導事業	2,3,4	特定保健指導(40歳以上被保険者)	肥満者 (BMI25以上) の人を1割以上減らす。	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	6,966	9月からICTを使用した特定保健指導を実施。	ICTが出来ない事業所ではグループセミナーでの特定保健指導を実施し、受診率の向上を図ることが出来た。	被扶養者の受診率の向上	5

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
保健指導 宣伝	5,8	機関誌及びホームページ並びに健康情報誌（赤ちゃんと！・健康管理誌）	タイムリーな情報提供により、健保組合が実施する保健事業等の周知並びに参加率の向上を図る	全て	男女	0～75	加入者全員	717	ホームページは継続開設している。機関誌はホームページに年2回掲載。	機関誌とホームページを活用し、情報を発信。	タイムリーな情報発信ができるような工夫が必要。	5
	1,4,5,6	健康教育講演会（生活習慣病、メンタルヘルス）	事業主と共同で生活習慣病、メンタルヘルス等の疾病対策のための意識及び知識の向上を図る	全て	男女	18～74	被保険者	30	秋田にて実施。	各事業所に適した講演会等を計画できる。	コロナ禍でのセミナーの開催。	5
疾病予防	1,2,4,5	保健師による保健指導（40歳未満被保険者）	40歳未満被保険者及び、被扶養者のメタボ該当者を最小限に抑える。	全て	男女	18～39	被保険者,被扶養者,基準該当者		40歳未満のメタボ対象者に対し、埼玉県連合会保健師による保健指導（文書指導）を実施。	コロナ禍の中だが、事業所の許可を頂き、一部の事業所で対面の指導を行った。	今後はICT化必要と考える。	5
	1,2,4,5	たばこ対策（オンライン禁煙プログラム）	禁煙支援を行うことで、喫煙率の引き下げを目指す	全て	男女	20～75	被保険者	605	禁煙外来 受診者10名	自宅に居ながら禁煙外来を受診できる。	禁煙率の低下	5
	1,2,3,4	がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん検診含む）	30歳以上の人間ドック費用の60%補助（被扶養者向け生活習慣予防検診全額補助）による受診により、健康状態の確認と、疾病の早期発見、重症化予防に結びつける	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者,任意継続者	36,639	4月より生活習慣病健診の受診申込の受付開始。人間ドックはがん検診項目として婦人科健診のみ全額補助。	オプションでの婦人科に係るがん検診を全額健保負担にしたことにより、年々受診者が増えてきている。	未受診者への受診勧奨。	5
	3,4,5	歯科健診	う蝕、歯周病を予防、早期発見・早期治療を促進する	全て	男女	18～74	被保険者	0	受診勧奨は行ったが、コロナ禍の為、各事業主ともに実施の見送り。	コロナ禍の為、事業の見送り。	コロナ禍の中での事業の実施。	1
	1,2,3,4	インフルエンザ予防接種	インフルエンザへの罹患の予防及び重症化予防	全て	男女	0～75	加入者全員	1,387	10月1日～12月末日接種に対し補助。	一部事業所での集団接種が計画できたこと。	被保険者については事業所での集団接種を推奨していく。	5
	2,4,5,8	受診勧奨（マイヘルスレポート）	本人の健康診断結果に基づく情報提供を行い、「加入者の意識づけ」を行い改善（受診）を促す	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者	--	-	-	-	-
	2,7,8	医療費通知（後発医薬品差額通知含む）	保険給付費等を通知することにより、コスト意識の喚起、併せて後発医薬品の利用促進を図る ジェネリック医薬品希望シールを保険証更新時全員配付	全て	男女	0～74	加入者全員	821	12月、被保険者全員に後発医薬品差額通知含む医療費通知を配布。	後発医薬品の利用率（数量ベース）が年々上昇している。ジェネリック医薬品希望シールを全員配付。	後発医薬品の利用率の更なる上昇を目指す。	5
体育奨励	2,5	体力づくり（ハイキング補助）	運動する機会を増やし、新たに運動する者を増やすキッカケづくり	全て	男女	0～74	加入者全員	64	11月実施。参加者39名	ホームページ等での参加募集。	参加者に楽しんでもらう工夫	5

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

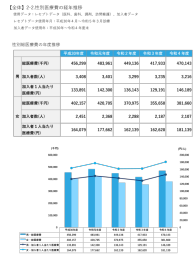
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安全衛生法に基づく健診	被保険者	男女	18 ～ 74	実施率 90%	就業時間内で実施	予定日にキャンセルする者がいる	無
雇い入れ時健康診断	労働安全衛生法に基づき実施	被保険者	男女	18 ～ 64	雇い入れ時実施	事業所指定の医療機関にて実施	-	無

STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		医療費の増加	加入者構成の分析	加入者数は年々減少しており、年少（15歳未満）、生産年齢（15-39歳）は減少しているが、生産年齢（40-64歳）は、令和3年度までは減少傾向だったが、令和4年度は増加に転じた。65歳以上の前期高齢者割合は、85人前後で推移している。 被保険者数と被扶養者数はほぼ同数である。
イ		医療費の増加	加入者構成の分析	全体の男女比率はおおよそ3：2で、40-64歳が半数を占める。 被保険者は、男性が女性の約5倍多く、40－59歳が6割を占める。 被扶養者は、女性が男性の約1.7倍多く、40歳以上の男性は13人である。24歳以下が約7割を占め、女性では40代後半、50代前半の割合も高い。
ウ		疾病を持って働く者の増加	医療費・患者数分析	経年では総医療費及び1人当たり医療費とも平成30年度から令和元年度に増加して以降、令和3年度まで減少したが、令和4年度は増加に転じている。被扶養者は全体と同様の傾向だが、被保険者は総医療費及び1人当たり医療費とも令和2年度まで上昇、令和3年度に大きく減少したが、令和4年度に増加に転じている。

工



疾病を持って働く者の増加

医療費・患者数分析

全体では総医療費は男性のほうが高いが、1人あたり医療費は女性の方が高い。
 被保険者の1人あたり医療費は、男性はほぼ横ばいだが女性は年々増加している。
 被扶養者は、総医療費、1人あたり医療費ともに女性が男性より高く、1人あたり医療費は、令和2年度以降男女とも増加している。

オ



疾病を持って働く者の増加

医療費・患者数分析

令和4年度の1人あたり医療費は、30代前半から高くなる傾向がみられ、50代前半から20万円を超えている。5-14歳、20-24歳、65-69歳を除き男性より女性が高い。
 被保険者は20-24歳の医療費が16万円を超え、50代後半から20万円を超えている。
 被扶養者は0-4歳と65歳以上で医療費が高く、40代後半から20万円を超えている。特に65-69歳の男性の医療費が400万円を超えている。

カ



疾病大分類から見える課題

医療費・患者数分析

入院では新生物、循環器系、筋骨格系、先天奇形が多く、入院外では呼吸器系、新生物、内分泌・代謝、循環器系が多い。被保険者では循環器系、新生物、消化器系の占める割合が高く、被扶養者では呼吸器系、新生物の占める割合が高い。入院の先天奇形は、全て被扶養者の医療費である。

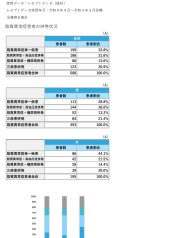
キ



疾病大分類から見える課題

医療費・患者数分析

被保険者は令和2年度まで新生物が最も高かったが、令和3年度から循環器系が上回っている。消化器系は年々増加している。
 被扶養者は呼吸器系、新生物、筋骨格系が令和元年度に増加、令和2年度に減少後、再び増加傾向に、循環器系が減少傾向である。

ク 	疾病大分類から見える課題	医療費・患者数分析	入院では新生物、消化器系が多く、入院外では呼吸器系、眼科系、皮膚が多い。
ケ 	疾病大分類から見える課題	医療費・患者数分析	大別すると妊娠・出産に関連するもの、がん・生活習慣病に関するもの、神経系や消化器系に関するものの医療費が上位10位に入っている。周産期の減少幅が大きい。先天奇形が令和4年度に大きく増加している。
コ 	生活習慣病の重症化	健康リスク分析	単一割合は、高血圧症40.6%であり、脂質異常症33.8%、糖尿病は14.5%と低い、三疾患併発が43.5%と高い。
サ 	生活習慣病の重症化	健康リスク分析	単一割合は、高血圧症40.6%であり、脂質異常症33.8%、糖尿病は14.5%と低い、三疾患併発が43.5%と高い。

シ		生活習慣病の重症化	健康リスク分析	単一割合は、高血圧症40.6%であり、脂質異常症33.8%、糖尿病は14.5%と低いが、三疾患併発が43.5%と高い。
ス		生活習慣病の重症化	健康リスク分析	三疾患併発は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病とも40代前半から増加している。40歳未満では、30-34歳は0%だが、それ以外の年代では一定数いる。
セ		生活習慣病の重症化	健康リスク分析	三疾患併発は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病とも40代前半から増加している。40歳未満では、30-34歳は0%だが、それ以外の年代では一定数いる。
ソ		生活習慣病の重症化	健康リスク分析	三疾患併発は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病とも40代前半から増加している。40歳未満では、30-34歳は0%だが、それ以外の年代では一定数いる。

令和6年03月28日〔この内容は未確定です。〕

夕

歯周病患者における生活習慣病の併発状況

医療費・患者数分析

脂質異常症、高血圧性疾患の併発割合が10%前後ずつみられるが、生活習慣病のない人が約80%であった。

手

特定健診受診率の向上

医療費・患者数分析

令和4年度の特定健康診査受診率は88.9%で国の目標値（90%）にわずかに達していない。男性は99.0%だが、女性は72.1%であり、女性の受診率が低い。経年では令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少したが、それ以降増加に転じている。

年齢階級別特定健診受診率では、65歳以上の受診率が低い。

ツ

重症化予防の推進

医療費・患者数分析

令和3年度の医療機関への受診勧奨基準において速やかに受診を要する者は383人であり、医療機関受診率は57.4%であった。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少したが、令和3年度は増加に転じている。

テ

肥満未改善

健康リスク分析

肥満解消者は121名であり、解消率は11.0%である。

ト	【令和】Ⅲ度高血圧フローチャート（追跡） ※Ⅲ度高血圧はⅡ度高血圧から移行し、Ⅳ度高血圧に移行する可能性があるため、Ⅲ度高血圧の患者はⅡ度高血圧として追跡する。
---	--

ネ



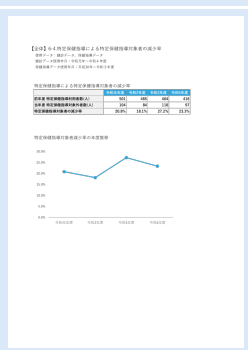
特定保健指導対象者の増加

特定保健指導分析

令和6年03月28日 [この内容は未確定です。]

令和 4 年度の特定保健指導終了率は74.3%であり、最も低かった令和 3 年度（46.6%）に比べて大きく増加している。男性の終了率は81.3%と高いが女性の終了率が37.8%と低い。年齢階級別にみると、男女とも40代前半が最も高く、年齢とともに減少している。60歳以上の女性は0%である。

ノ

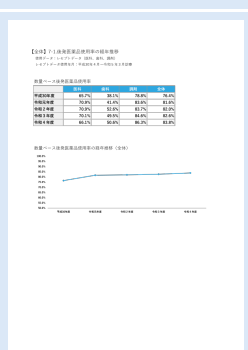


特定保健指導対象者の増加

特定保健指導分析

令和 4 年度の特定保健指導対象者の減少率は23.3%で、約 1/4 の人が次年度に対象から外れた。令和 3 年度（27.2%）からは3.9%減少している。

ハ

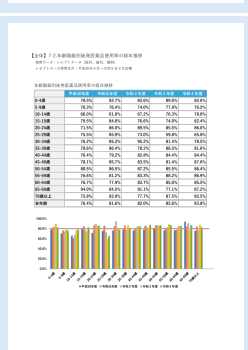


後発医薬品の利用促進

後発医薬品分析

数量ベースにおける使用率は、令和 4 年度の全体で83.8%と経年でも増加している。使用率を診療種別でみると、調剤が最も高い。

ヒ



後発医薬品の利用促進

後発医薬品分析

年齢階級別後発医薬品使用率の推移をみると、5-14歳は過去 5 年間で80%に一度も達していない。特に被保険者の20代は令和 3 年度及び令和 4 年度の使用率が低い。

令和6年03月28日「この内容は未確定です。」

フ

後発医薬品の利用促進

後発医薬品分析

1円以上50円未満のシェア率が30%を超えているが、2千円以上の対象者が82人で軽減額も大きい。

 $\wedge$

適正受診の推進

その他

令和4年度の重複受診者数は41人（0.9%）で、令和2年度（32人）から令和3年度（44人）にかけて増加したが、その後令和元年度の水準に戻っている。

赤

適正受診の推進

その他

疾患別に発生状況を見ると、呼吸器系、アレルギー性の疾患、消化器系の疾患が多くみられる。

マ

適正受診の推進

その仕

最も多かった平成元年度（11人）以降減少傾向で、令和4年度は3人であった。

三



適正受診の推進

その他

令和6年03月28日 [この内容は未確定です。]

頻回受診は6名と少ない。乳がんと皮膚が2人ずつ、片頭痛、骨折が1人ずつであった。

ム



適正服薬の推進

その他

令和4年度における重複投薬患者数は15人で、経年では令和2年度に低下したが、その後元の水準に戻りつつある。

メ



適正服薬の推進

その他

重複投薬患者数は17人で、去痰剤、鎮咳去痰剤疼痛が多く、他は消化性潰瘍剤、解熱鎮痛消炎剤であった。

モ



適正服薬の推進

その他

令和4年度における6種の多剤投薬患者数は790人で、経年では令和2年度に低下したが、その後徐々に増加している。

ヤ

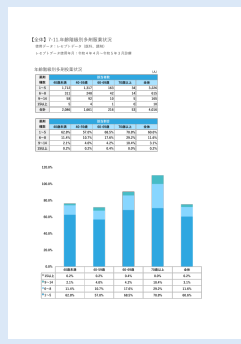


適正服薬の推進

その他

令和6年03月28日 [この内容は未確定です。]
令和4年度における15種の多剤投薬患者数は10人で、経年では令和2年度に低下したが、その後やや増加している。

ユ



適正服薬の推進

その他

年齢階級別では年齢とともに多剤となっており、特に6種以上の割合が増加している。

ヨ

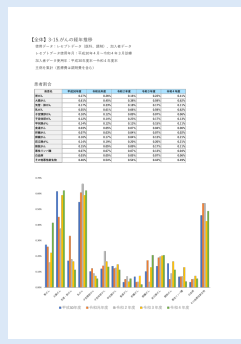


適正服薬の推進

その他

併用禁忌の薬剤使用者が3人いる。禁忌薬剤の種類はその他の中枢神経用薬、主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの、精神神経用剤、消化性潰瘍用剤である。組み合わせでは、主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するものと精神神経用剤及びその他の中枢神経系用薬、消化性潰瘍剤とその他の中枢神経系用薬であった。

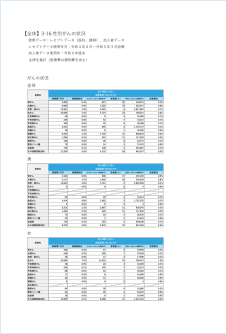
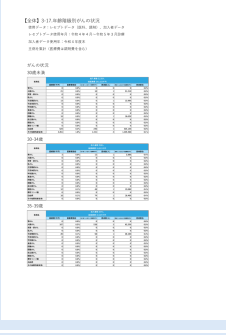
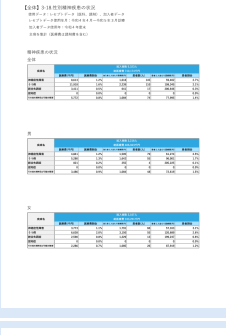
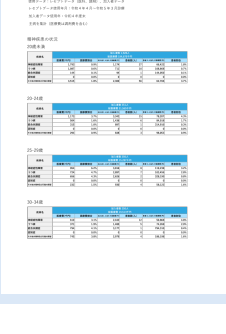
ラ



がんへの取り組み推進

健康リスク分析

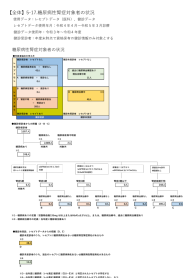
患者割合は、被保険者では大腸がん、胃がん、その他悪性新生物、乳がんが多く、被扶養者は乳がん、その他悪性新生物、大腸がんが多い。加入者1人当たり医療費は、被保険者はその他悪性新生物、膀胱がんが高く、被扶養者は乳がんが高い。経年では、年度によりばらつきがみられる。患者1人当たり医療費は経年で白血病が最も高額であるが、令和4年度は気管・肺がんが最も高額である。

リ		がんへの取り組み推進	健康リスク分析	令和4年度のがんの医療費は全体の11.4%で、女性が男性より高い。男性では、医療費割合は気管・肺がん、患者割合は大腸がん、胃がんが多く、女性は医療費割合及び患者割合とも乳がんが高い。加入者1人当たりの医療費は乳がんが、患者1人当たりの医療費では気管・肺がんが高い。
ル		がんへの取り組み推進	健康リスク分析	40代後半以降総医療費にみるがんの医療費割合が高くなる。白血病は34歳未満で2人、50代前半で1人、大腸がんと乳がんは40代前半と50代に患者数が多い。胃がんは40代後半から60代前半、気管・肺がんは50代に患者数が多い。
レ		メンタルヘルスに対する取り組み推進	健康リスク分析	精神疾患が総医療費に占める割合が4.0%で、女性が男性より高い。精神疾患の医療費のうち、うつ病に占める割合は男性より女性で高く、神経症性障害に占める割合は女性より男性で高い。患者数や患者割合は、男女とも神経症性障害、うつ病が多い。加入者1人当たり医療費はうつ病が高く、患者1人当たり医療費は統合失調症が高い。
ロ		メンタルヘルスに対する取り組み推進	健康リスク分析	20代後半が最も高く総医療費の16.8%を占める。30代後半まで減少し、40代前半で7.7%に増加、以降60代前半にやや増加するものの減少傾向である。20代と60代後半は神経症性障害、30代前半は統合失調症、60代後半を除く30代後半以降はうつ病の医療費割合が高い。被保険者の50代にうつ病の患者割合が高くみられる。

糖尿病性腎症重症化予防の推進

健康リスク分析

糖尿病基準該当の医療機関未受診者が43人いる。健診未受診者で過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断中の11人のフォローの優先度も高いと考えられる。内訳は被保険者が1人、被扶養者が10人である。



【全体】 1-1.年齢階級別加入数の経年推移

使用データ：加入者データ

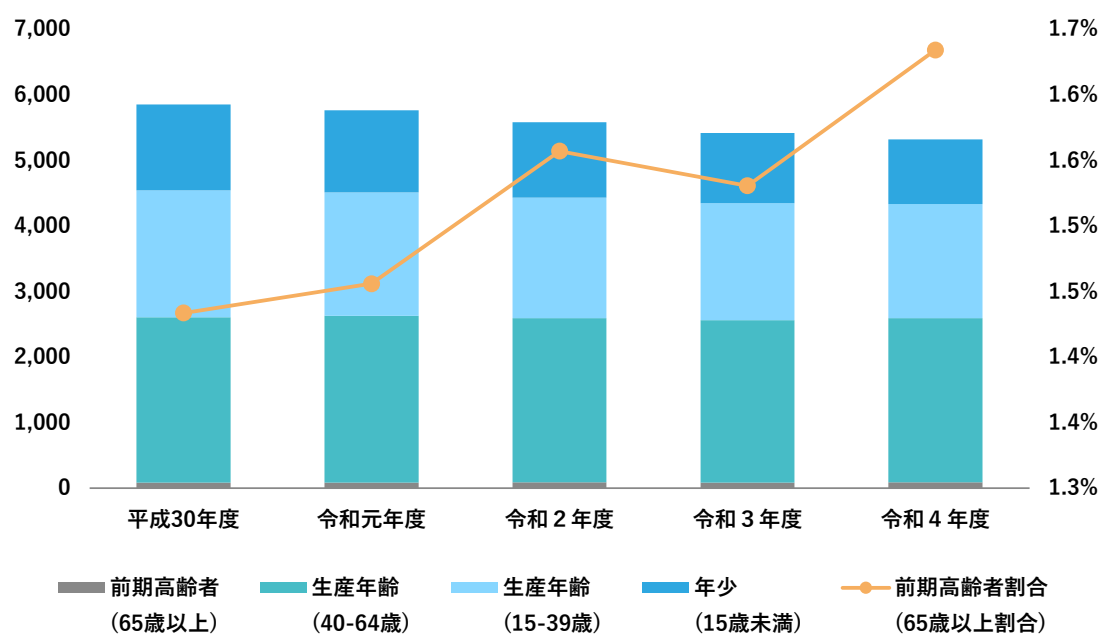
加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

年齢階級別加入者数の推移

(人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年少 (15歳未満)	1,315	1,252	1,150	1,073	987
生産年齢 (15-39歳)	1,937	1,888	1,842	1,787	1,739
生産年齢 (40-64歳)	2,523	2,545	2,508	2,479	2,510
前期高齢者 (65歳以上)	84	84	87	83	87
合計	5,859	5,769	5,587	5,422	5,323
前期高齢者割合 (65歳以上割合)	1.4%	1.5%	1.6%	1.5%	1.6%

(人)



【全体】1-2.性別・年齢階級別加入者数の状況

使用データ：加入者データ

加入者データ使用年：令和2年～令和4年度末

【令和2年度】

性別・年齢階級別加入者数

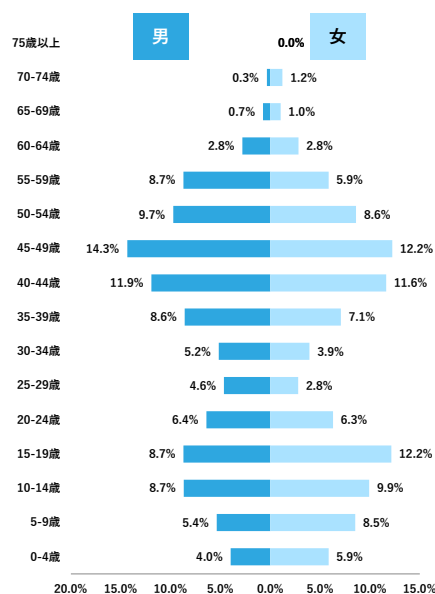
(人)

	令和2年度		
	男	女	合計
0-4歳	131	134	265
5-9歳	177	195	372
10-14歳	286	227	513
15-19歳	287	278	565
20-24歳	211	144	355
25-29歳	153	64	217
30-34歳	170	90	260
35-39歳	283	162	445
40-44歳	393	266	659
45-49歳	473	280	753
50-54歳	321	197	518
55-59歳	287	134	421
60-64歳	92	65	157
65-69歳	24	24	48
70-74歳	11	28	39
75歳-	0	0	0
合計	3,299	2,288	5,587

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和2年度		
	男	女	合計
0-4歳	4.0%	5.9%	4.7%
5-9歳	5.4%	8.5%	6.7%
10-14歳	8.7%	9.9%	9.2%
15-19歳	8.7%	12.2%	10.1%
20-24歳	6.4%	6.3%	6.4%
25-29歳	4.6%	2.8%	3.9%
30-34歳	5.2%	3.9%	4.7%
35-39歳	8.6%	7.1%	8.0%
40-44歳	11.9%	11.6%	11.8%
45-49歳	14.3%	12.2%	13.5%
50-54歳	9.7%	8.6%	9.3%
55-59歳	8.7%	5.9%	7.5%
60-64歳	2.8%	2.8%	2.8%
65-69歳	0.7%	1.0%	0.9%
70-74歳	0.3%	1.2%	0.7%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	1.6%	1.1%	2.3%
40-64歳	44.9%	47.5%	41.2%
15-39歳	33.0%	33.5%	32.3%
15歳未満	20.6%	18.0%	24.3%

【令和3年度】

性別・年齢階級別加入者数

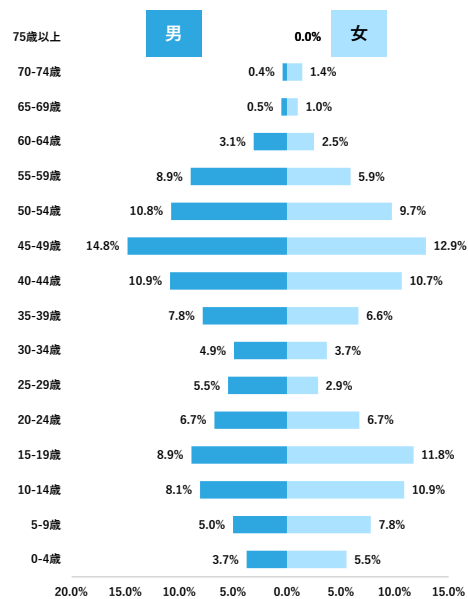
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和3年度		
	男	女	合計
0-4歳	121	121	242
5-9歳	162	170	332
10-14歳	261	238	499
15-19歳	287	257	544
20-24歳	218	147	365
25-29歳	177	63	240
30-34歳	159	81	240
35-39歳	253	145	398
40-44歳	351	233	584
45-49歳	479	282	761
50-54歳	348	213	561
55-59歳	289	129	418
60-64歳	100	55	155
65-69歳	17	22	39
70-74歳	13	31	44
75歳-	0	0	0
合計	3,235	2,187	5,422

	令和3年度		
	男	女	合計
0-4歳	3.7%	5.5%	4.5%
5-9歳	5.0%	7.8%	6.1%
10-14歳	8.1%	10.9%	9.2%
15-19歳	8.9%	11.8%	10.0%
20-24歳	6.7%	6.7%	6.7%
25-29歳	5.5%	2.9%	4.4%
30-34歳	4.9%	3.7%	4.4%
35-39歳	7.8%	6.6%	7.3%
40-44歳	10.9%	10.7%	10.8%
45-49歳	14.8%	12.9%	14.0%
50-54歳	10.8%	9.7%	10.3%
55-59歳	8.9%	5.9%	7.7%
60-64歳	3.1%	2.5%	2.9%
65-69歳	0.5%	1.0%	0.7%
70-74歳	0.4%	1.4%	0.8%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	1.5%	0.9%	2.4%
40-64歳	45.7%	48.4%	41.7%
15-39歳	33.0%	33.8%	31.7%
15歳未満	19.8%	16.8%	24.2%

【令和4年度】

性別・年齢階級別加入者数

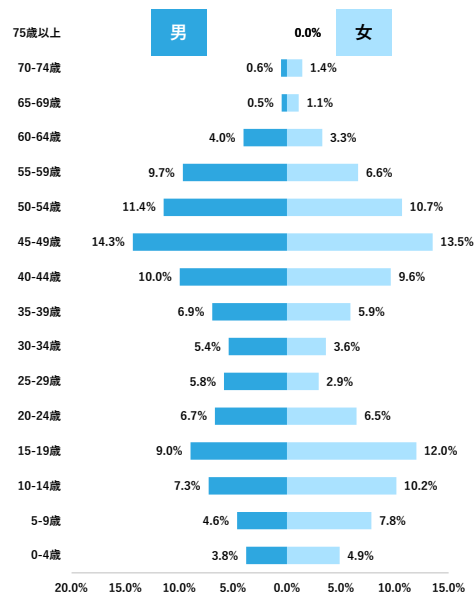
(人)

性別・年齢階級別加入者構成割合

	令和4年度		
	男	女	合計
0-4歳	122	103	225
5-9歳	149	165	314
10-14歳	234	214	448
15-19歳	288	253	541
20-24歳	215	136	351
25-29歳	188	62	250
30-34歳	174	76	250
35-39歳	223	124	347
40-44歳	320	203	523
45-49歳	460	285	745
50-54歳	368	225	593
55-59歳	311	139	450
60-64歳	130	69	199
65-69歳	16	23	39
70-74歳	18	30	48
75歳-	0	0	0
合計	3,216	2,107	5,323

	令和4年度		
	男	女	合計
0-4歳	3.8%	4.9%	4.2%
5-9歳	4.6%	7.8%	5.9%
10-14歳	7.3%	10.2%	8.4%
15-19歳	9.0%	12.0%	10.2%
20-24歳	6.7%	6.5%	6.6%
25-29歳	5.8%	2.9%	4.7%
30-34歳	5.4%	3.6%	4.7%
35-39歳	6.9%	5.9%	6.5%
40-44歳	10.0%	9.6%	9.8%
45-49歳	14.3%	13.5%	14.0%
50-54歳	11.4%	10.7%	11.1%
55-59歳	9.7%	6.6%	8.5%
60-64歳	4.0%	3.3%	3.7%
65-69歳	0.5%	1.1%	0.7%
70-74歳	0.6%	1.4%	0.9%
75歳-	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

性別・年齢階級別加入者数構成割合



	全体	男	女
65歳以上	1.6%	1.1%	2.5%
40-64歳	47.2%	49.4%	43.7%
15-39歳	32.7%	33.8%	30.9%
15歳未満	18.5%	15.7%	22.9%

【全体】 2-1.医療費の経年推移

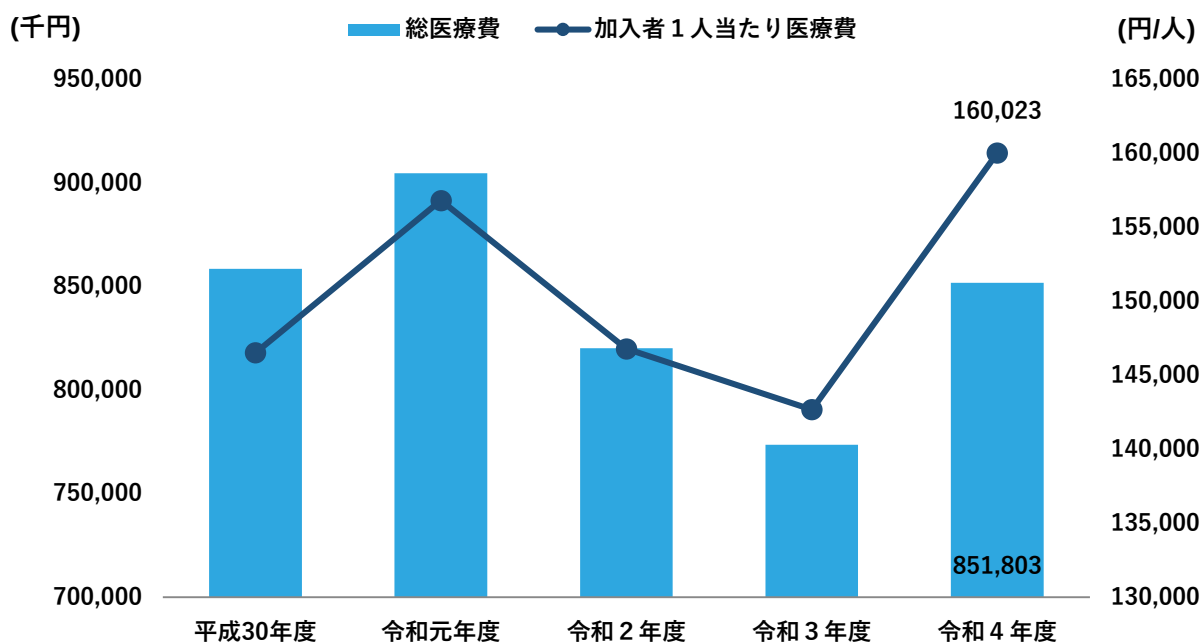
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤、訪問看護）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

総医療費の年度推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総医療費(千円)	858,457	904,666	820,111	773,583	851,803
加入者数(人)	5,859	5,769	5,587	5,422	5,323
加入者1人当たり 医療費(円)	146,519	156,815	146,789	142,675	160,023



【全体】 2-2.性別医療費の経年推移

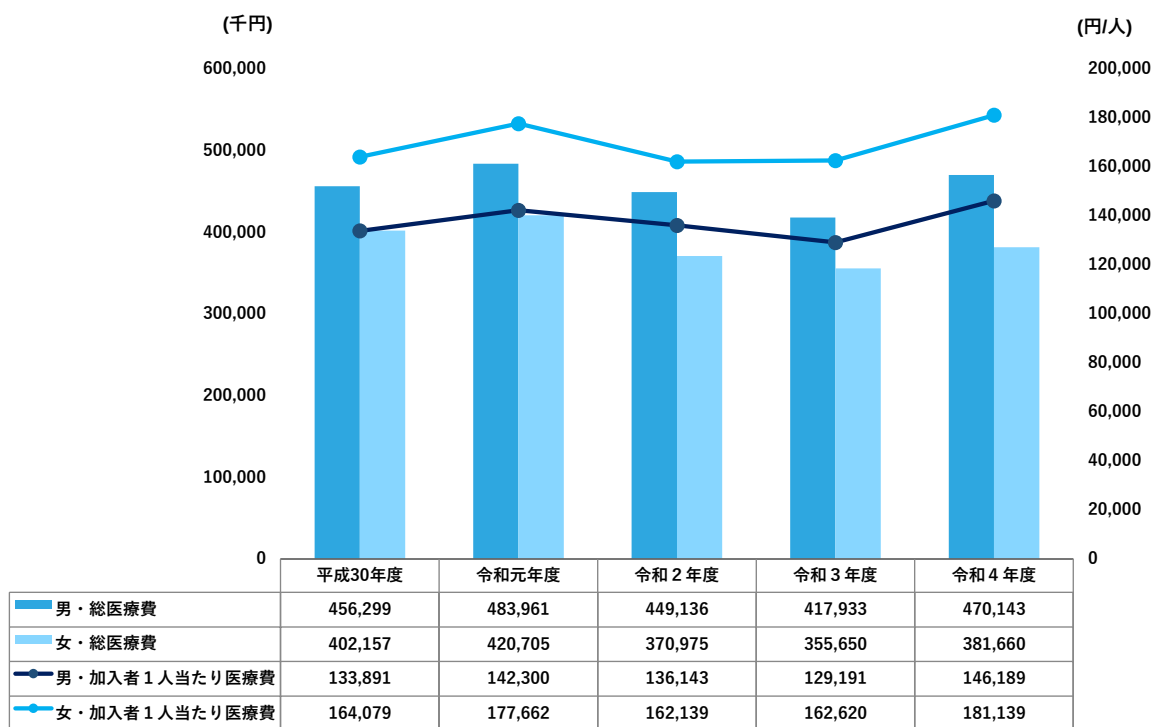
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤、訪問看護）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

性別総医療費の年度推移

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
男	総医療費(千円)	456,299	483,961	449,136	417,933	470,143
	加入者数(人)	3,408	3,401	3,299	3,235	3,216
	加入者1人当たり医療費(円)	133,891	142,300	136,143	129,191	146,189
女	総医療費(千円)	402,157	420,705	370,975	355,650	381,660
	加入者数(人)	2,451	2,368	2,288	2,187	2,107
	加入者1人当たり医療費(円)	164,079	177,662	162,139	162,620	181,139



【全体】2-3.性別・年齢階級別加入者1人当たり医療費

使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤、訪問看護）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

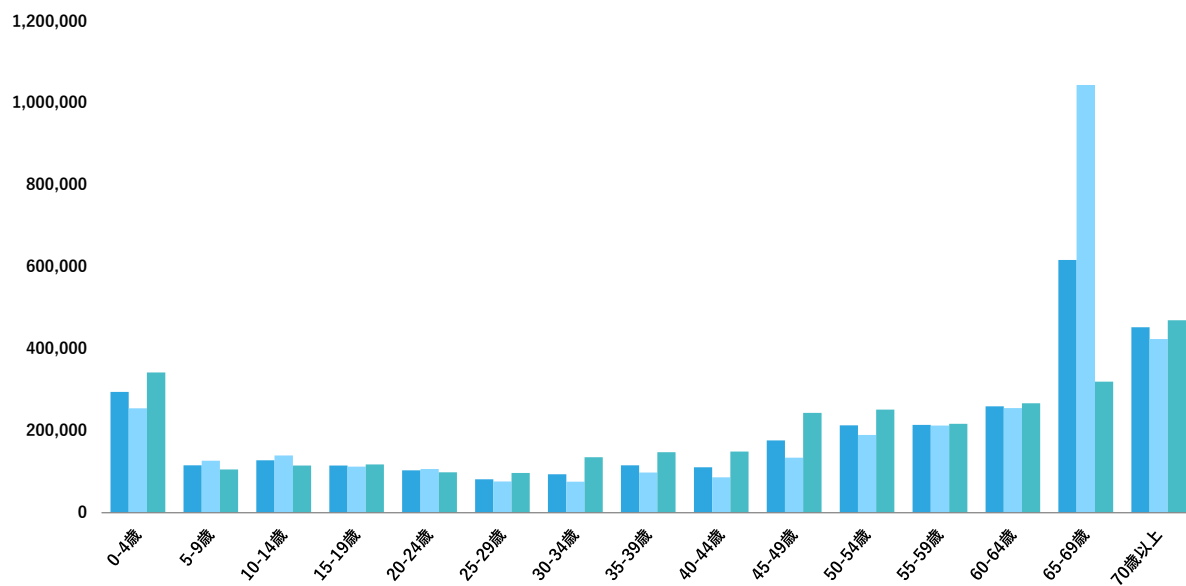
加入者データ使用年：令和4年度末

性別・年齢階級別加入者1人当たり医療費

	加入者数(人)			医療費(千円)			加入者1人当たり医療費(円)		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	全体
0-4歳	122	103	225	31,078	35,273	66,351	254,738	342,457	294,894
5-9歳	149	165	314	18,892	17,432	36,324	126,791	105,651	115,682
10-14歳	234	214	448	32,691	24,673	57,365	139,706	115,296	128,046
15-19歳	288	253	541	32,293	29,845	62,138	112,128	117,964	114,857
20-24歳	215	136	351	22,925	13,405	36,330	106,629	98,564	103,504
25-29歳	188	62	250	14,301	6,005	20,306	76,071	96,852	81,224
30-34歳	174	76	250	13,154	10,297	23,451	75,597	135,491	93,805
35-39歳	223	124	347	21,820	18,292	40,112	97,846	147,517	115,596
40-44歳	320	203	523	27,625	30,321	57,946	86,328	149,365	110,796
45-49歳	460	285	745	61,815	69,410	131,224	134,380	243,543	176,140
50-54歳	368	225	593	69,797	56,677	126,474	189,666	251,900	213,279
55-59歳	311	139	450	66,224	30,122	96,346	212,939	216,702	214,102
60-64歳	130	69	199	33,179	18,442	51,621	255,225	267,272	259,402
65-69歳	16	23	39	16,714	7,363	24,077	1,044,611	320,120	617,347
70歳以上	18	30	48	7,635	14,103	21,738	424,174	470,100	452,878
合計	3,216	2,107	5,323	470,143	381,660	851,803	146,189	181,139	160,023

(円/人)

■全体 ■男 ■女



【全体】3-1.疾病大分類別・入外別医療費の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

疾病大分類別・入外別医療費の構成割合

※全体医療費の多い順

順位	疾病大分類		令和4年度					
			全体		入外別			
			医療費(千円)	構成割合	医療費(円)		構成割合	
	コード	略称名			入院	入院外	入院	入院外
1	2	新生物	105,413	14.2%	40,960,456	64,452,580	38.9%	61.1%
2	10	呼吸器系	92,324	12.5%	8,021,155	84,302,620	8.7%	91.3%
3	9	循環器系	73,404	9.9%	28,223,458	45,180,860	38.4%	61.6%
4	13	筋骨格系	66,522	9.0%	26,431,400	40,091,050	39.7%	60.3%
5	11	消化器系	56,687	7.7%	16,410,302	40,277,000	28.9%	71.1%
6	4	内分泌・代謝	49,952	6.7%	1,707,024	48,245,390	3.4%	96.6%
7	12	皮膚	39,540	5.3%	1,202,630	38,337,420	3.0%	97.0%
8	22	特殊目的	31,646	4.3%	982,020	30,664,240	3.1%	96.9%
9	17	先天奇形	30,340	4.1%	21,608,510	8,731,480	71.2%	28.8%
10	5	精神系	29,714	4.0%	1,612,620	28,101,350	5.4%	94.6%
11	7	眼科系	27,293	3.7%	3,173,210	24,119,680	11.6%	88.4%
12	19	その他の外因	26,694	3.6%	11,743,254	14,950,360	44.0%	56.0%
13	6	神経系	26,505	3.6%	3,039,350	23,465,480	11.5%	88.5%
14	14	腎尿路生殖器系	26,237	3.5%	5,881,876	20,354,940	22.4%	77.6%
15	1	感染症	18,148	2.5%	1,920,686	16,227,430	10.6%	89.4%
16	18	他に分類されない	11,729	1.6%	393,250	11,335,250	3.4%	96.6%
17	3	血液・免疫	8,633	1.2%	399,720	8,233,720	4.6%	95.4%
18	8	耳科系	7,540	1.0%	1,375,410	6,164,190	18.2%	81.8%
19	15	妊娠,分娩	5,510	0.7%	5,006,258	503,800	90.9%	9.1%
20	16	周産期	2,861	0.4%	2,373,024	487,610	83.0%	17.0%
21	21	保健サービス	2,768	0.4%	345,180	2,423,190	12.5%	87.5%
22	20	傷病・死因の原因	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
—	—	その他	714	0.1%	0	713,700	0.0%	100.0%
		全体	740,174	100.0%	182,810,793	557,363,340	24.7%	75.3%

【全体】3-2.疾病大分類別加入者1人当たり医療費の年度推移（上位10位）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

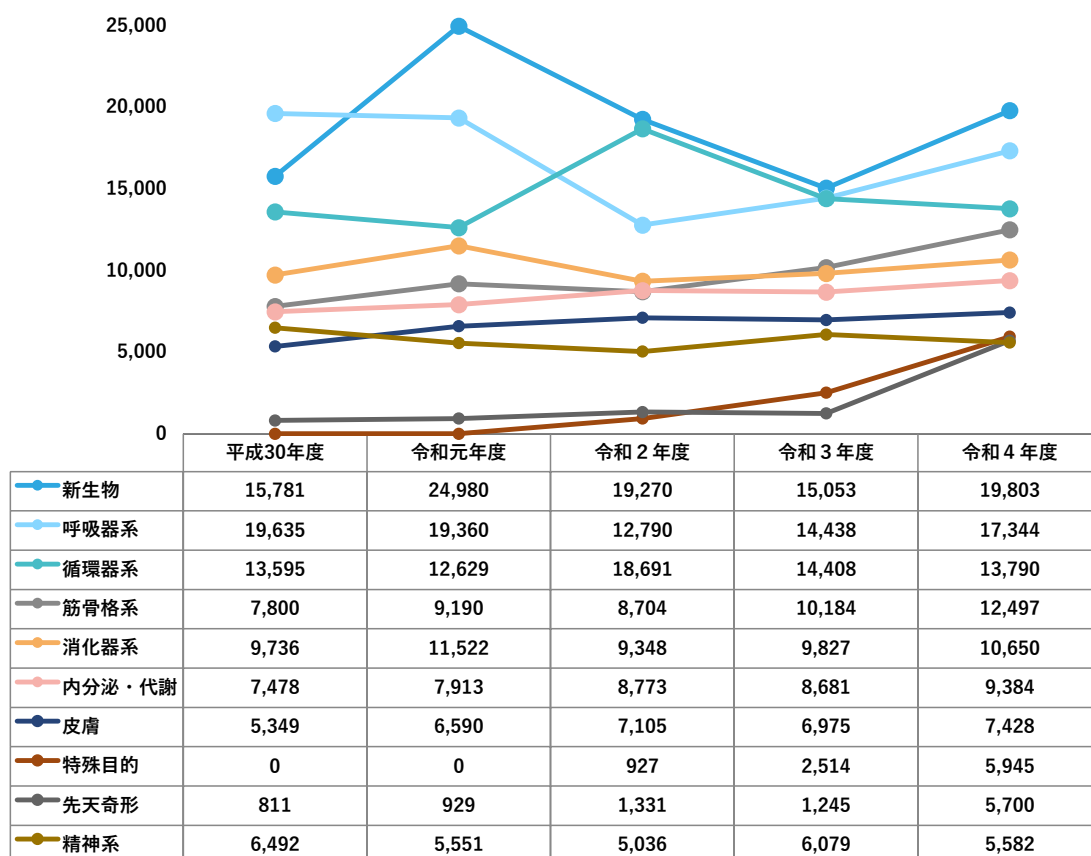
疾病大分類別加入者1人当たり医療費（上位10位）

※令和4年度の上位10位を表示

(円)

順位	疾病大分類		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	コード	略称					
1	2	新生物	15,781	24,980	19,270	15,053	19,803
2	10	呼吸器系	19,635	19,360	12,790	14,438	17,344
3	9	循環器系	13,595	12,629	18,691	14,408	13,790
4	13	筋骨格系	7,800	9,190	8,704	10,184	12,497
5	11	消化器系	9,736	11,522	9,348	9,827	10,650
6	4	内分泌・代謝	7,478	7,913	8,773	8,681	9,384
7	12	皮膚	5,349	6,590	7,105	6,975	7,428
8	22	特殊目的	0	0	927	2,514	5,945
9	17	先天奇形	811	929	1,331	1,245	5,700
10	5	精神系	6,492	5,551	5,036	6,079	5,582

(円/人) 30,000



【全体】3-3.疾病大分類別・入外別患者数の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計

疾病大分類別・入外別患者の割合

※全体患者数の多い順

順位	疾病大分類		令和4年度					
			全体		入外別			
	コード	略称名	患者数(人)	患者割合	患者数(人)		患者割合内訳	
					入院	入院外	入院	入院外
1	10	呼吸器系	2,010	37.8%	13	2,008	0.6%	99.9%
2	7	眼科系	1,396	26.2%	6	1,396	0.4%	100.0%
3	12	皮膚	1,249	23.5%	4	1,249	0.3%	100.0%
4	22	特殊目的	1,056	19.8%	2	1,055	0.2%	99.9%
5	13	筋骨格系	781	14.7%	16	780	2.0%	99.9%
6	19	その他の外因	613	11.5%	22	609	3.6%	99.3%
7	9	循環器系	555	10.4%	13	552	2.3%	99.5%
8	11	消化器系	541	10.2%	33	534	6.1%	98.7%
9	1	感染症	540	10.1%	6	538	1.1%	99.6%
10	18	他に分類されない	474	8.9%	7	470	1.5%	99.2%
11	4	内分泌・代謝	437	8.2%	5	436	1.1%	99.8%
12	14	腎尿路生殖器系	411	7.7%	13	407	3.2%	99.0%
13	2	新生物	386	7.3%	37	383	9.6%	99.2%
14	5	精神系	323	6.1%	3	323	0.9%	100.0%
15	8	耳科系	309	5.8%	2	308	0.6%	99.7%
16	6	神経系	197	3.7%	6	196	3.0%	99.5%
17	3	血液・免疫	90	1.7%	1	89	1.1%	98.9%
18	17	先天奇形	46	0.9%	9	46	19.6%	100.0%
19	16	周産期	29	0.5%	10	22	34.5%	75.9%
20	15	妊娠,分娩	26	0.5%	13	20	50.0%	76.9%
21	21	保健サービス	17	0.3%	1	17	5.9%	100.0%
22	20	傷病・死因の原因	0	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
—	—	その他	11	0.2%	0	11	0.0%	100.0%

【全体】3-4.疾病大分類別患者1人当たり医療費の年度推移（上位10位）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

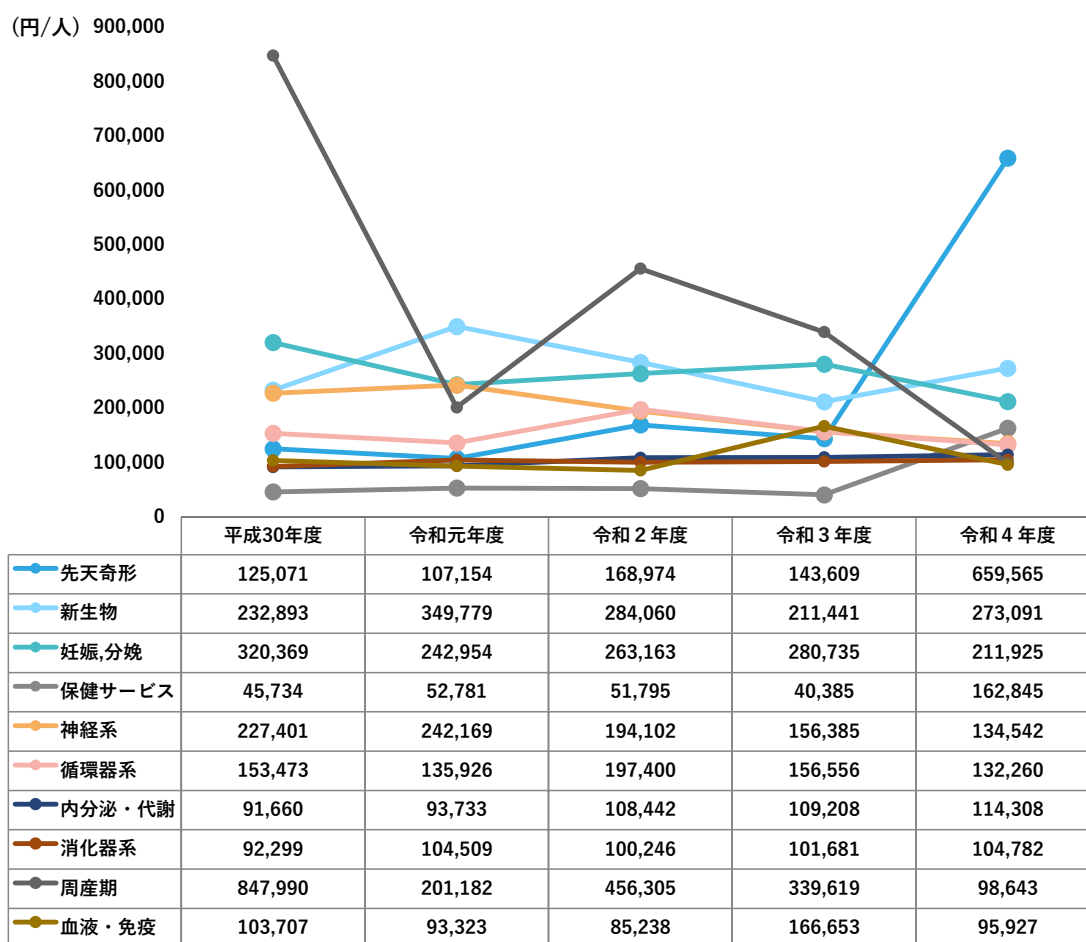
疾病大分類別患者1人当たり医療費（上位10位）

※令和4年度の上位10位を表示

(円)

順位	疾病大分類		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	コード	略称					
1	17	先天奇形	125,071	107,154	168,974	143,609	659,565
2	2	新生物	232,893	349,779	284,060	211,441	273,091
3	15	妊娠,分娩	320,369	242,954	263,163	280,735	211,925
4	21	保健サービス	45,734	52,781	51,795	40,385	162,845
5	6	神経系	227,401	242,169	194,102	156,385	134,542
6	9	循環器系	153,473	135,926	197,400	156,556	132,260
7	4	内分泌・代謝	91,660	93,733	108,442	109,208	114,308
8	11	消化器系	92,299	104,509	100,246	101,681	104,782
9	16	周産期	847,990	201,182	456,305	339,619	98,643
10	3	血液・免疫	103,707	93,323	85,238	166,653	95,927

(円/人)



【全体】3-13.性別生活習慣病の併発状況（高血圧症）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

高血圧症患者の併発状況

(人)

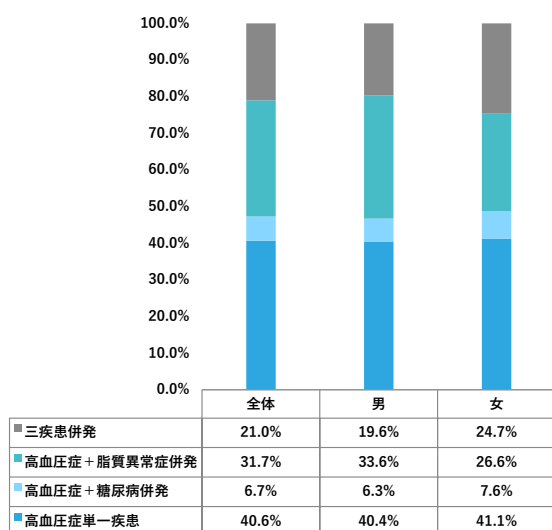
	全体	
	患者数	患者割合
高血圧症単一疾患	238	40.6%
高血圧症＋糖尿病併発	39	6.7%
高血圧症＋脂質異常症併発	186	31.7%
三疾患併発	123	21.0%
高血圧症患者全体	586	100.0%

(人)

	男	
	患者数	患者割合
高血圧症単一疾患	173	40.4%
高血圧症＋糖尿病併発	27	6.3%
高血圧症＋脂質異常症併発	144	33.6%
三疾患併発	84	19.6%
高血圧症患者全体	428	100.0%

(人)

	女	
	患者数	患者割合
高血圧症単一疾患	65	41.1%
高血圧症＋糖尿病併発	12	7.6%
高血圧症＋脂質異常症併発	42	26.6%
三疾患併発	39	24.7%
高血圧症患者全体	158	100.0%



【全体】 3-13.性別生活習慣病の併発状況（脂質異常症）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

脂質異常症患者の併発状況

(人)

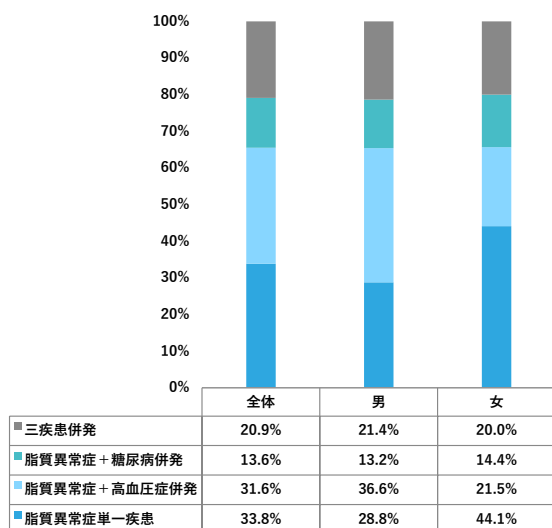
	全体	
	患者数	患者割合
脂質異常症単一疾患	199	33.8%
脂質異常症＋高血圧症併発	186	31.6%
脂質異常症＋糖尿病併発	80	13.6%
三疾患併発	123	20.9%
脂質異常症患者全体	588	100.0%

(人)

	男	
	患者数	患者割合
脂質異常症単一疾患	113	28.8%
脂質異常症＋高血圧症併発	144	36.6%
脂質異常症＋糖尿病併発	52	13.2%
三疾患併発	84	21.4%
脂質異常症患者全体	393	100.0%

(人)

	女	
	患者数	患者割合
脂質異常症単一疾患	86	44.1%
脂質異常症＋高血圧症併発	42	21.5%
脂質異常症＋糖尿病併発	28	14.4%
三疾患併発	39	20.0%
脂質異常症患者全体	195	100.0%



【全体】3-13.性別生活習慣病の併発状況（糖尿病）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

糖尿病患者の併発状況

(人)

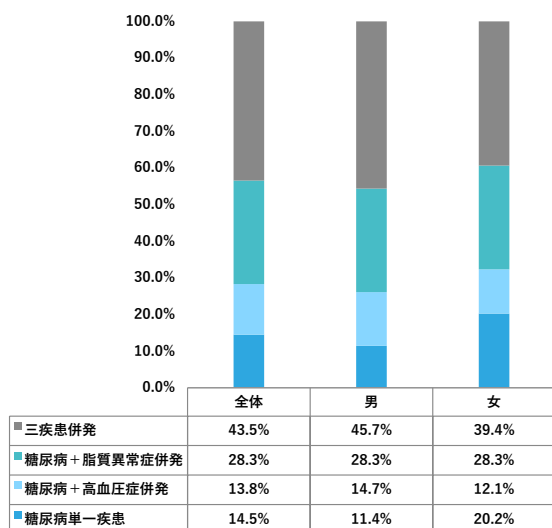
	全体	
	患者数	患者割合
糖尿病単一疾患	41	14.5%
糖尿病＋高血圧症併発	39	13.8%
糖尿病＋脂質異常症併発	80	28.3%
三疾患併発	123	43.5%
糖尿病患者全体	283	100.0%

(人)

	男	
	患者数	患者割合
糖尿病単一疾患	21	11.4%
糖尿病＋高血圧症併発	27	14.7%
糖尿病＋脂質異常症併発	52	28.3%
三疾患併発	84	45.7%
糖尿病患者全体	184	100.0%

(人)

	女	
	患者数	患者割合
糖尿病単一疾患	20	20.2%
糖尿病＋高血圧症併発	12	12.1%
糖尿病＋脂質異常症併発	28	28.3%
三疾患併発	39	39.4%
糖尿病患者全体	99	100.0%



【全体】3-14.年齢階級別生活習慣病の併発状況（高血圧症）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

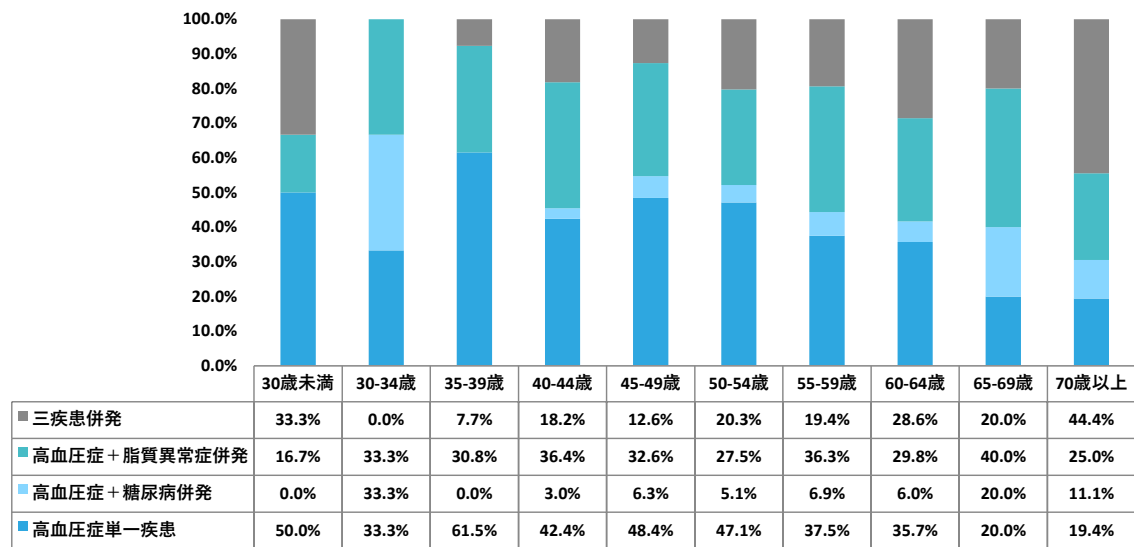
全傷病を集計

高血圧症患者の併発状況

(人)

	患者数									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
高血圧症単一疾患	3	2	8	14	46	65	60	30	3	7
高血圧症＋糖尿病併発	0	2	0	1	6	7	11	5	3	4
高血圧症＋脂質異常症併発	1	2	4	12	31	38	58	25	6	9
三疾患併発	2	0	1	6	12	28	31	24	3	16
高血圧症患者全体	6	6	13	33	95	138	160	84	15	36

	割合									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
高血圧症単一疾患	50.0%	33.3%	61.5%	42.4%	48.4%	47.1%	37.5%	35.7%	20.0%	19.4%
高血圧症＋糖尿病併発	0.0%	33.3%	0.0%	3.0%	6.3%	5.1%	6.9%	6.0%	20.0%	11.1%
高血圧症＋脂質異常症併発	16.7%	33.3%	30.8%	36.4%	32.6%	27.5%	36.3%	29.8%	40.0%	25.0%
三疾患併発	33.3%	0.0%	7.7%	18.2%	12.6%	20.3%	19.4%	28.6%	20.0%	44.4%
高血圧症患者全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【全体】3-14.年齢階級別生活習慣病の併発状況（脂質異常症）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

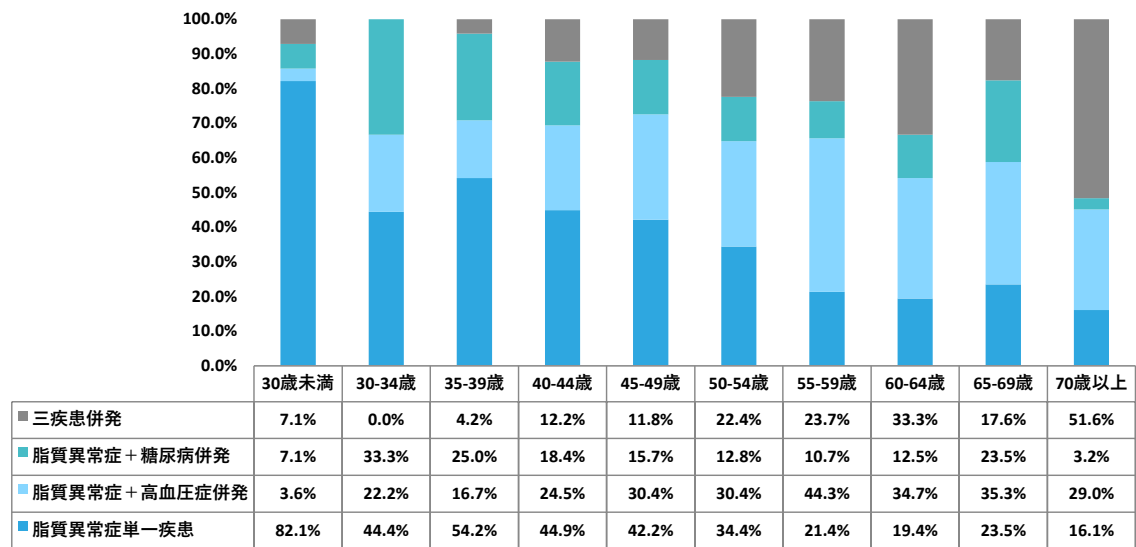
全傷病を集計

脂質異常症患者の併発状況

(人)

	患者数									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
脂質異常症単一疾患	23	4	13	22	43	43	28	14	4	5
脂質異常症＋高血圧症併発	1	2	4	12	31	38	58	25	6	9
脂質異常症＋糖尿病併発	2	3	6	9	16	16	14	9	4	1
三疾患併発	2	0	1	6	12	28	31	24	3	16
脂質異常症患者全体	28	9	24	49	102	125	131	72	17	31

	割合									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
脂質異常症単一疾患	82.1%	44.4%	54.2%	44.9%	42.2%	34.4%	21.4%	19.4%	23.5%	16.1%
脂質異常症＋高血圧症併発	3.6%	22.2%	16.7%	24.5%	30.4%	30.4%	44.3%	34.7%	35.3%	29.0%
脂質異常症＋糖尿病併発	7.1%	33.3%	25.0%	18.4%	15.7%	12.8%	10.7%	12.5%	23.5%	3.2%
三疾患併発	7.1%	0.0%	4.2%	12.2%	11.8%	22.4%	23.7%	33.3%	17.6%	51.6%
脂質異常症患者全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【全体】3-14.年齢階級別生活習慣病の併発状況（糖尿病）

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

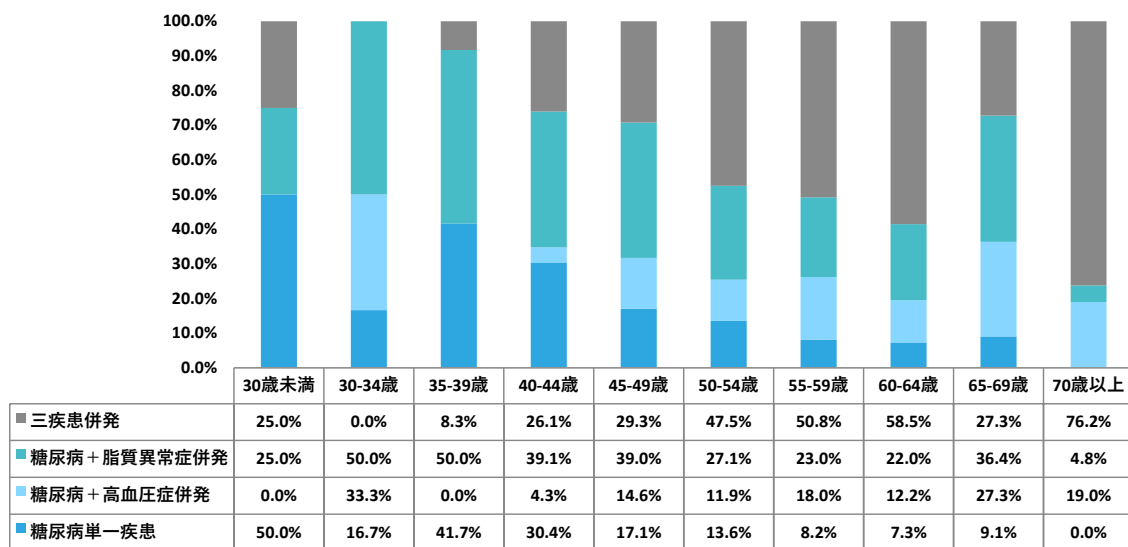
全傷病を集計

糖尿病患者の併発状況

(人)

	患者数									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
糖尿病単一疾患	4	1	5	7	7	8	5	3	1	0
糖尿病＋高血圧症併発	0	2	0	1	6	7	11	5	3	4
糖尿病＋脂質異常症併発	2	3	6	9	16	16	14	9	4	1
三疾患併発	2	0	1	6	12	28	31	24	3	16
糖尿病患者全体	8	6	12	23	41	59	61	41	11	21

	割合									
	30歳未満	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
糖尿病単一疾患	50.0%	16.7%	41.7%	30.4%	17.1%	13.6%	8.2%	7.3%	9.1%	0.0%
糖尿病＋高血圧症併発	0.0%	33.3%	0.0%	4.3%	14.6%	11.9%	18.0%	12.2%	27.3%	19.0%
糖尿病＋脂質異常症併発	25.0%	50.0%	50.0%	39.1%	39.0%	27.1%	23.0%	22.0%	36.4%	4.8%
三疾患併発	25.0%	0.0%	8.3%	26.1%	29.3%	47.5%	50.8%	58.5%	27.3%	76.2%
糖尿病患者全体	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



【全体】 4-5.歯周病患者における生活習慣病の併発状況

使用データ：レセプトデータ（医科、歯科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

歯周病患者の生活習慣病併発状況

(人)

	全体	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	251	10.7%
糖尿病	125	5.3%
脂質異常症	270	11.5%
脳出血	6	0.3%
脳梗塞	20	0.9%
狭心症	25	1.1%
心筋梗塞	1	0.0%
動脈硬化症	23	1.0%
脂肪肝	69	2.9%
高尿酸血症および痛風	84	3.6%
慢性腎臓病	22	0.9%
生活習慣病なし	1,876	80.1%
歯周病患者全体	2,341	—

(人)

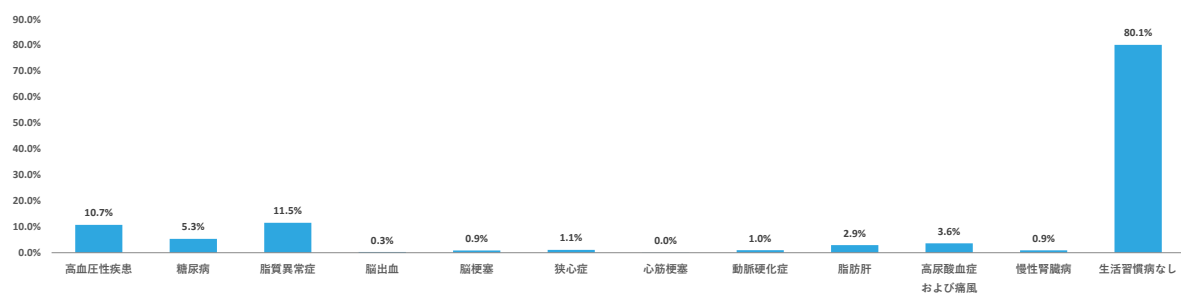
	男	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	175	13.4%
糖尿病	74	5.7%
脂質異常症	169	13.0%
脳出血	5	0.4%
脳梗塞	9	0.7%
狭心症	15	1.1%
心筋梗塞	1	0.1%
動脈硬化症	10	0.8%
脂肪肝	54	4.1%
高尿酸血症および痛風	75	5.7%
慢性腎臓病	13	1.0%
生活習慣病なし	1,005	77.0%
歯周病患者全体	1,305	—

(人)

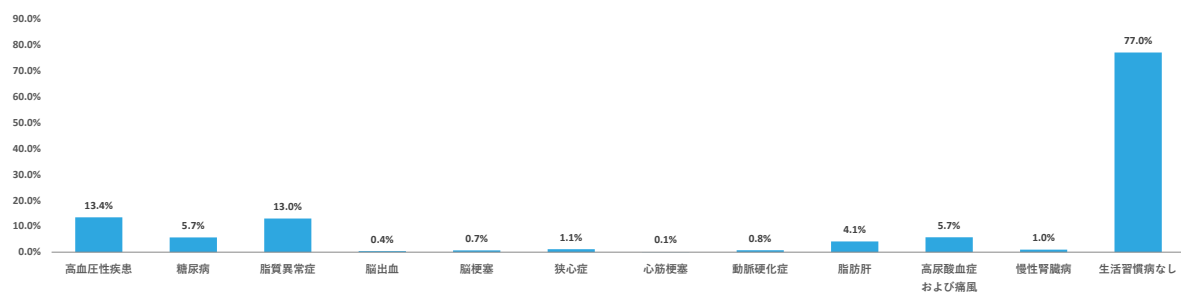
	女	
	患者数	患者割合
高血圧性疾患	76	7.3%
糖尿病	51	4.9%
脂質異常症	101	9.7%
脳出血	1	0.1%
脳梗塞	11	1.1%
狭心症	10	1.0%
心筋梗塞	0	0.0%
動脈硬化症	13	1.3%
脂肪肝	15	1.4%
高尿酸血症および痛風	9	0.9%
慢性腎臓病	9	0.9%
生活習慣病なし	871	84.1%
歯周病患者全体	1,036	—

歯周病患者の生活習慣病併発患者割合

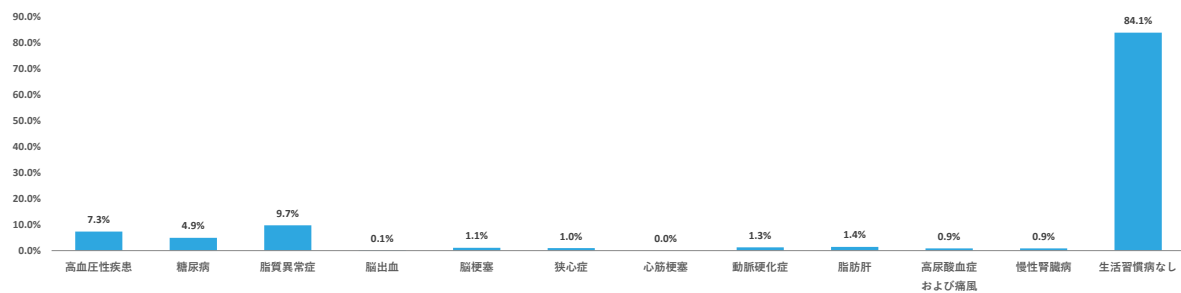
全体



男



女



【全体】5-1.性別特定健診受診率

使用データ：加入者データ、健診データ

加入者データ使用年：平成30年～令和4年度末

健診データ使用年：平成30年～令和4年度

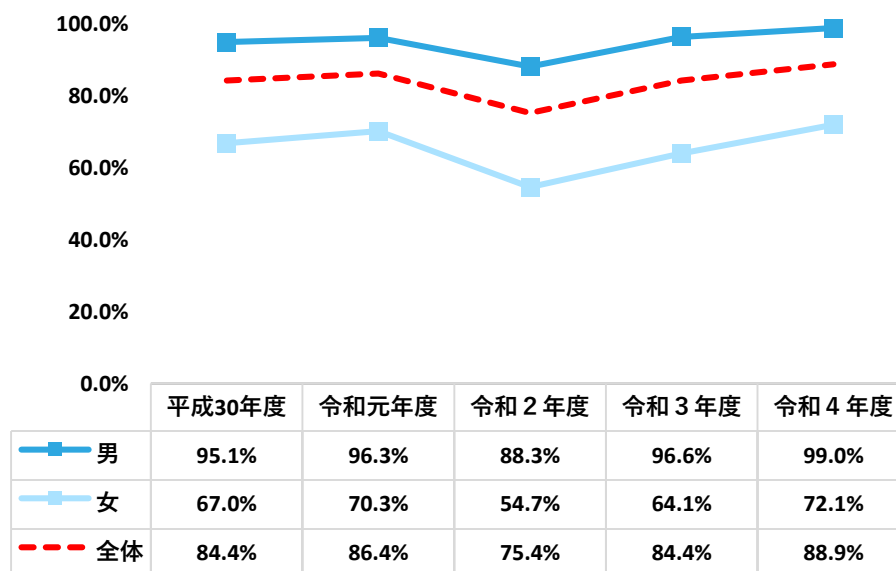
性別特定健診受診状況

(人)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数	対象者数	受診者数
全体	2,569	2,167	2,605	2,252	2,539	1,915	2,501	2,110	2,494	2,218
男	1,584	1,507	1,617	1,557	1,566	1,383	1,559	1,506	1,562	1,546
女	985	660	988	695	973	532	942	604	932	672

性別特定健診受診率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体	84.4%	86.4%	75.4%	84.4%	88.9%
男	95.1%	96.3%	88.3%	96.6%	99.0%
女	67.0%	70.3%	54.7%	64.1%	72.1%



【全体】 5-6.医療機関への受診勧奨対象者における医療機関受診率

使用データ：健診データ、レセプトデータ

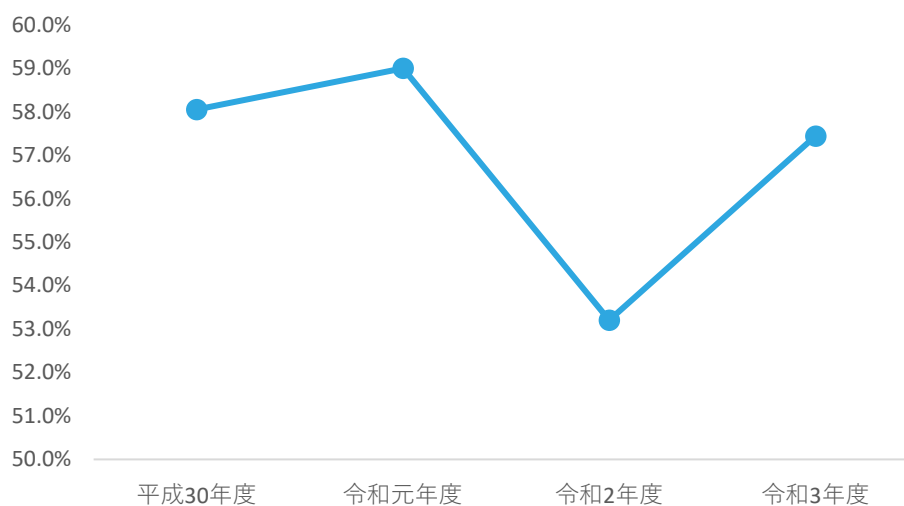
健診データ使用年月：平成30年度～令和4年度

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月度診療

医療機関への受診勧奨基準において速やかに受診を要する者の医療機関受診率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受診勧奨対象者数(人)	410	439	406	383
医療機関受診者数(人)	238	259	216	220
医療機関受診率	58.0%	59.0%	53.2%	57.4%

医療機関受診率の年度推移



【全体】 5-10.肥満解消率

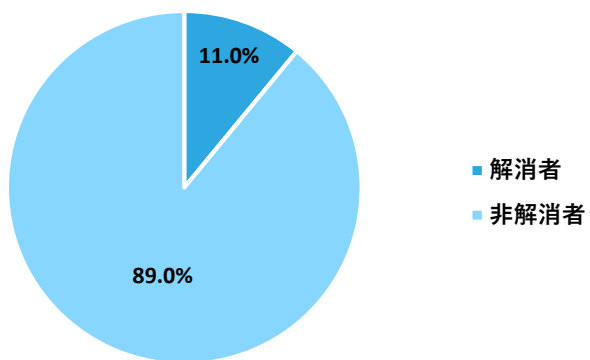
使用データ：健診データ

健診データ使用年：令和3年度、令和4年度

肥満解消率

(人)

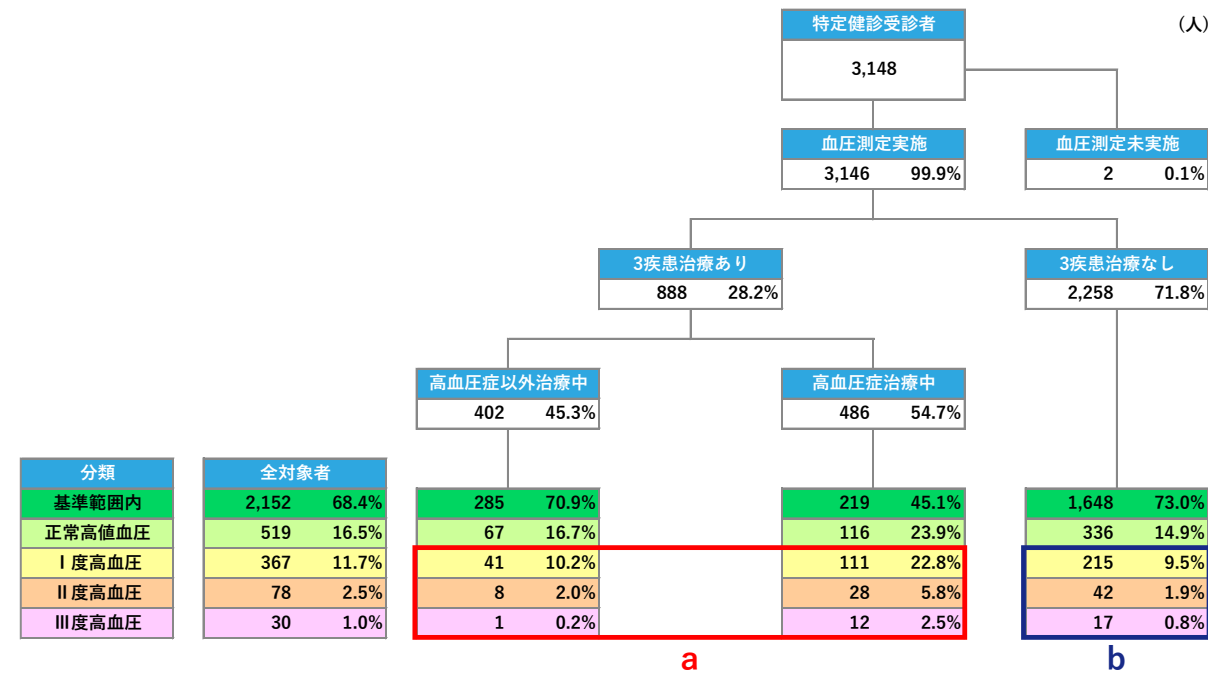
	対象者	解消者	解消率
肥満	1,105	121	11.0%



【全体】5-13.リスクフローチャート（血圧）

使用データ：レセプトデータ（医科）、健診データ
レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療
健診データ使用年：令和4年度

リスクフローチャート（血圧）



(人)

特定健診受診者数	3,148
血圧測定実施者数	3,146
コントロール不良	201 ---a
医療機関受診勧奨	274 ---b

分類	収縮期		拡張期
基準範囲内	<130	かつ	<85
正常高値血圧	130～139	または	85～89
I度高血圧	140～159	または	90～99
II度高血圧	160～179	または	100～109
III度高血圧	≧180	または	≧110

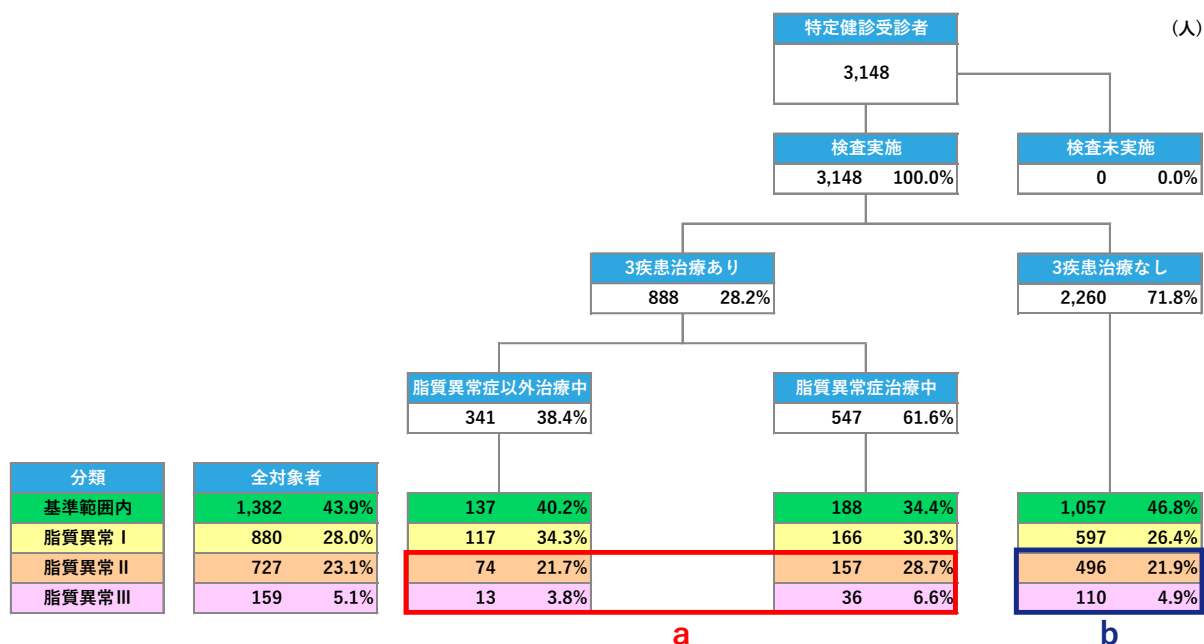
【全体】5-14.リスクフローチャート（脂質異常症）

使用データ：レセプトデータ（医科）、健診データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

健診データ使用年：令和4年度

リスクフローチャート（脂質）



(人)

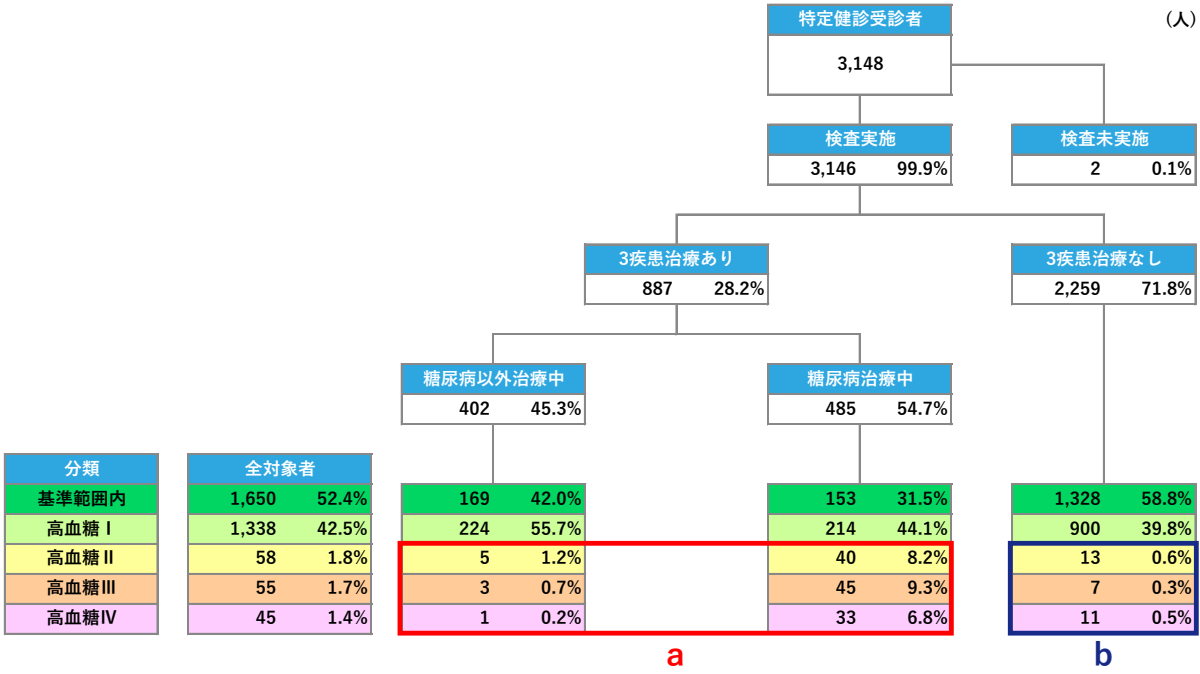
特定健診受診者数	3,148
検査実施者数	3,148
コントロール不良	280 ---a
医療機関受診勧奨	606 ---b

分類	LDL		中性脂肪		HDL
基準範囲内	<120	かつ	<150	かつ	≧40
脂質異常Ⅰ	120~139	または	150~299	または	34~39
脂質異常Ⅱ	140~179	または	300~499	または	<34
脂質異常Ⅲ	≧180	または	≧500		

【全体】5-15.リスクフローチャート（糖尿病）

使用データ：レセプトデータ（医科）、健診データ
レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療
健診データ使用年：令和4年度

リスクフローチャート（血糖）



(人)

特定健診受診者数	3,148
検査実施者数	3,146
コントロール不良	127 ---a
医療機関受診勧奨	31 ---b

分類	HbA1c	空腹時血糖
基準範囲内	<5.6 かつ	<100
高血糖Ⅰ	5.6～6.4 または	100～125
高血糖Ⅱ	6.5～6.9 または	126～129
高血糖Ⅲ	7.0～7.9 または	130～159
高血糖Ⅳ	≧8.0 または	≧160

【全体】 6-1.特定保健指導対象者割合

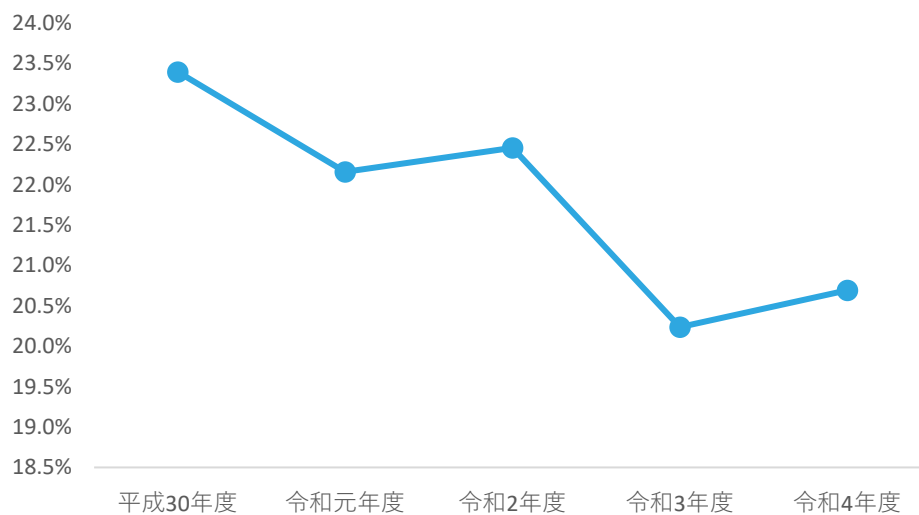
使用データ：健診データ

健診データ使用年月：平成30年～令和4年度

特定保健指導対象者割合

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定健康診査受診者数(人)	2,167	2,252	1,915	2,110	2,218
特定保健指導対象者数(人)	507	499	430	427	459
特定保健指導対象者割合	23.4%	22.2%	22.5%	20.2%	20.7%

特定保健指導対象者割合の年度推移



【全体】6-2.性別特定保健指導終了率

使用データ：健診データ、保健指導データ

健診データ使用年：平成30年～令和4年度

保健指導データ使用年：平成30年～令和4年度

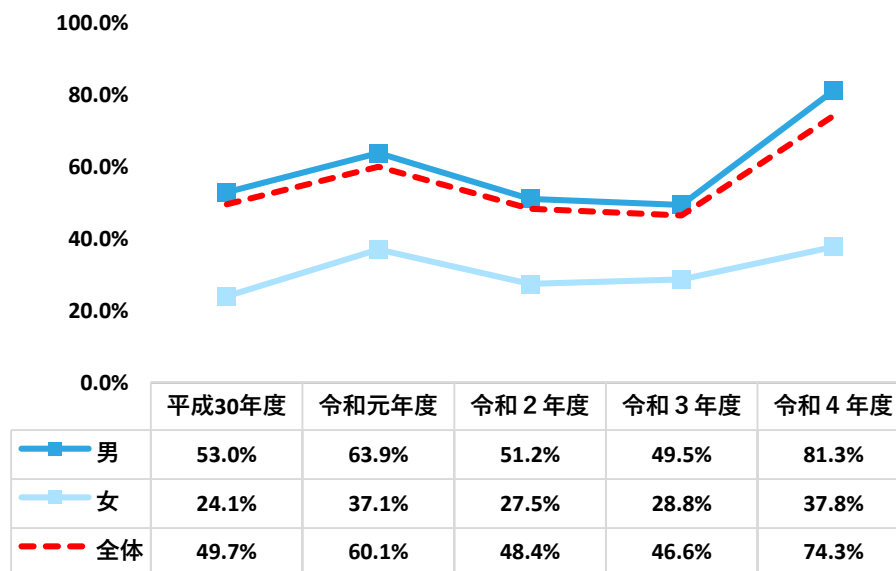
性別特定保健指導終了状況

(人)

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数	対象者数	終了者数
全体	507	252	499	300	430	208	427	199	459	341
男	449	238	429	274	379	194	368	182	385	313
女	58	14	70	26	51	14	59	17	74	28

性別特定保健指導終了率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体	49.7%	60.1%	48.4%	46.6%	74.3%
男	53.0%	63.9%	51.2%	49.5%	81.3%
女	24.1%	37.1%	27.5%	28.8%	37.8%



【全体】 6-4.特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率

使用データ：健診データ、保健指導データ

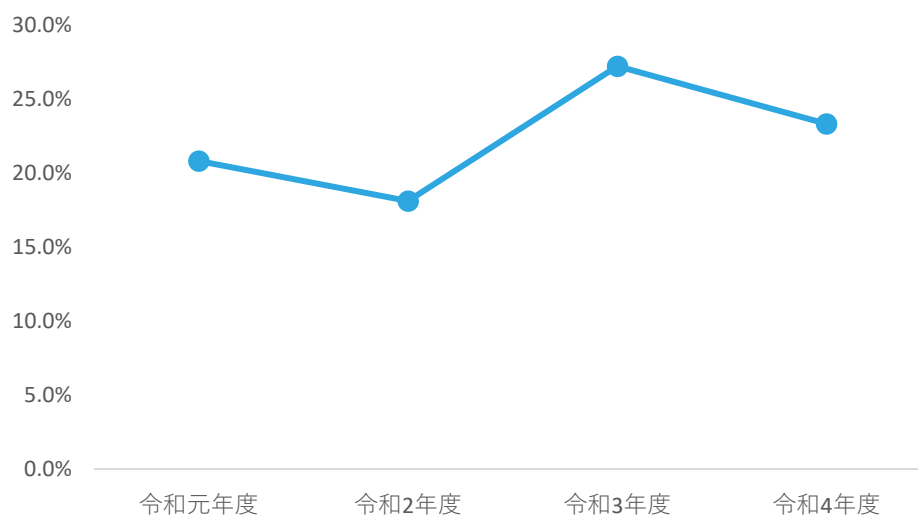
健診データ使用年月：令和元年～令和4年度

保健指導データ使用年月：平成30年～令和3年度

特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
前年度 特定保健指導利用者数(人)	501	465	404	416
当年度 特定保健指導対象外者数(人)	104	84	110	97
特定保健指導対象者の減少率	20.8%	18.1%	27.2%	23.3%

特定保健指導対象者減少率の年度推移



【全体】 7-1.後発医薬品使用率の経年推移

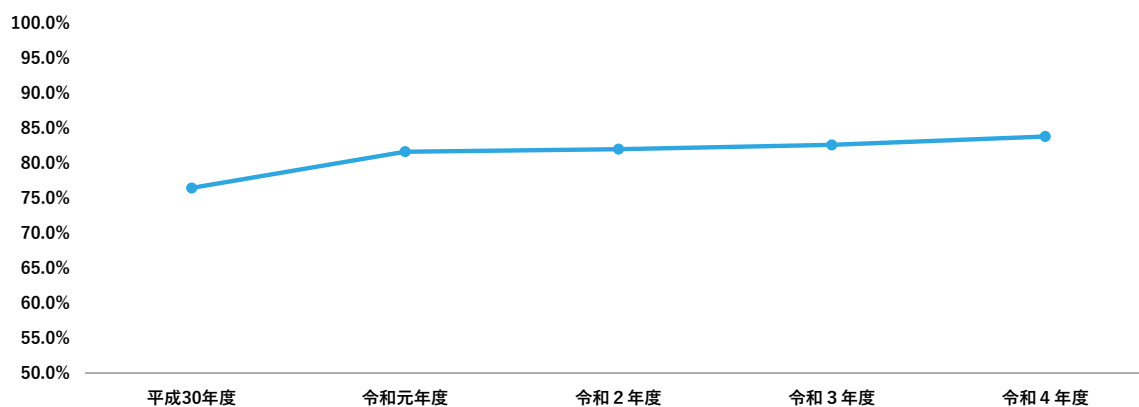
使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

数量ベース後発医薬品使用率

	医科	歯科	調剤	全体
平成30年度	65.7%	38.1%	78.8%	76.4%
令和元年度	70.9%	41.4%	83.6%	81.6%
令和2年度	70.9%	52.6%	83.7%	82.0%
令和3年度	70.1%	49.5%	84.6%	82.6%
令和4年度	66.1%	50.6%	86.3%	83.8%

数量ベース後発医薬品使用率の経年推移（全体）



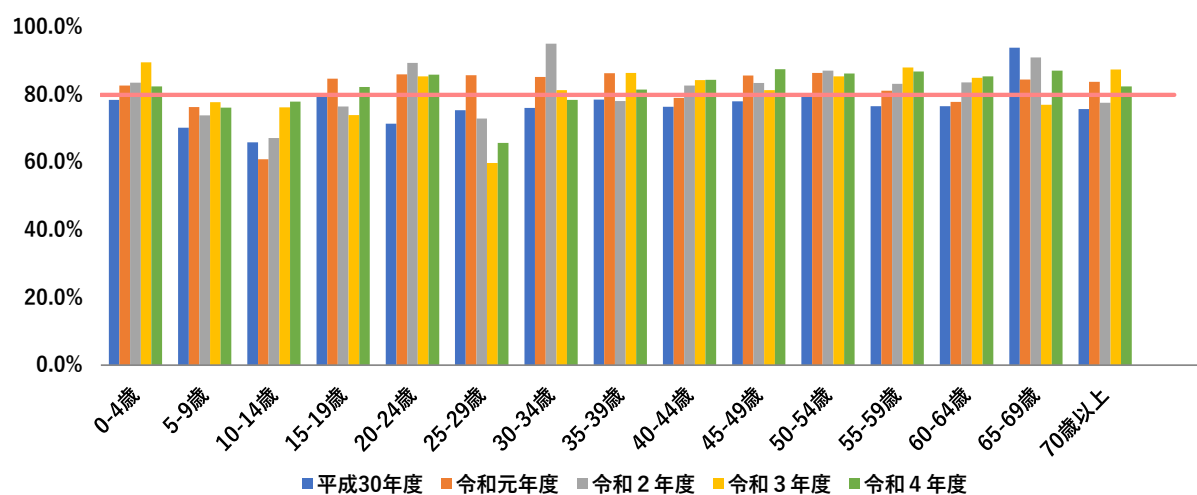
【全体】 7-2.年齢階級別後発医薬品使用率の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、歯科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

年齢階級別後発医薬品使用率の経年推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
0-4歳	78.5%	82.7%	83.6%	89.6%	82.6%
5-9歳	70.3%	76.4%	74.0%	77.9%	76.2%
10-14歳	66.0%	61.0%	67.2%	76.3%	78.0%
15-19歳	79.5%	84.8%	76.6%	74.0%	82.4%
20-24歳	71.5%	86.0%	89.5%	85.5%	86.0%
25-29歳	75.5%	85.9%	73.0%	59.8%	65.8%
30-34歳	76.2%	85.3%	95.2%	81.4%	78.5%
35-39歳	78.6%	86.4%	78.2%	86.5%	81.6%
40-44歳	76.4%	79.2%	82.8%	84.4%	84.4%
45-49歳	78.1%	85.7%	83.5%	81.4%	87.6%
50-54歳	80.5%	86.5%	87.2%	85.5%	86.4%
55-59歳	76.6%	81.2%	83.3%	88.2%	86.9%
60-64歳	76.7%	77.9%	83.7%	85.0%	85.5%
65-69歳	94.0%	84.5%	91.1%	77.1%	87.2%
70歳以上	75.8%	83.9%	77.7%	87.5%	82.5%
全年齢	76.4%	81.6%	82.0%	82.6%	83.8%



【全体】 7-3.後発医薬品差額通知後の効果額（ポテンシャル）・予測通知数

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

後発医薬品差額通知後の効果額（ポテンシャル）・予測通知数

差額	薬剤費 (円)	軽減額(円)			対象人数(人)		
		総額	総額累計	ポテンシャル	人数	人数累計	シェア
10,000円以上	11,787,110	240,912	240,912	0.2%	12	12	0.3%
9,000円以上	495,800	9,250	250,162	0.2%	1	13	0.3%
8,000円以上	182,600	8,280	258,442	0.2%	1	14	0.3%
7,000円以上	388,560	22,615	281,057	0.2%	3	17	0.4%
6,000円以上	637,490	26,920	307,977	0.3%	4	21	0.5%
5,000円以上	993,700	32,322	340,299	0.3%	6	27	0.7%
4,000円以上	1,403,190	26,421	366,720	0.3%	6	33	0.8%
3,500円以上	492,010	22,232	388,952	0.3%	6	39	1.0%
3,000円以上	961,760	38,566	427,518	0.4%	12	51	1.3%
2,500円以上	1,343,910	41,396	468,914	0.4%	15	66	1.6%
2,000円以上	2,784,840	35,491	504,405	0.4%	16	82	2.0%
1,900円以上	105,720	3,889	508,294	0.4%	2	84	2.1%
1,800円以上	275,400	9,301	517,595	0.4%	5	89	2.2%
1,700円以上	539,880	14,098	531,693	0.5%	8	97	2.4%
1,600円以上	561,230	11,459	543,152	0.5%	7	104	2.6%
1,500円以上	111,890	6,196	549,348	0.5%	4	108	2.7%
1,400円以上	730,060	17,335	566,683	0.5%	12	120	3.0%
1,300円以上	2,855,010	17,602	584,285	0.5%	13	133	3.3%
1,200円以上	830,310	17,328	601,613	0.5%	14	147	3.7%
1,100円以上	888,730	9,231	610,844	0.5%	8	155	3.9%
1,000円以上	500,010	15,759	626,603	0.5%	15	170	4.2%
900円以上	605,000	13,137	639,740	0.5%	14	184	4.6%
800円以上	1,227,790	9,244	648,984	0.5%	11	195	4.9%
700円以上	1,512,000	15,641	664,625	0.6%	21	216	5.4%
600円以上	532,990	10,875	675,500	0.6%	17	233	5.8%
500円以上	890,800	13,660	689,160	0.6%	25	258	6.4%
450円以上	1,242,720	9,786	698,946	0.6%	21	279	6.9%
400円以上	440,900	7,254	706,200	0.6%	17	296	7.4%
350円以上	1,646,560	13,251	719,451	0.6%	36	332	8.3%
300円以上	717,080	8,681	728,132	0.6%	27	359	8.9%
250円以上	2,071,050	11,698	739,830	0.6%	43	402	10.0%
200円以上	637,650	9,275	749,105	0.6%	41	443	11.0%
150円以上	4,243,010	13,393	762,498	0.6%	76	519	12.9%
100円以上	2,272,490	12,672	775,170	0.7%	103	622	15.5%
50円以上	3,109,140	12,887	788,057	0.7%	180	802	20.0%
1円以上	7,116,600	8,730	796,787	0.7%	516	1,318	32.8%
0円	60,953,440	0	796,787	0.7%	2,698	4,016	100.0%
合計	118,088,430	796,787	796,787	-	4,016	4,016	-

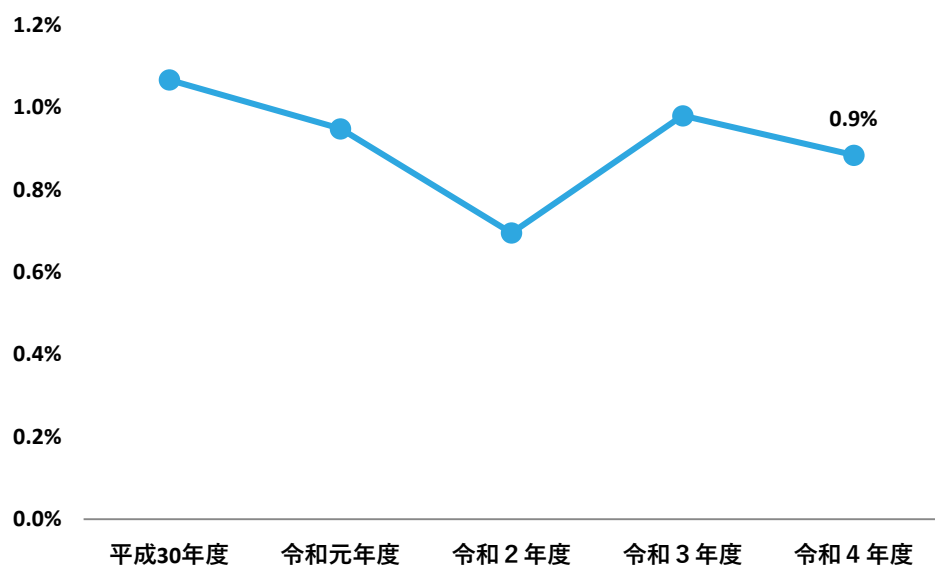
【全体】 7-4.重複受診の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

重複受診状況の推移

	医療機関 受診者数 (人)	重複受診者数 (人)	重複受診 割合	重複受診 発生件数(件)
平成30年度	5,157	55	1.1%	93
令和元年度	5,064	48	0.9%	83
令和2年度	4,605	32	0.7%	62
令和3年度	4,491	44	1.0%	83
令和4年度	4,639	41	0.9%	64



【全体】 7-5.疾患別重複受診状況

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

疾患別重複受診状況

(人)

順位	中分類名 (ICD10)	疾病全体 人数	重複受診	
			人数	割合
1	多部位及び部位不明の急性上気道感染症	1,511	6	0.4%
2	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎＜鼻アレルギー＞	1,656	4	0.2%
3	喘息	644	4	0.6%
4	胃炎及び十二指腸炎	767	3	0.4%
5	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	28	2	7.1%
6	急性気管支炎	988	2	0.2%
7	胃食道逆流症	404	2	0.5%
8	その他の腸の機能障害	310	2	0.6%
9	その他の皮膚炎	889	2	0.2%
10	その他の表皮肥厚	673	2	0.3%
11位以降		26,777	19	0.1%
合計(延べ人数)		34,647	48	0.1%

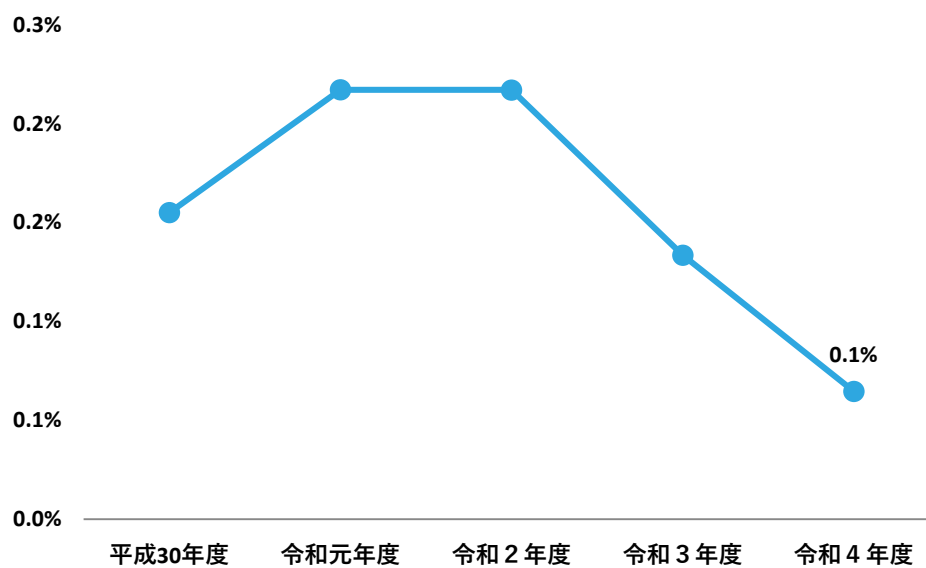
【全体】 7-6.頻回受診の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

頻回受診状況の推移

	医療機関 受診者数 (人)	頻回受診者数 (人)	頻回受診 割合	頻回受診 レセプト件数 (件)
平成30年度	5,157	8	0.2%	8
令和元年度	5,064	11	0.2%	13
令和2年度	4,605	10	0.2%	15
令和3年度	4,491	6	0.1%	6
令和4年度	4,639	3	0.1%	3



【全体】 7-7.疾患別頻回受診状況

使用データ：レセプトデータ（医科）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

全傷病を集計

疾患別頻回受診状況

(人)

順位	中分類名 (ICD10)	疾病全体 人数	頻回受診	
			人数	割合
1	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	28	2	7.1%
2	片頭痛	84	1	1.2%
3	その他の皮膚炎	889	1	0.1%
4	その他の表皮肥厚	673	1	0.1%
5	手首及び手の骨折	23	1	4.3%
6	その他のサルモネラ感染症	1		
7	その他の細菌性腸管感染症	9		
8	ウイルス性及びその他の明示された腸管感染症	8		
9	その他の胃腸炎及び大腸炎，感染症及び詳細不明の原因によるもの	555		
10	呼吸器結核，細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	1		
11位以降		32,376		
合計(延べ人数)		34,647	6	0.0%

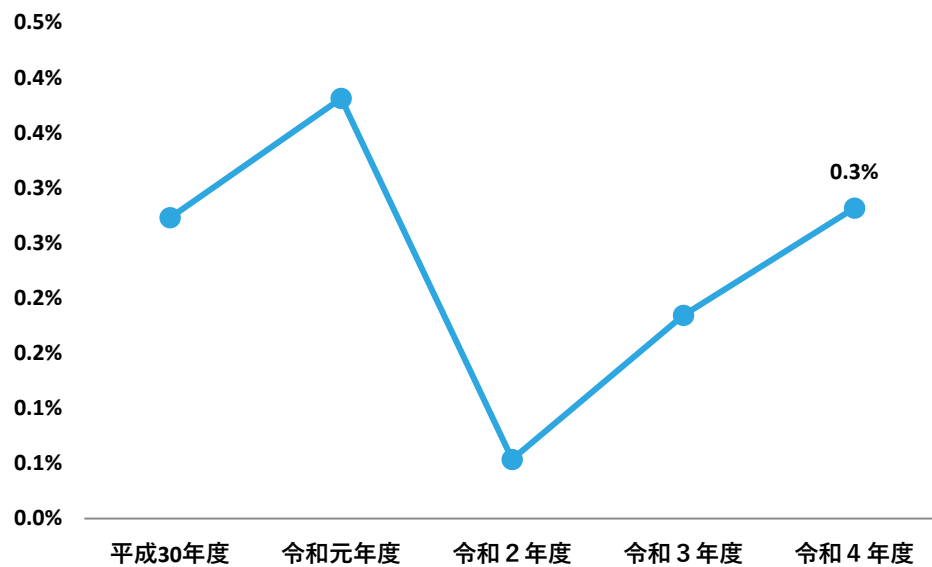
【全体】 7-8.重複服薬の経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

重複投薬状況の推移

	加入者数 (人)	重複投薬者数 (人)	重複投薬 割合	重複投薬 レセプト件数 (件)
平成30年度	5,859	16	0.3%	25
令和元年度	5,769	22	0.4%	26
令和2年度	5,587	3	0.1%	4
令和3年度	5,422	10	0.2%	13
令和4年度	5,323	15	0.3%	17



【全体】 7-9.薬効分類別重複服薬状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

薬効分類別重複投薬状況

(人)

順位	薬効分類			
	コード	名称	重複投薬者数	重複割合
1	223	去痰剤	10	0.2%
2	232	消化性潰瘍用剤	3	0.1%
3	114	解熱鎮痛消炎剤	2	0.0%
4	224	鎮咳去痰剤	2	0.0%
5	112	催眠鎮静剤、抗不安剤		
6	113	抗てんかん剤		
7	116	抗パーキンソン剤		
8	117	精神神経用剤		
9	118	総合感冒剤		
10	119	その他の中枢神経系用薬		
11位以降				
合計(延べ人数)			17	0.3%

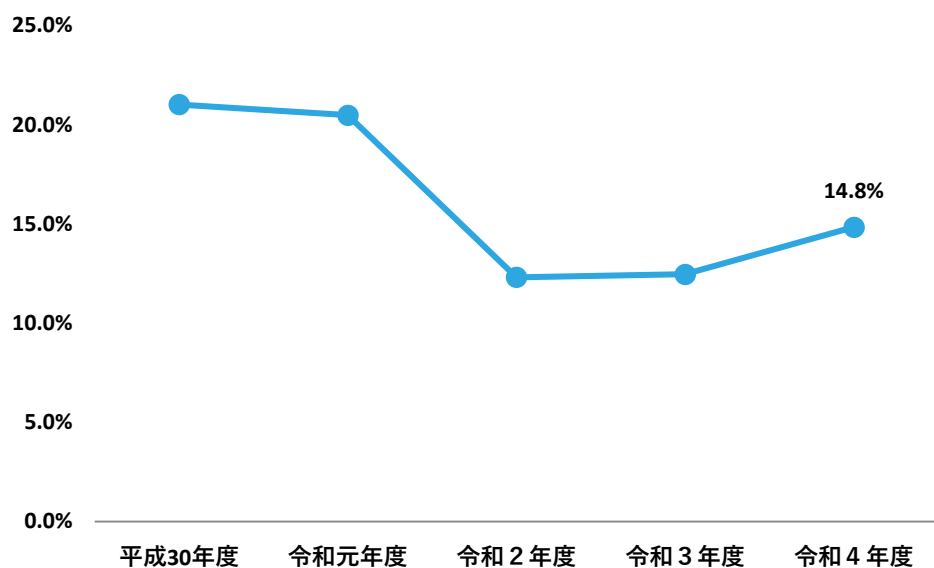
【全体】 7-10.多剤服薬の経年推移（6種）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

多剤投薬状況の推移

	加入者数 (人)	多剤投薬者数 (人)	多剤投薬 割合
平成30年度	5,859	1,232	21.0%
令和元年度	5,769	1,182	20.5%
令和2年度	5,587	688	12.3%
令和3年度	5,422	676	12.5%
令和4年度	5,323	790	14.8%



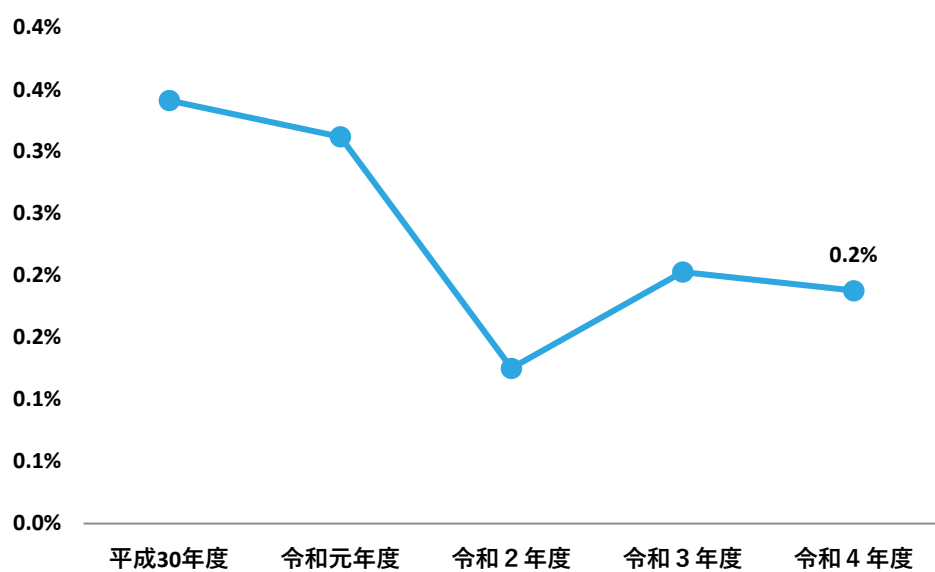
【全体】 7-10.多剤服薬の経年推移（15種）

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和5年3月診療

多剤投薬状況の推移

	加入者数 (人)	多剤投薬者数 (人)	多剤投薬 割合
平成30年度	5,859	20	0.3%
令和元年度	5,769	18	0.3%
令和2年度	5,587	7	0.1%
令和3年度	5,422	11	0.2%
令和4年度	5,323	10	0.2%



【全体】 7-11.年齢階級別多剤服薬状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

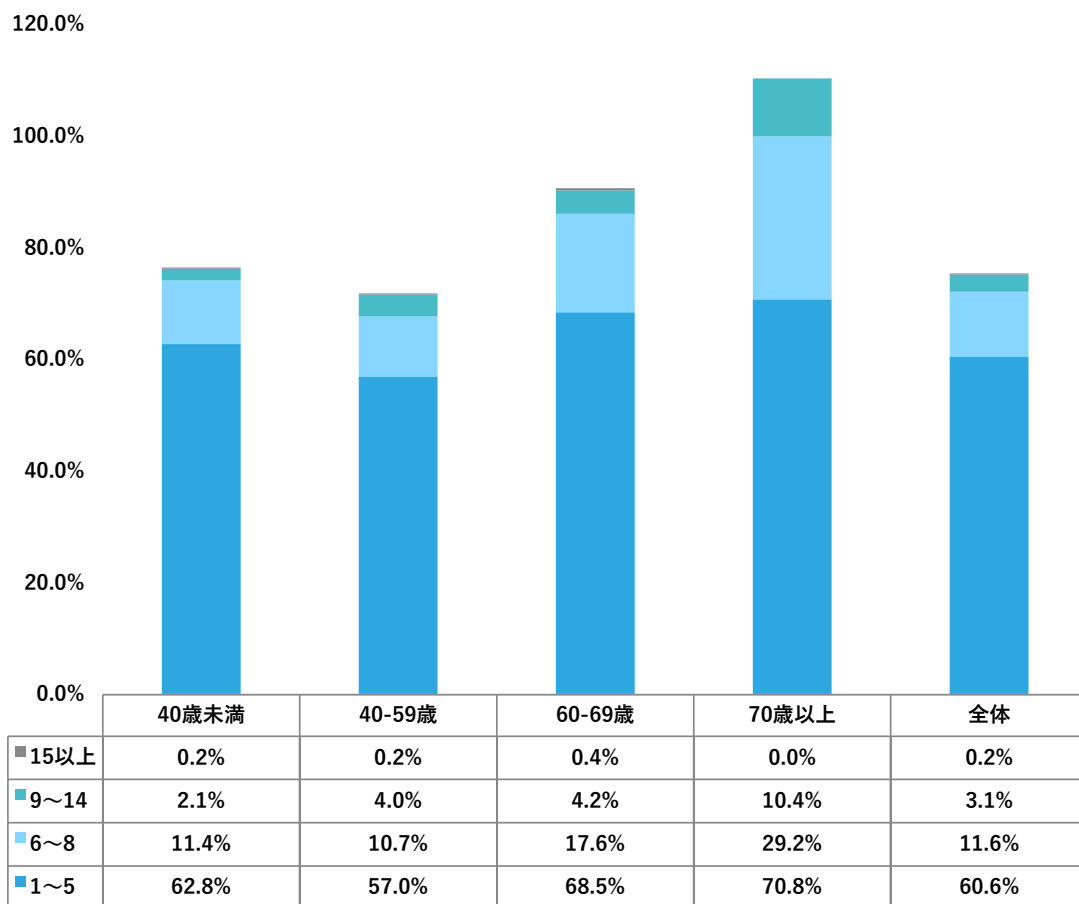
レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

年齢階級別多剤投薬状況

(人)

薬剤 種数	該当者数				
	40歳未満	40-59歳	60-69歳	70歳以上	全体
1～5	1,712	1,317	163	34	3,226
6～8	311	248	42	14	615
9～14	58	92	10	5	165
15以上	5	4	1	0	10
合計	2,086	1,661	216	53	4,016

薬剤 種数	該当割合				
	40歳未満	40-59歳	60-69歳	70歳以上	全体
1～5	62.8%	57.0%	68.5%	70.8%	60.6%
6～8	11.4%	10.7%	17.6%	29.2%	11.6%
9～14	2.1%	4.0%	4.2%	10.4%	3.1%
15以上	0.2%	0.2%	0.4%	0.0%	0.2%



【全体】 7-12.相互作用服薬状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

併用禁忌薬剤使用状況 (人)

投薬者数	4,456
併用禁忌 薬剤使用者数	3
併用禁忌 割合	0.07%

薬効分類別併用禁忌薬剤使用状況

(件)

順位	薬効分類		発生件数
	コード	名称	
1	119	その他の中枢神経系用薬	2
2	614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	2
3	117	精神神経用剤	1
4	232	消化性潰瘍用剤	1
5			
6			
7			
8			
9			
10			

薬効分類別併用禁忌薬剤組み合わせ使用状況

(件)

順位	薬効分類 1		薬効分類 2		発生件数
	コード	名称	コード	名称	
1	117	精神神経用剤	614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	1
2	119	その他の中枢神経系用薬	232	消化性潰瘍用剤	1
3	119	その他の中枢神経系用薬	614	主としてグラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	1
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

【全体】3-15.がんの経年推移

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

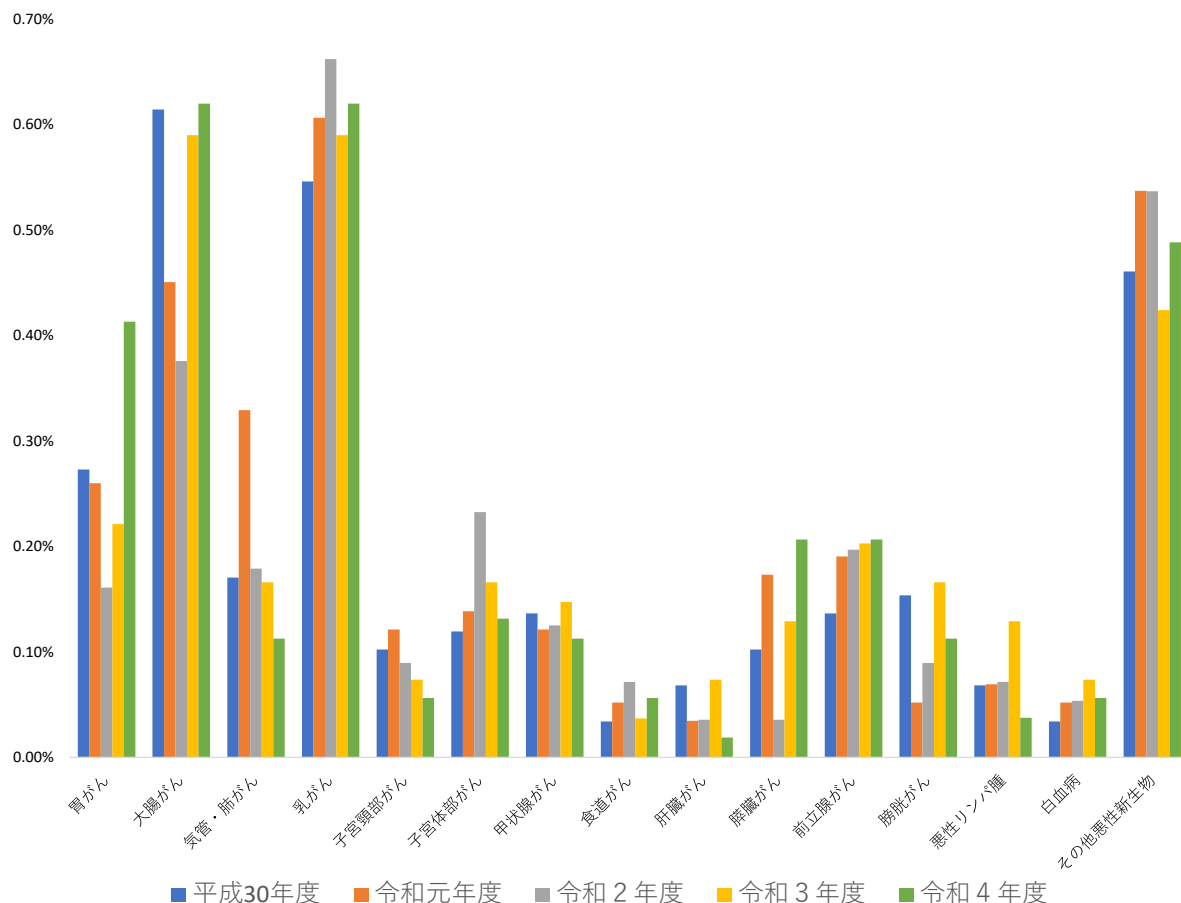
レセプトデータ使用年月：平成30年4月～令和4年3月診療

加入者データ使用年：平成30年度末～令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

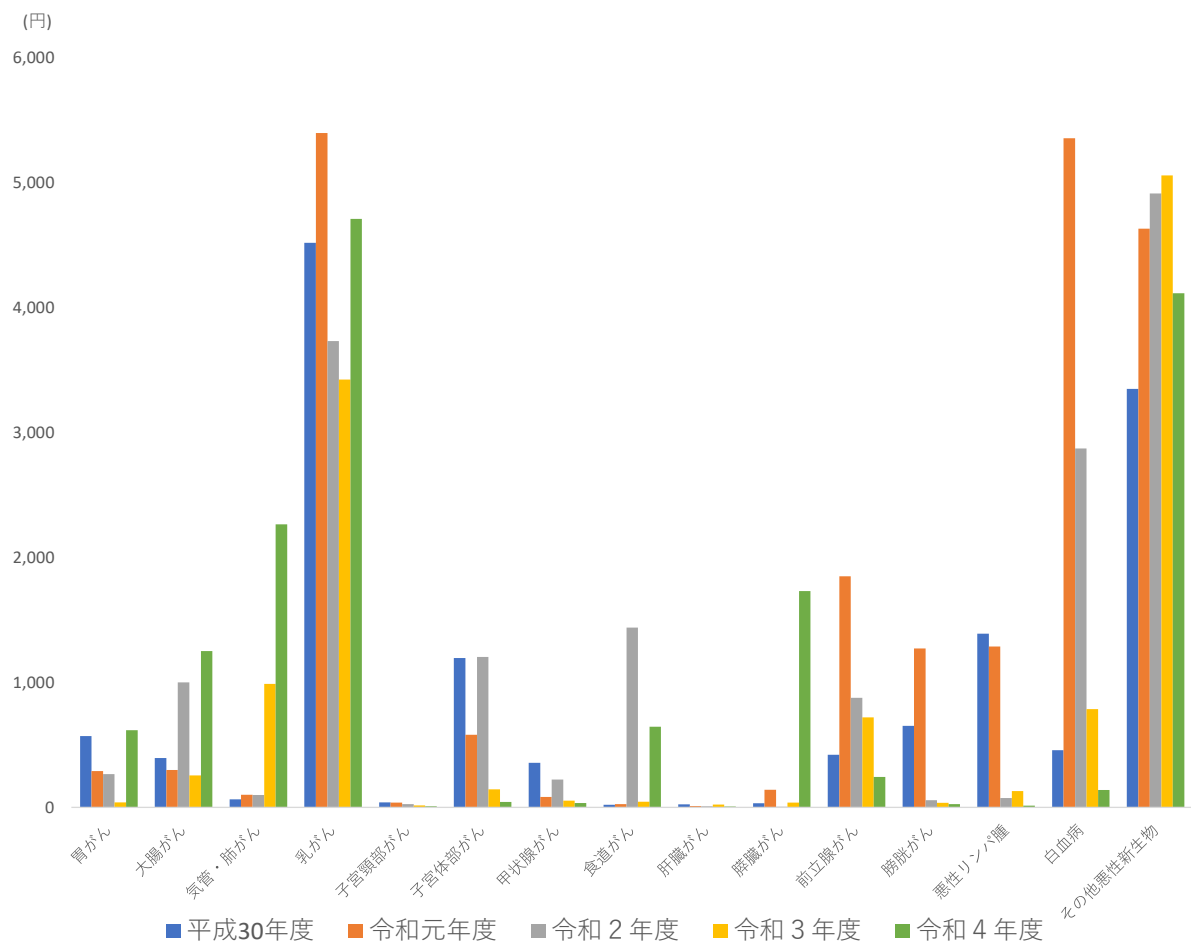
患者割合

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	0.27%	0.26%	0.16%	0.22%	0.41%
大腸がん	0.61%	0.45%	0.38%	0.59%	0.62%
気管・肺がん	0.17%	0.33%	0.18%	0.17%	0.11%
乳がん	0.55%	0.61%	0.66%	0.59%	0.62%
子宮頸部がん	0.10%	0.12%	0.09%	0.07%	0.06%
子宮体部がん	0.12%	0.14%	0.23%	0.17%	0.13%
甲状腺がん	0.14%	0.12%	0.13%	0.15%	0.11%
食道がん	0.03%	0.05%	0.07%	0.04%	0.06%
肝臓がん	0.07%	0.03%	0.04%	0.07%	0.02%
膵臓がん	0.10%	0.17%	0.04%	0.13%	0.21%
前立腺がん	0.14%	0.19%	0.20%	0.20%	0.21%
膀胱がん	0.15%	0.05%	0.09%	0.17%	0.11%
悪性リンパ腫	0.07%	0.07%	0.07%	0.13%	0.04%
白血病	0.03%	0.05%	0.05%	0.07%	0.06%
その他悪性新生物	0.46%	0.54%	0.54%	0.42%	0.49%



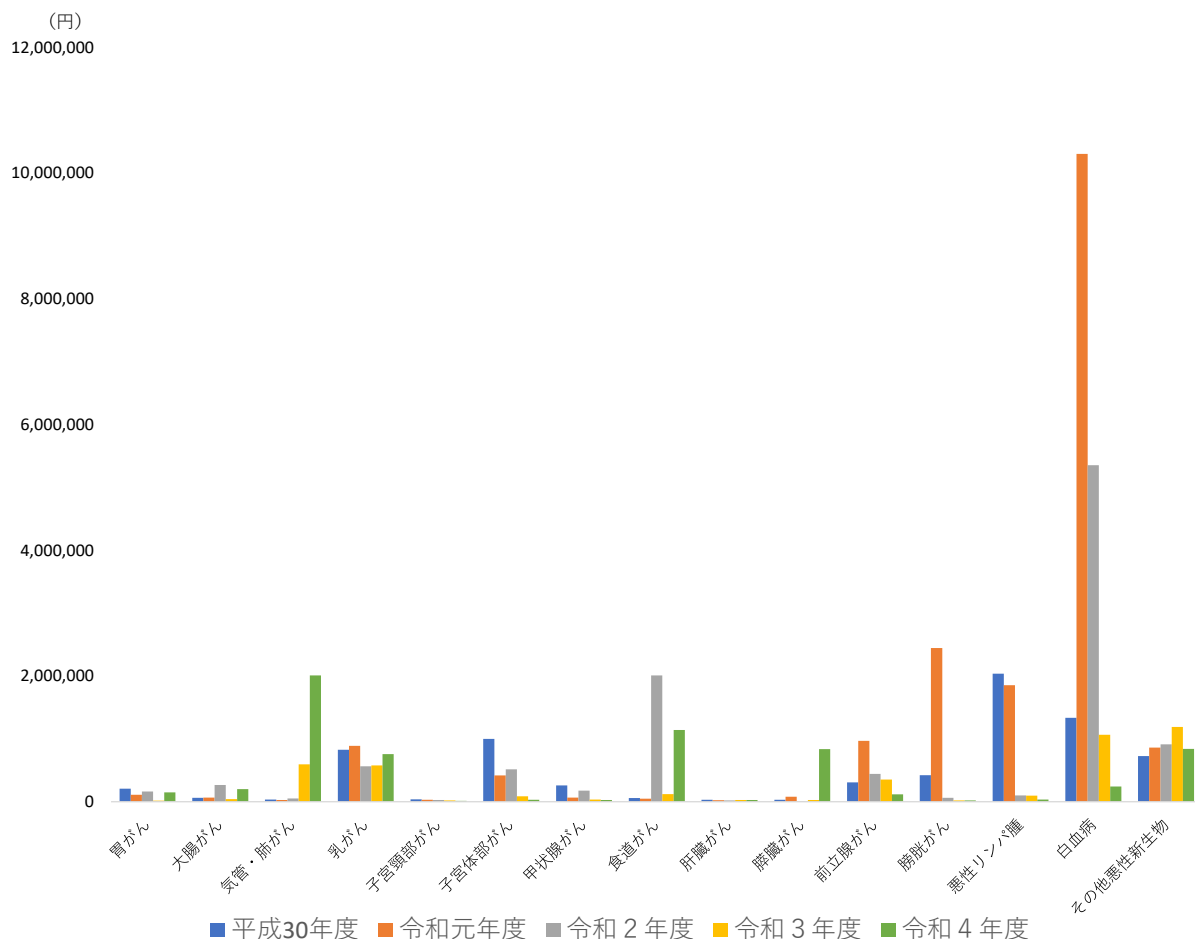
加入者 1 人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
胃がん	570	291	266	39	617
大腸がん	395	298	1,001	256	1,252
気管・肺がん	64	100	99	989	2,267
乳がん	4,522	5,402	3,736	3,426	4,714
子宮頸部がん	39	38	25	16	9
子宮体部がん	1,196	580	1,205	145	42
甲状腺がん	357	84	223	53	34
食道がん	20	25	1,440	45	645
肝臓がん	23	9	8	22	6
膵臓がん	33	140	5	38	1,732
前立腺がん	421	1,850	877	720	243
膀胱がん	652	1,273	56	35	26
悪性リンパ腫	1,391	1,287	74	129	14
白血病	457	5,361	2,875	786	138
その他悪性新生物	3,352	4,635	4,917	5,061	4,119



患者 1 人当たり医療費の推移

疾患名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん	208,652	111,893	164,819	17,438	149,213
大腸がん	64,305	66,172	266,383	43,338	201,971
気管・肺がん	37,519	30,439	55,045	596,008	2,011,087
乳がん	827,934	890,383	564,096	580,515	760,412
子宮頸部がん	38,331	31,399	28,124	21,068	15,360
子宮体部がん	1,001,434	418,565	517,741	87,149	32,214
甲状腺がん	261,571	69,030	177,724	36,094	30,398
食道がん	59,380	48,463	2,011,643	121,455	1,143,737
肝臓がん	33,758	25,990	23,350	30,478	30,400
膵臓がん	31,978	80,960	13,110	29,433	838,245
前立腺がん	308,233	970,416	445,625	354,655	117,635
膀胱がん	424,218	2,447,830	63,106	21,228	22,727
悪性リンパ腫	2,037,822	1,856,545	103,395	100,110	37,470
白血病	1,338,245	10,308,411	5,354,993	1,065,948	244,867
その他悪性新生物	727,317	862,579	915,758	1,193,126	843,247



【全体】3-16.性別がんの状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

がんの状況

全体

疾病名	加入者数 5,323人 総医療費 740,174千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	3,283	0.4%	617	22	149,213	0.4%
大腸がん	6,665	0.9%	1,252	33	201,971	0.6%
気管・肺がん	12,067	1.6%	2,267	6	2,011,087	0.1%
乳がん	25,094	3.4%	4,714	33	760,412	0.6%
子宮頸部がん	46	0.0%	9	3	15,360	0.1%
子宮体部がん	226	0.0%	42	7	32,214	0.1%
甲状腺がん	182	0.0%	34	6	30,398	0.1%
食道がん	3,431	0.5%	645	3	1,143,737	0.1%
肝臓がん	30	0.0%	6	1	30,400	0.0%
膵臓がん	9,221	1.2%	1,732	11	838,245	0.2%
前立腺がん	1,294	0.2%	243	11	117,635	0.2%
膀胱がん	136	0.0%	26	6	22,727	0.1%
悪性リンパ腫	75	0.0%	14	2	37,470	0.0%
白血病	735	0.1%	138	3	244,867	0.1%
その他悪性新生物	21,924	3.0%	4,119	26	843,247	0.5%

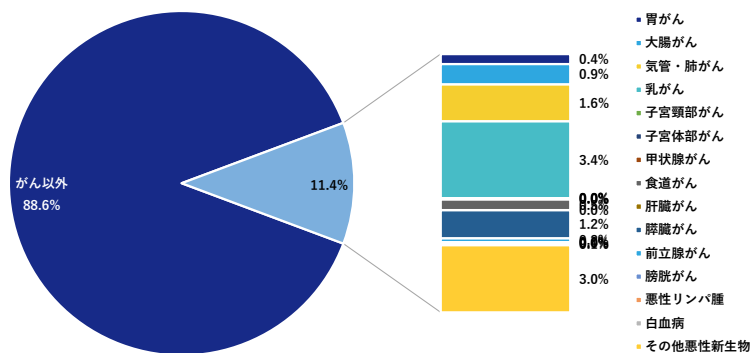
男

疾病名	加入者数 3,216人 総医療費 406,923千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	3,183	0.8%	990	17	187,229	0.5%
大腸がん	6,117	1.5%	1,902	26	235,265	0.8%
気管・肺がん	12,031	3.0%	3,741	4	3,007,636	0.1%
乳がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮頸部がん						
子宮体部がん						
甲状腺がん	94	0.0%	29	3	31,413	0.1%
食道がん	3,414	0.8%	1,062	2	1,707,155	0.1%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	9,221	2.3%	2,867	11	838,245	0.3%
前立腺がん	1,294	0.3%	402	11	117,635	0.3%
膀胱がん	73	0.0%	23	2	36,410	0.1%
悪性リンパ腫	22	0.0%	7	1	21,670	0.0%
白血病	716	0.2%	223	2	358,100	0.1%
その他悪性新生物	8,272	2.0%	2,572	15	551,450	0.5%

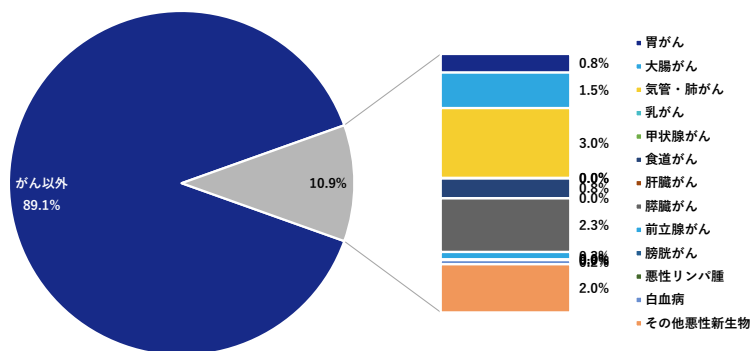
女

疾病名	加入者数 2,107人 総医療費 333,251千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	100	0.0%	47	5	19,958	0.2%
大腸がん	548	0.2%	260	7	78,308	0.3%
気管・肺がん	36	0.0%	17	2	17,990	0.1%
乳がん	25,094	7.5%	11,910	33	760,412	1.6%
子宮頸部がん	46	0.0%	22	3	15,360	0.1%
子宮体部がん	226	0.1%	107	7	32,214	0.3%
甲状腺がん	88	0.0%	42	3	29,383	0.1%
食道がん	17	0.0%	8	1	16,900	0.0%
肝臓がん	30	0.0%	14	1	30,400	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん						
膀胱がん	64	0.0%	30	4	15,885	0.2%
悪性リンパ腫	53	0.0%	25	1	53,270	0.0%
白血病	18	0.0%	9	1	18,400	0.0%
その他悪性新生物	13,653	4.1%	6,480	11	1,241,152	0.5%

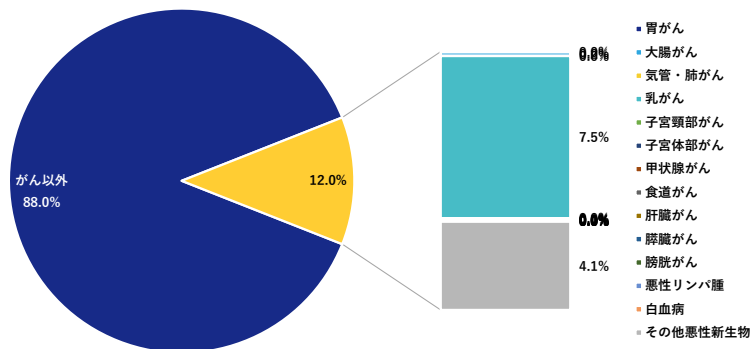
総医療費にみるがんの医療費割合
全体



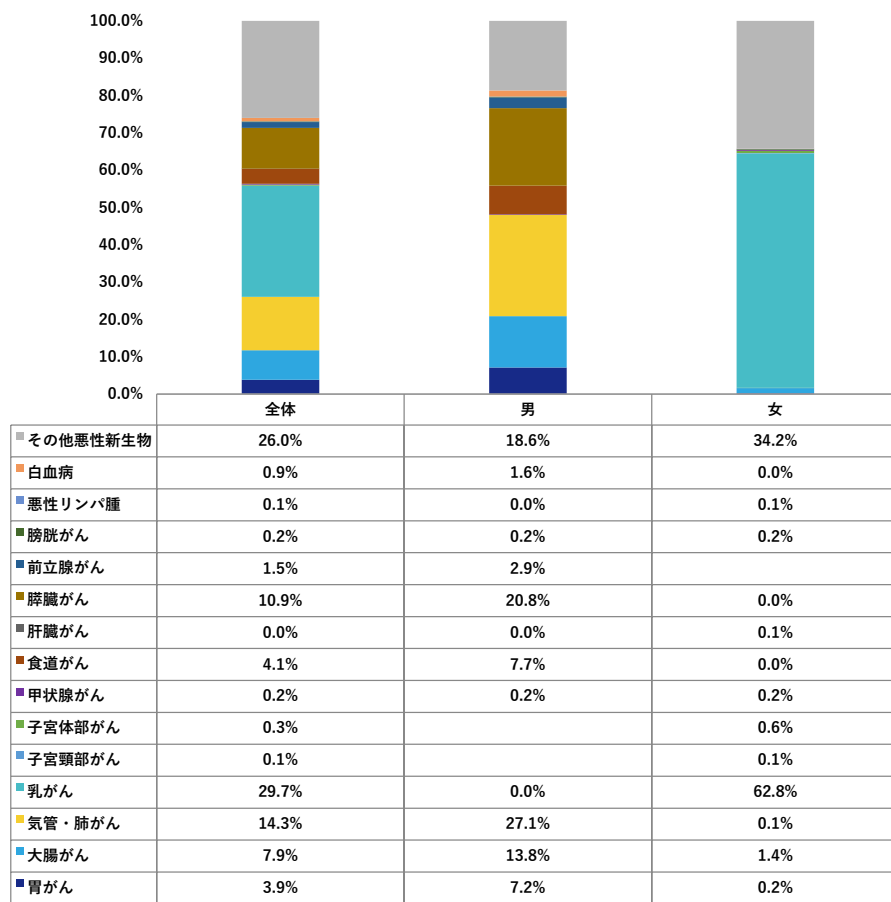
男



女

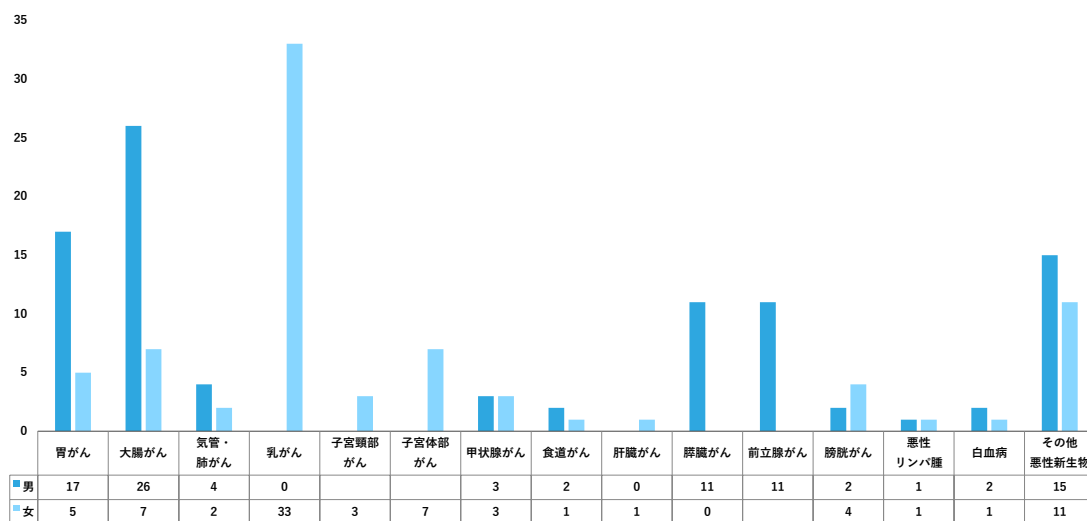


がんの医療費割合

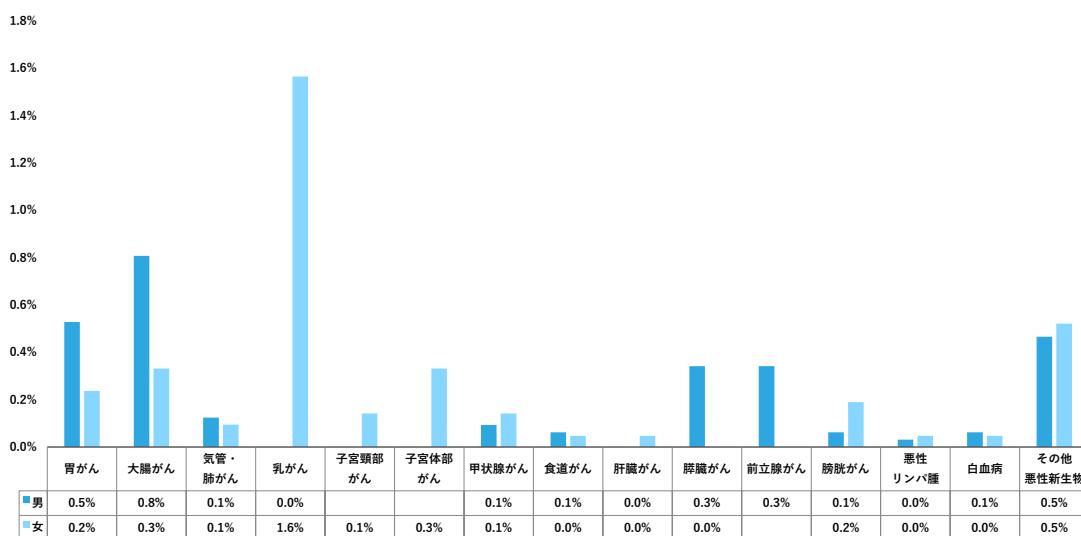


患者数

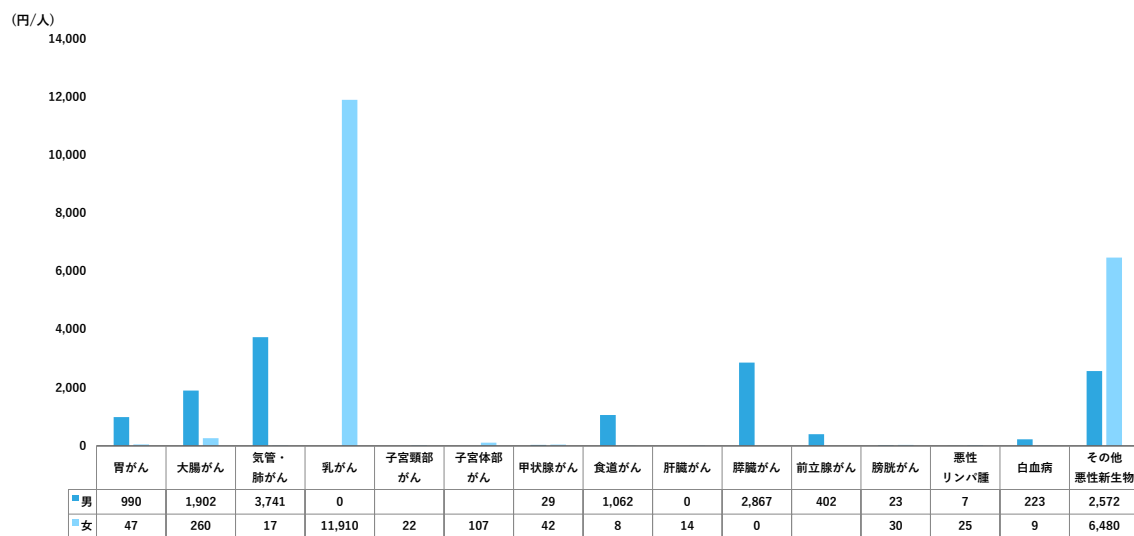
(人)



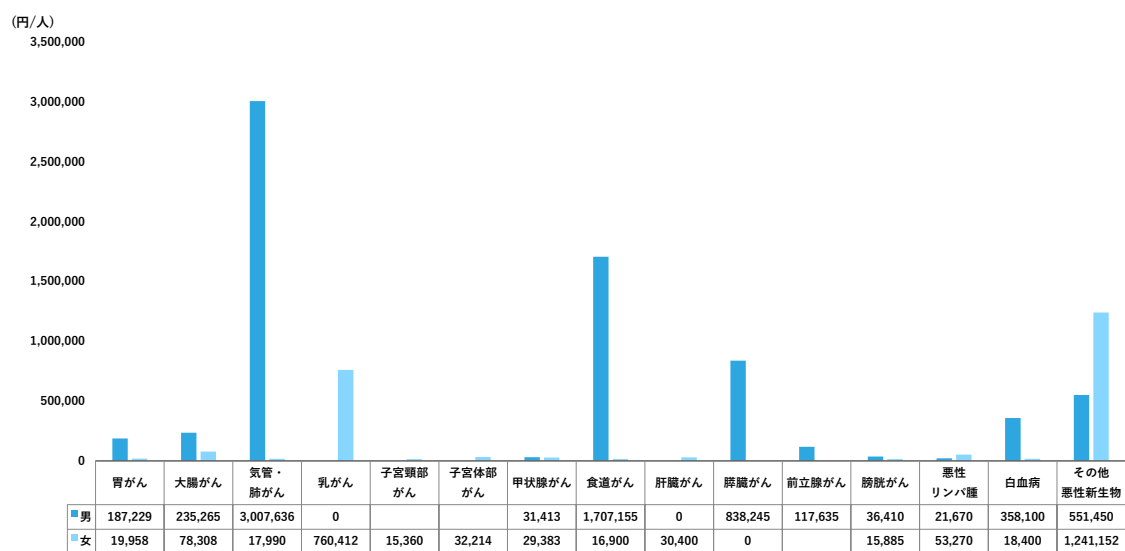
患者割合



加入者 1 人当たり医療費



患者 1 人当たり医療費



【全体】3-17.年齢階級別がんの状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

がんの状況

30歳未満

疾病名	加入者数 2,129人 総医療費 241,523千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大腸がん	21	0.0%	10	1	21,210	0.0%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮頸部がん	13	0.0%	6	1	12,990	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	19	0.0%	9	1	18,620	0.0%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	524	0.2%	246	1	524,120	0.0%
その他悪性新生物	2,451	1.0%	1,151	2	1,225,390	0.1%

30-34歳

疾病名	加入者数 250人 総医療費 19,513千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	3	0.0%	12	1	2,880	0.4%
大腸がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	12	0.1%	48	1	12,080	0.4%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	18	0.1%	74	1	18,400	0.4%
その他悪性新生物	0	0.0%	0	0	0	0.0%

35-39歳

疾病名	加入者数 347人 総医療費 34,325千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大腸がん	187	0.5%	538	3	62,250	0.9%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮頸部がん	20	0.1%	58	1	20,100	0.3%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	0	0.0%	0	0	0	0.0%

40-44歳

疾病名	加入者数 523人 総医療費 48,071千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者 1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者 1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	15	0.0%	29	1	15,190	0.2%
大腸がん	269	0.6%	514	6	44,780	1.1%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	304	0.6%	581	4	75,945	0.8%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	70	0.1%	133	2	34,765	0.4%
甲状腺がん	34	0.1%	66	1	34,330	0.2%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	24	0.1%	47	1	24,490	0.2%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	217	0.5%	414	5	43,350	1.0%

45-49歳

疾病名	加入者数 745人 総医療費 115,856千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者 1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者 1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	182	0.2%	244	6	30,332	0.8%
大腸がん	2,581	2.2%	3,464	2	1,290,271	0.3%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	18,493	16.0%	24,822	11	1,681,141	1.5%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	87	0.1%	117	3	29,020	0.4%
甲状腺がん	24	0.0%	32	1	23,570	0.1%
食道がん	34	0.0%	45	2	16,900	0.3%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	98	0.1%	132	4	24,535	0.5%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	17	0.0%	23	1	16,860	0.1%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	7,532	6.5%	10,110	6	1,255,322	0.8%

50-54歳

疾病名	加入者数 593人 総医療費 109,838千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者 1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者 1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	2,382	2.2%	4,017	8	297,760	1.3%
大腸がん	1,049	1.0%	1,769	8	131,144	1.3%
気管・肺がん	44	0.0%	73	2	21,785	0.3%
乳がん	4,981	4.5%	8,400	8	622,625	1.3%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	31	0.0%	52	2	15,285	0.3%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	30	0.0%	51	1	30,400	0.2%
膵臓がん	7,937	7.2%	13,384	2	3,968,465	0.3%
前立腺がん	492	0.4%	830	3	164,057	0.5%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	22	0.0%	37	1	21,670	0.2%
白血病	192	0.2%	324	1	192,080	0.2%
その他悪性新生物	3,781	3.4%	6,376	5	756,142	0.8%

55-59歳

疾病名	加入者数 450人 総医療費 83,564千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者 1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者 1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	570	0.7%	1,268	2	285,197	0.4%
大腸がん	563	0.7%	1,250	8	70,325	1.8%
気管・肺がん	328	0.4%	728	3	109,187	0.7%
乳がん	627	0.8%	1,393	7	89,559	1.6%
子宮頸部がん	13	0.0%	29	1	12,990	0.2%
子宮体部がん	69	0.1%	153	2	34,455	0.4%
甲状腺がん	64	0.1%	141	1	63,670	0.2%
食道がん	3,397	4.1%	7,550	1	3,397,410	0.2%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	34	0.0%	76	1	34,290	0.2%
前立腺がん	5	0.0%	10	1	4,530	0.2%
膀胱がん	71	0.1%	158	2	35,540	0.4%
悪性リンパ腫	53	0.1%	118	1	53,270	0.2%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	5,899	7.1%	13,108	5	1,179,718	1.1%

60-64歳

疾病名	加入者数 199人 総医療費 44,962千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者 1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者 1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	130	0.3%	654	4	32,538	2.0%
大腸がん	1,313	2.9%	6,598	2	656,505	1.0%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	28	0.1%	141	2	14,015	1.0%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	30	0.1%	152	1	30,250	0.5%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	70	0.2%	351	2	34,895	1.0%
前立腺がん	420	0.9%	2,113	4	105,098	2.0%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	1,890	4.2%	9,499	2	945,197	1.0%

65-69歳

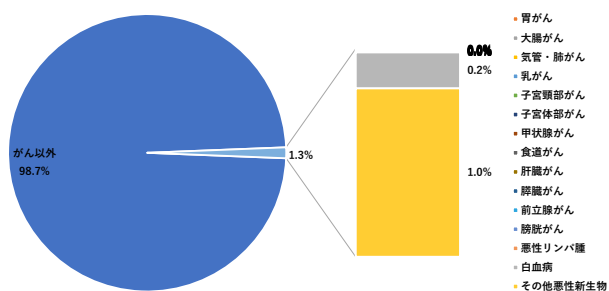
疾病名	加入者数 39人 総医療費 22,618千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者 1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者 1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大腸がん	65	0.3%	1,663	1	64,850	2.6%
気管・肺がん	11,695	51.7%	299,882	1	11,695,392	2.6%
乳がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
前立腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膀胱がん	12	0.1%	304	1	11,850	2.6%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	155	0.7%	3,981	1	155,260	2.6%

70歳以上

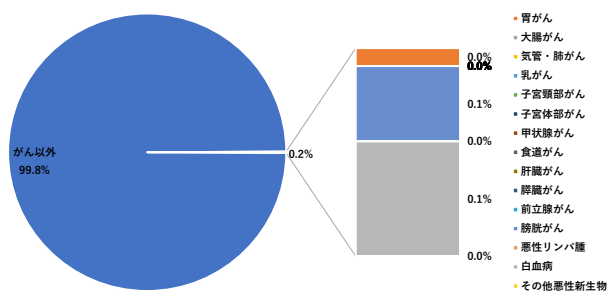
疾病名	加入者数 48人 総医療費 19,904千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者 1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者 1人当たり医療費(円)	患者割合
胃がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
大腸がん	618	3.1%	12,880	2	309,123	4.2%
気管・肺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
乳がん	661	3.3%	13,778	1	661,320	2.1%
子宮頸部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
子宮体部がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
甲状腺がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
食道がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
肝臓がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
膵臓がん	1,063	5.3%	22,144	1	1,062,920	2.1%
前立腺がん	377	1.9%	7,852	3	125,630	6.3%
膀胱がん	0	0.0%	0	0	0	0.0%
悪性リンパ腫	0	0.0%	0	0	0	0.0%
白血病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他悪性新生物	0	0.0%	0	0	0	0.0%

総医療費にみるがんの医療費割合

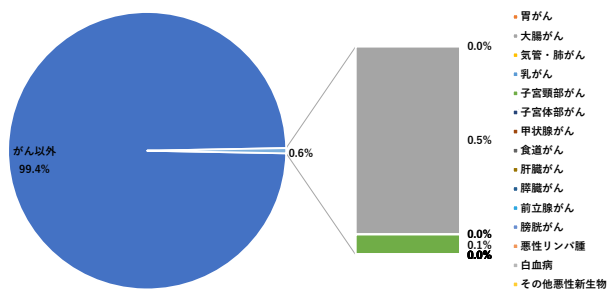
30歳未満



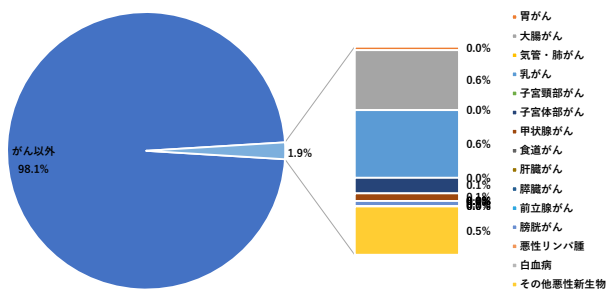
30-34歳



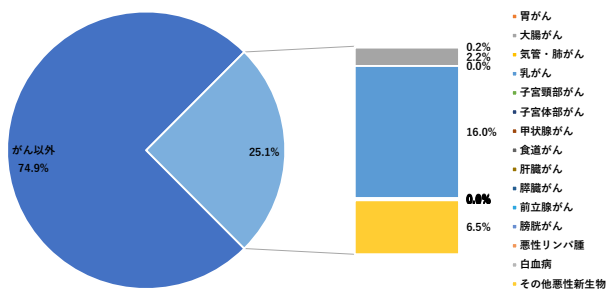
35-39歳



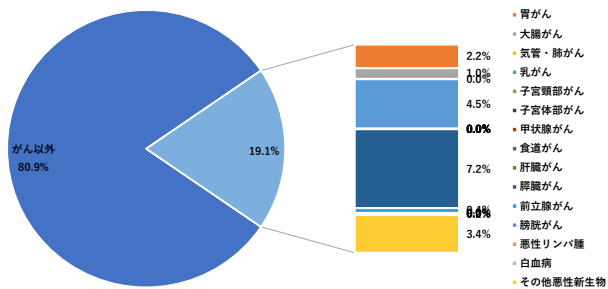
40-44歳



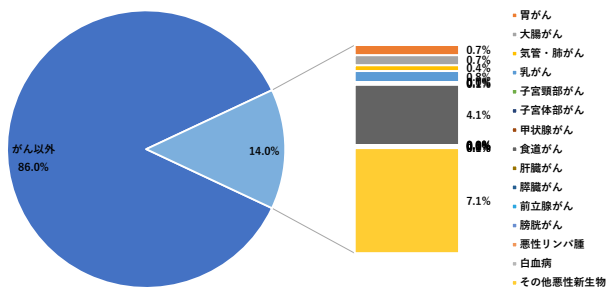
45-49歳



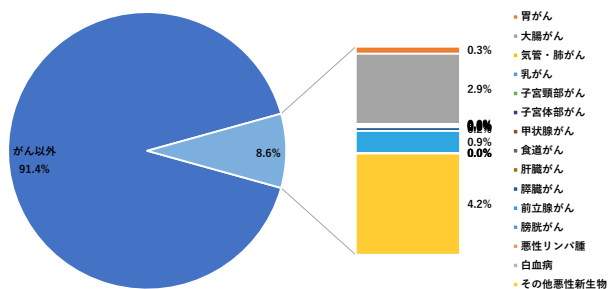
50-54歳



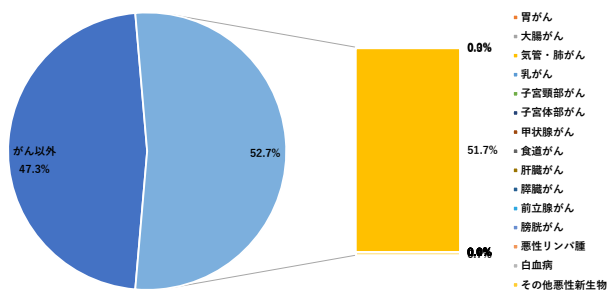
55-59歳



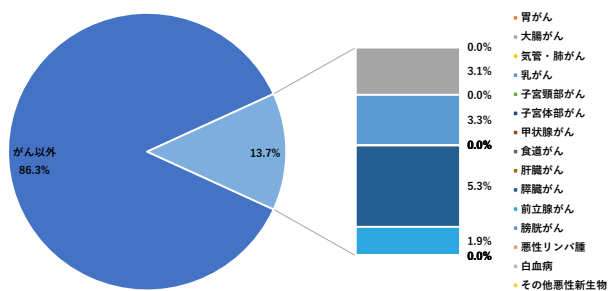
60-64歳



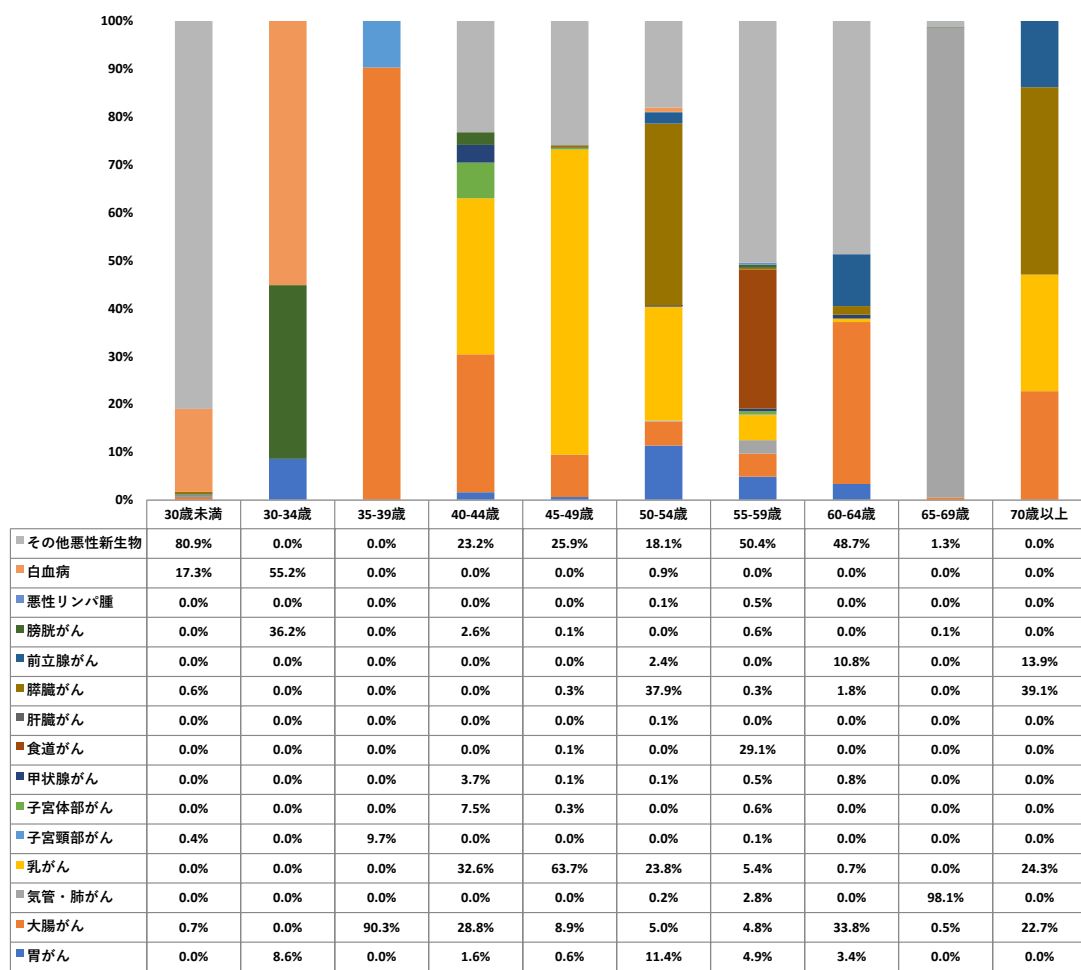
65-69歳



70歳以上

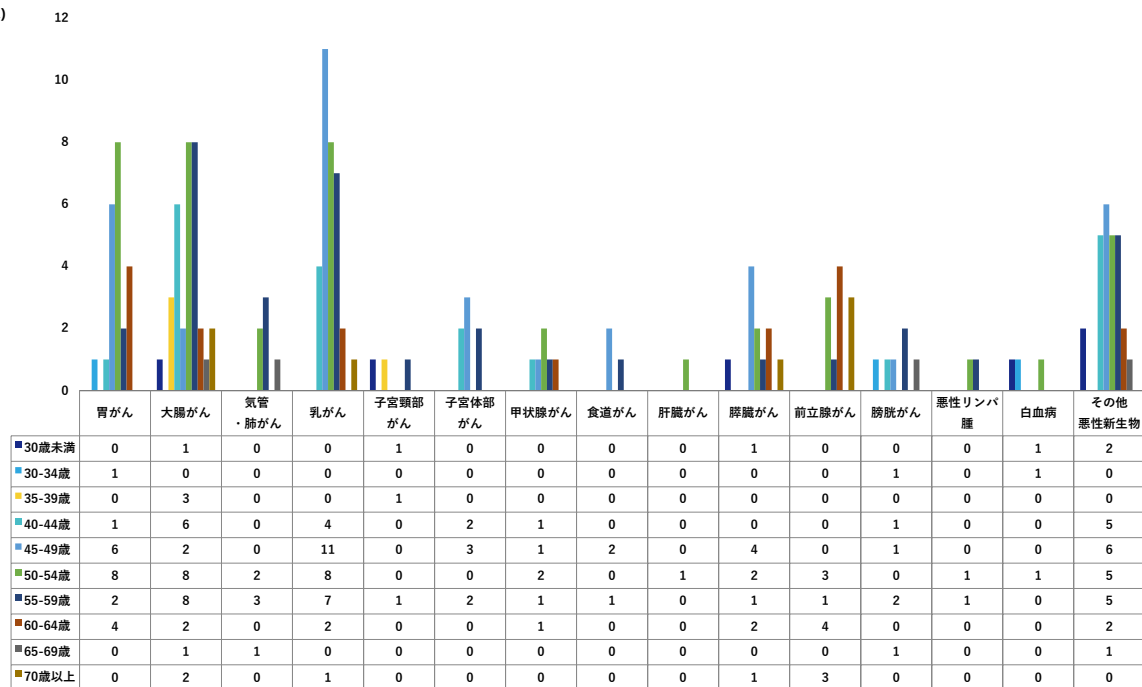


がんの医療費割合

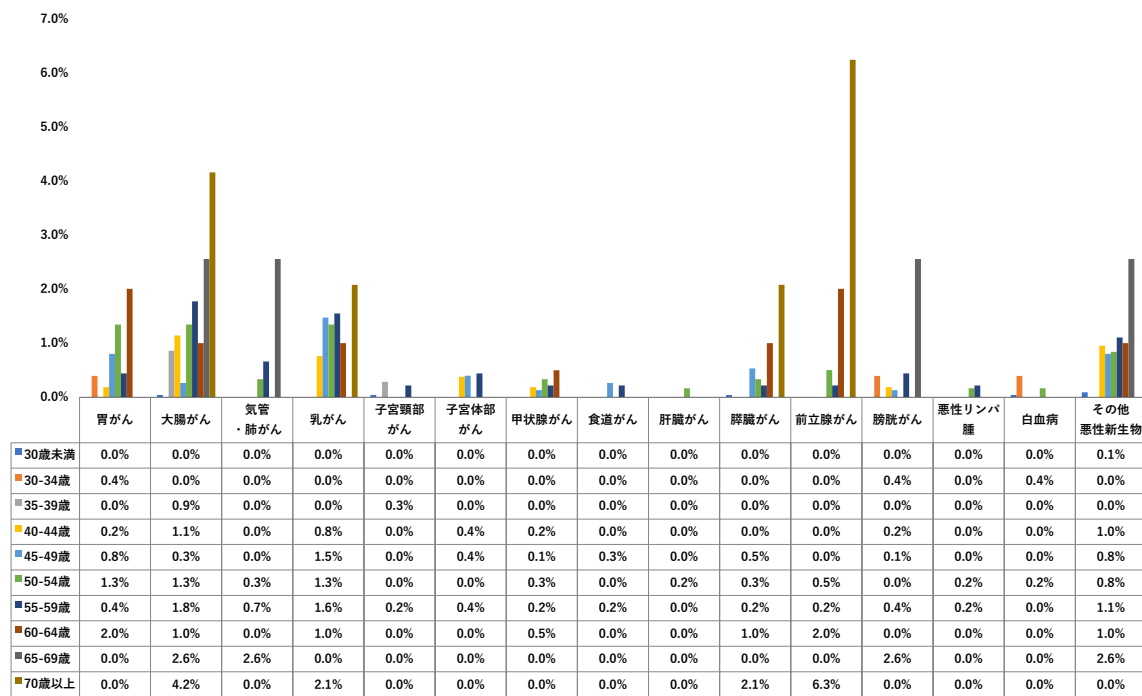


患者数

(人)

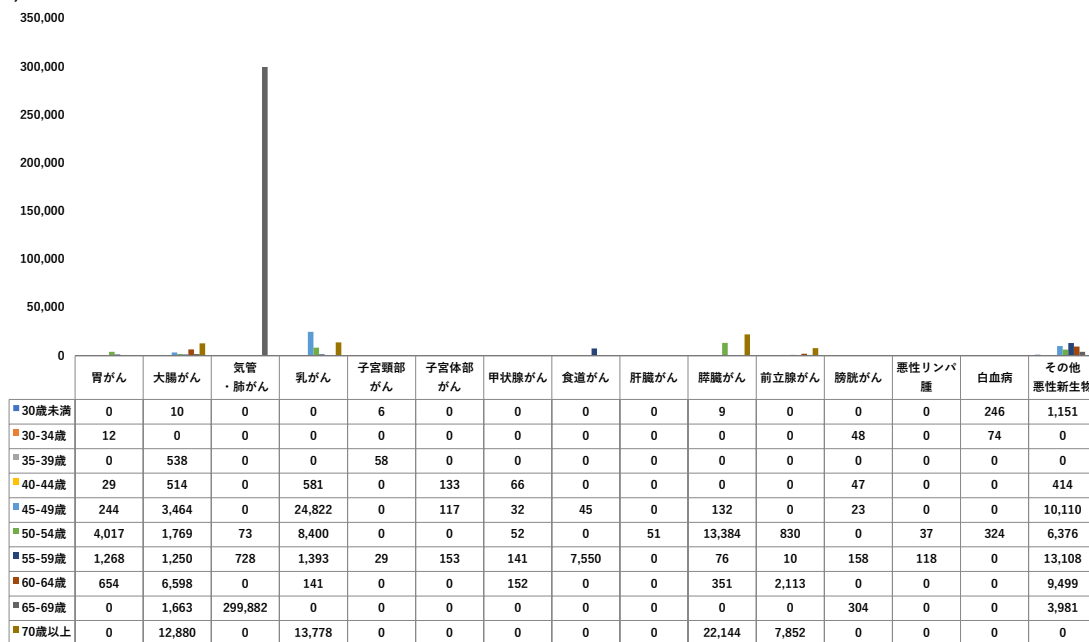


患者割合



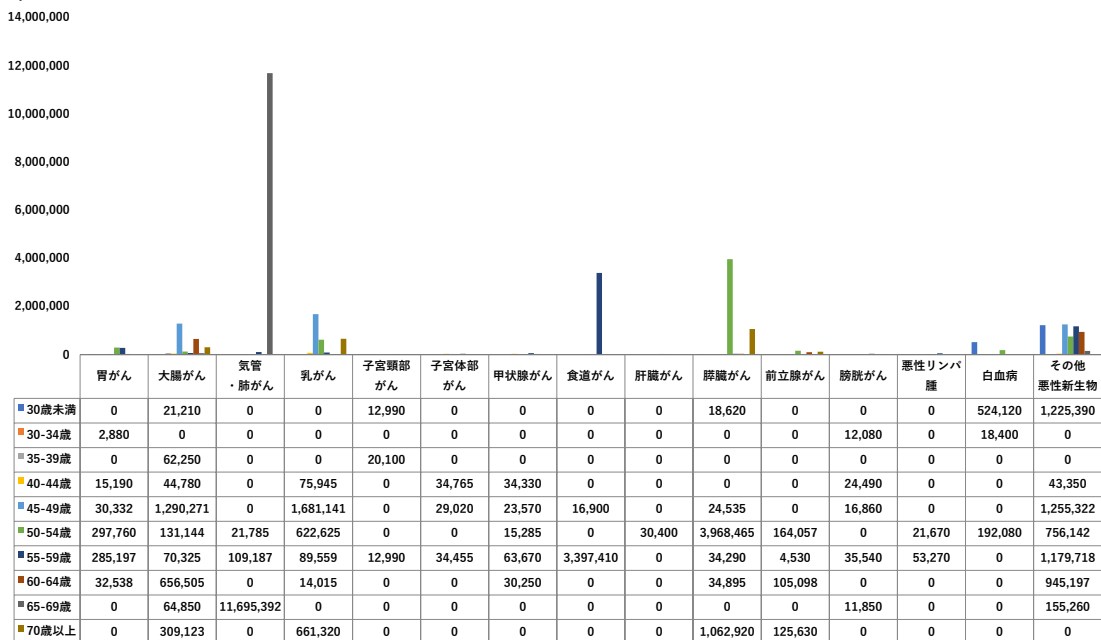
加入者 1 人当たり医療費

(円/人)



患者 1 人当たり医療費

(円/人)



【全体】3-18.性別精神疾患の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

精神疾患の状況

全体

疾病名	加入者数 5,323人 総医療費 740,174千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	8,613	1.2%	1,618	145	59,402	2.7%
うつ病	11,918	1.6%	2,239	110	108,345	2.1%
統合失調症	3,411	0.5%	641	17	200,646	0.3%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	5,772	0.8%	1,084	74	77,995	1.4%

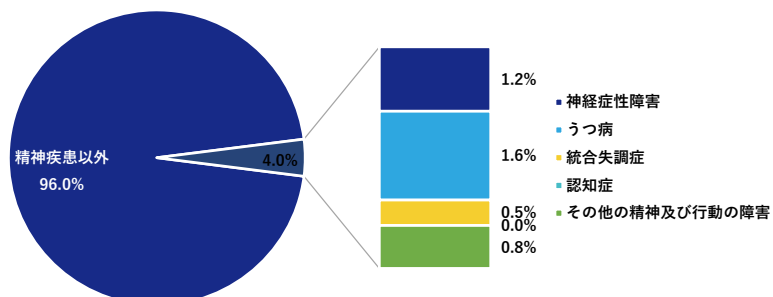
男

疾病名	加入者数 3,216人 総医療費 406,923千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	4,841	1.2%	1,505	79	61,274	2.5%
うつ病	5,280	1.3%	1,642	55	96,001	1.7%
統合失調症	821	0.2%	255	4	205,225	0.1%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	3,486	0.9%	1,084	48	72,619	1.5%

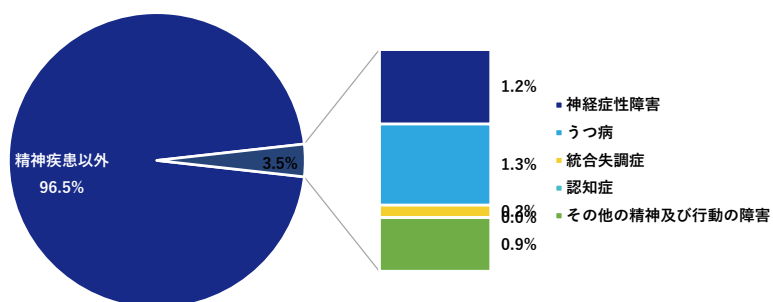
女

疾病名	加入者数 2,107人 総医療費 333,251千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	3,773	1.1%	1,791	66	57,163	3.1%
うつ病	6,638	2.0%	3,150	55	120,689	2.6%
統合失調症	2,590	0.8%	1,229	13	199,237	0.6%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	2,286	0.7%	1,085	26	87,919	1.2%

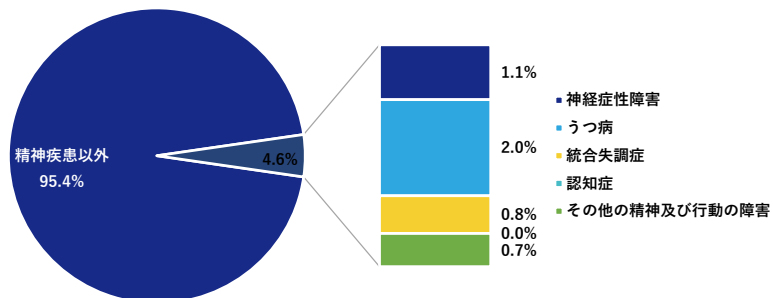
総医療費にみる精神疾患の医療費割合
全体



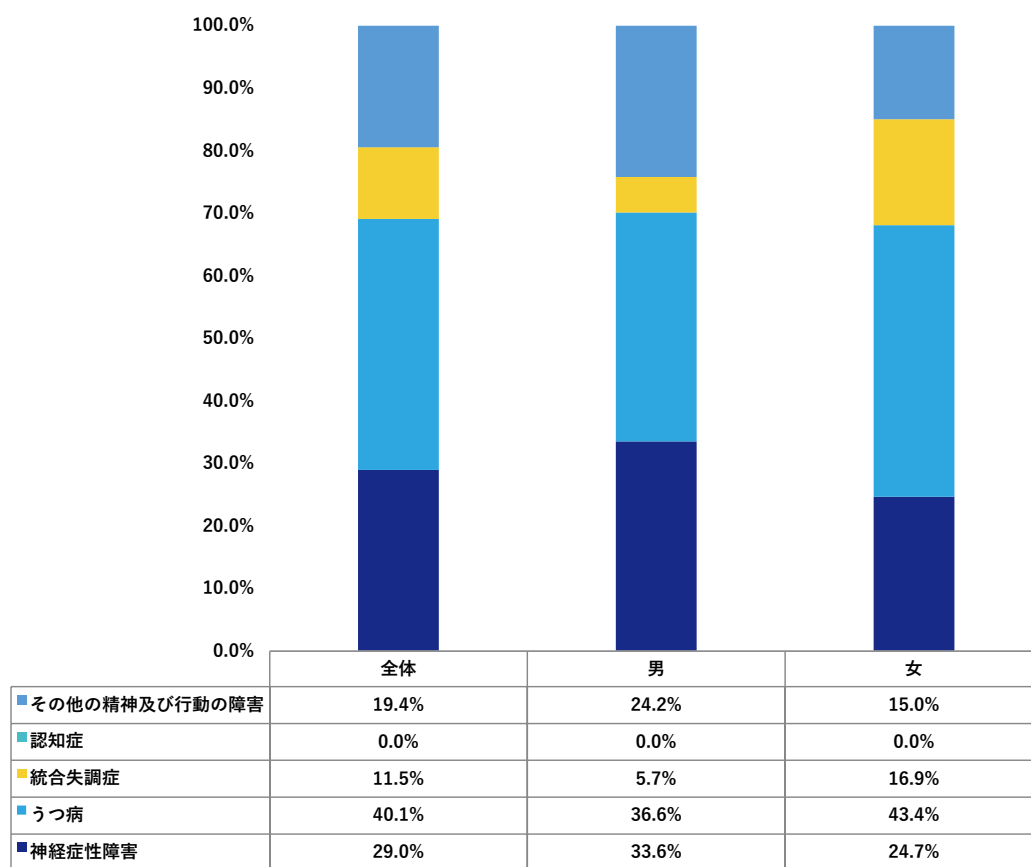
男



女

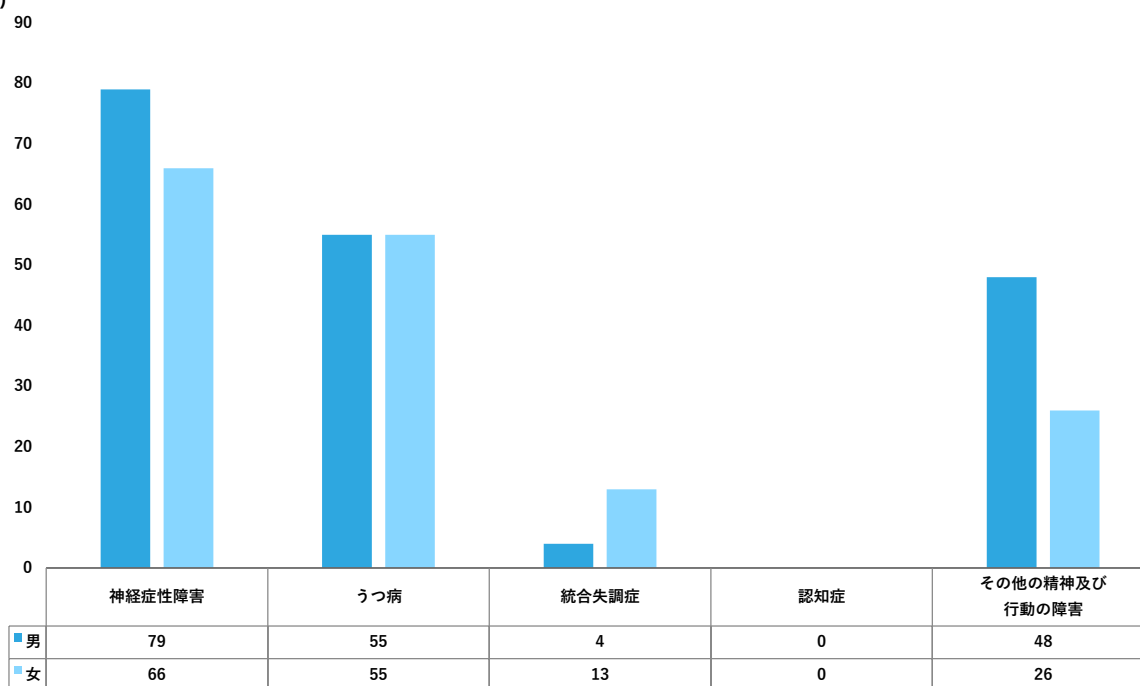


精神疾患の医療費割合

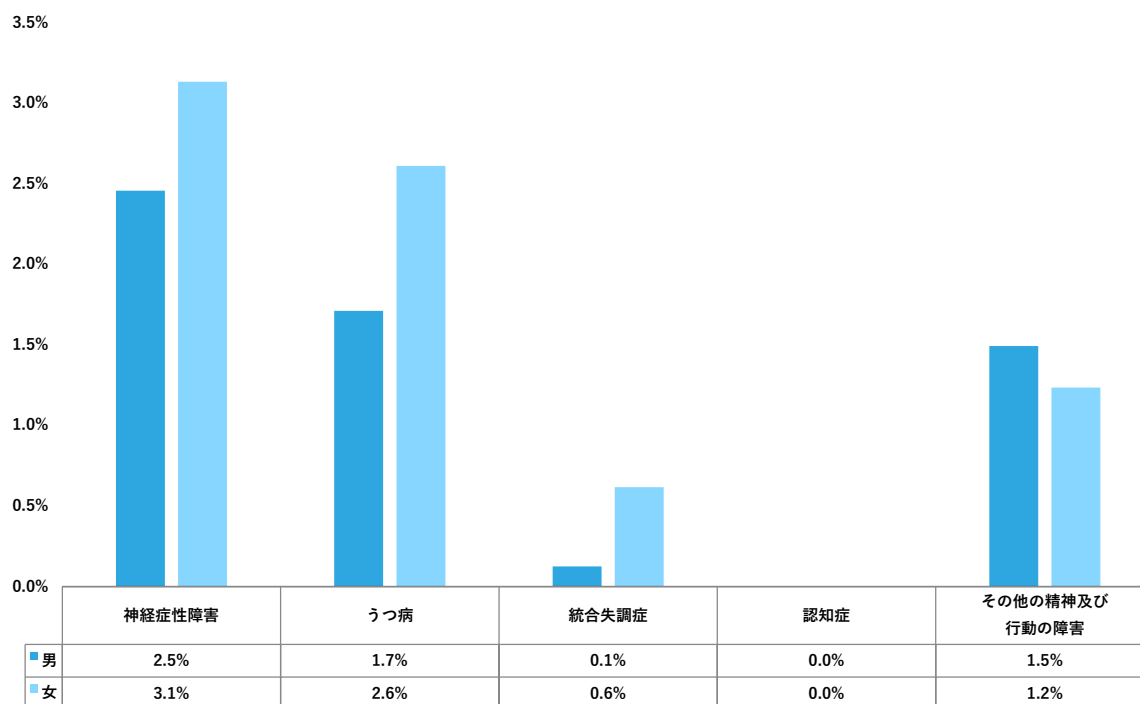


患者数

(人)

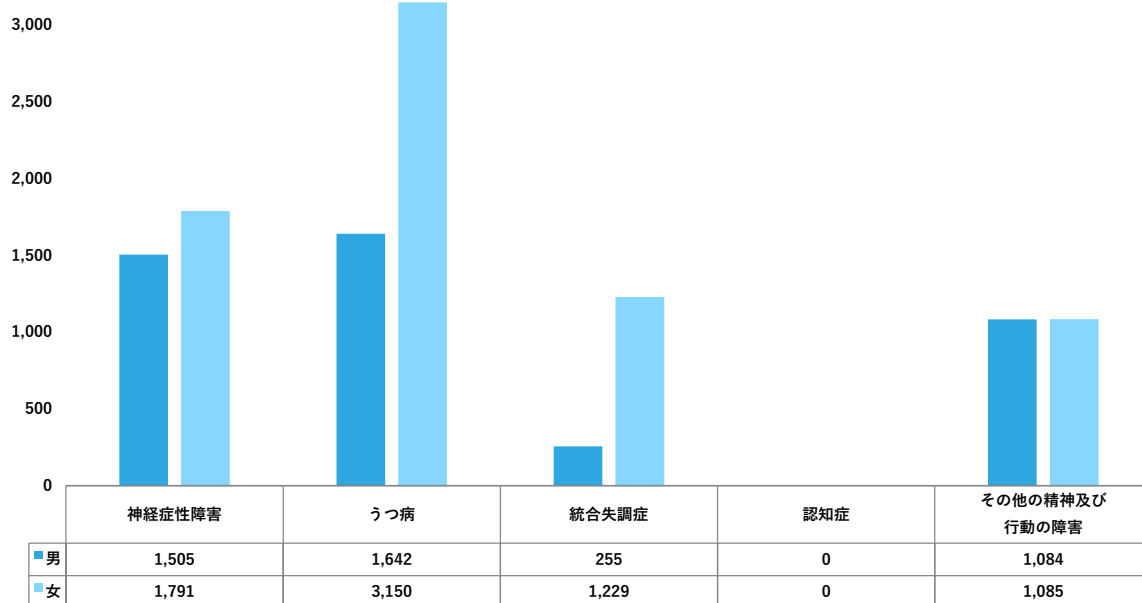


患者割合



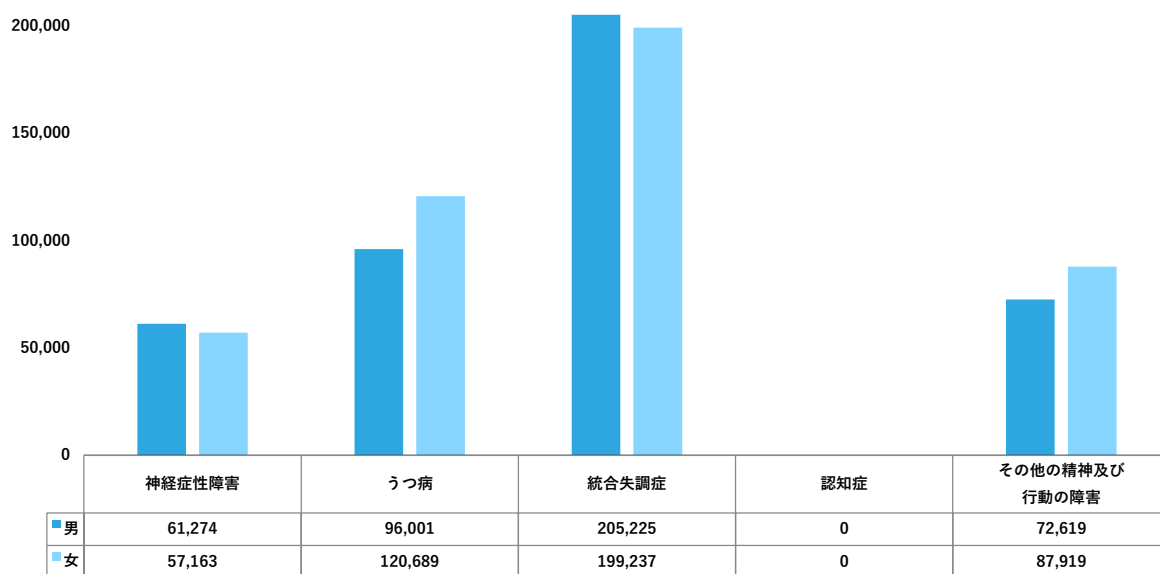
加入者 1 人当たり医療費

(円/人)
3,500



患者 1 人当たり医療費

(円/人)
250,000



【全体】3-19.年齢階級別精神疾患の状況

使用データ：レセプトデータ（医科、調剤）、加入者データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

加入者データ使用年：令和4年度末

主病を集計（医療費は調剤費を含む）

精神疾患の状況

20歳未満

疾病名	加入者数 1,528人 総医療費 194,670千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	1,793	0.9%	1,174	27	66,422	1.8%
うつ病	1,087	0.6%	711	10	108,668	0.7%
統合失調症	144	0.1%	94	1	144,050	0.1%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	3,515	1.8%	2,300	56	62,766	3.7%

20-24歳

疾病名	加入者数 351人 総医療費 31,565千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	1,173	3.7%	3,342	15	78,207	4.3%
うつ病	504	1.6%	1,436	6	84,018	1.7%
統合失調症	315	1.0%	897	1	314,910	0.3%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	294	0.9%	838	3	98,053	0.9%

25-29歳

疾病名	加入者数 250人 総医療費 15,287千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	954	6.2%	3,816	8	119,238	3.2%
うつ病	724	4.7%	2,897	7	103,456	2.8%
統合失調症	656	4.3%	2,626	2	328,190	0.8%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	232	1.5%	930	4	58,123	1.6%

30-34歳

疾病名	加入者数 250人 総医療費 19,513千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	610	3.1%	2,442	12	50,868	4.8%
うつ病	371	1.9%	1,485	5	74,268	2.0%
統合失調症	794	4.1%	3,177	1	794,310	0.4%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	745	3.8%	2,979	4	186,198	1.6%

35-39歳

疾病名	加入者数 347人 総医療費 34,325千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	276	0.8%	797	11	25,126	3.2%
うつ病	548	1.6%	1,578	8	68,461	2.3%
統合失調症	69	0.2%	198	1	68,720	0.3%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%

40-44歳

疾病名	加入者数 523人 総医療費 48,071千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	695	1.4%	1,330	14	49,677	2.7%
うつ病	2,047	4.3%	3,914	16	127,951	3.1%
統合失調症	233	0.5%	445	1	232,880	0.2%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	717	1.5%	1,370	2	358,375	0.4%

45-49歳

疾病名	加入者数 745人 総医療費 115,856千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	1,189	1.0%	1,595	26	45,713	3.5%
うつ病	1,999	1.7%	2,683	23	86,912	3.1%
統合失調症	541	0.5%	726	5	108,182	0.7%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	3	0.0%	4	1	2,880	0.1%

50-54歳

疾病名	加入者数 593人 総医療費 109,838千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	875	0.8%	1,475	16	54,670	2.7%
うつ病	1,559	1.4%	2,629	18	86,609	3.0%
統合失調症	510	0.5%	860	4	127,533	0.7%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	42	0.0%	71	1	41,810	0.2%

55-59歳

疾病名	加入者数 450人 総医療費 83,564千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	284	0.3%	632	6	47,377	1.3%
うつ病	1,953	2.3%	4,340	14	139,507	3.1%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	0	0.0%	0	0	0	0.0%

60-64歳

疾病名	加入者数 199人 総医療費 44,962千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	565	1.3%	2,837	5	112,914	2.5%
うつ病	853	1.9%	4,285	2	426,340	1.0%
統合失調症	149	0.3%	747	1	148,690	0.5%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	55	0.1%	277	1	55,220	0.5%

65-69歳

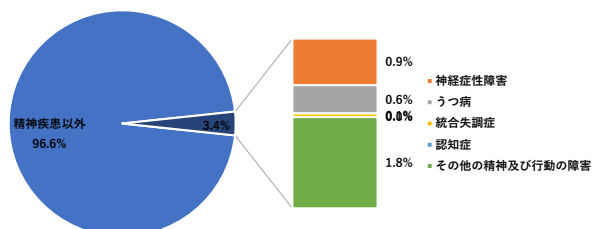
疾病名	加入者数 39人 総医療費 22,618千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	157	0.7%	4,027	2	78,530	5.1%
うつ病	0	0.0%	0	0	0	0.0%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	133	0.6%	3,398	1	132,510	2.6%

70歳以上

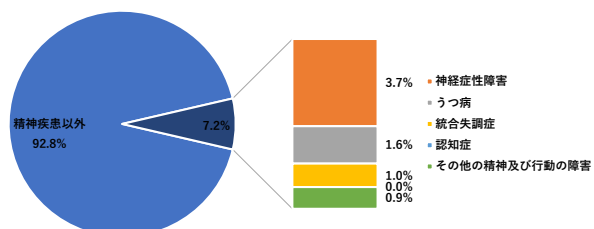
疾病名	加入者数 48人 総医療費 19,904千円					
	医療費(千円)	医療費割合	加入者1人当たり医療費(円)	患者数(人)	患者1人当たり医療費(円)	患者割合
神経症性障害	42	0.2%	866	3	13,850	6.3%
うつ病	273	1.4%	5,688	1	273,040	2.1%
統合失調症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
認知症	0	0.0%	0	0	0	0.0%
その他の精神及び行動の障害	36	0.2%	753	1	36,150	2.1%

総医療費にみる精神疾患の医療費割合

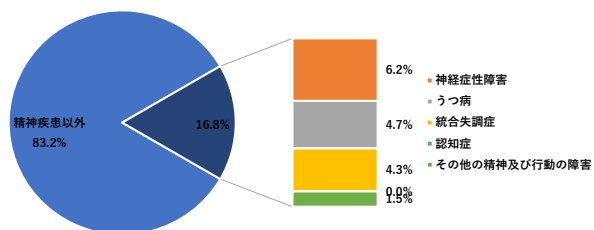
20歳未満



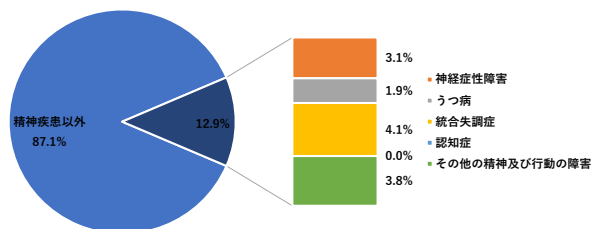
20-24歳



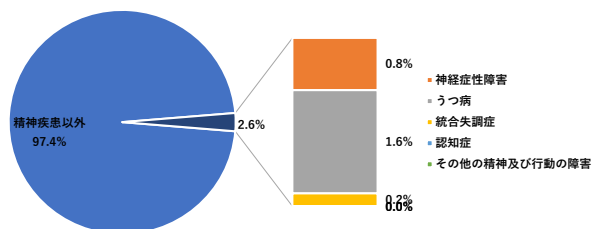
25-29歳



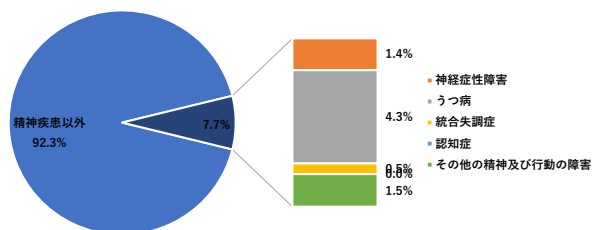
30-34歳



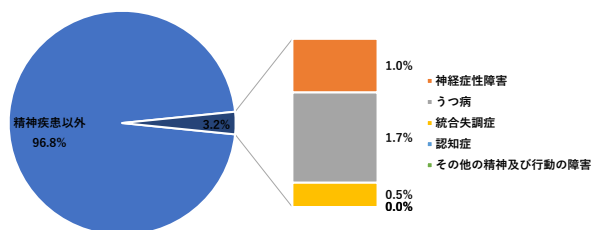
35-39歳



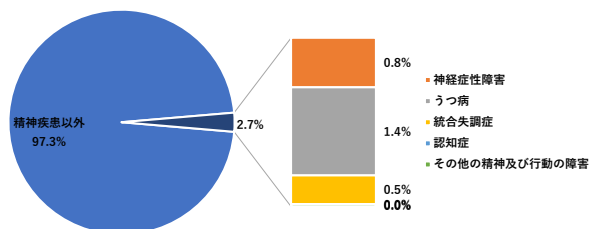
40-44歳



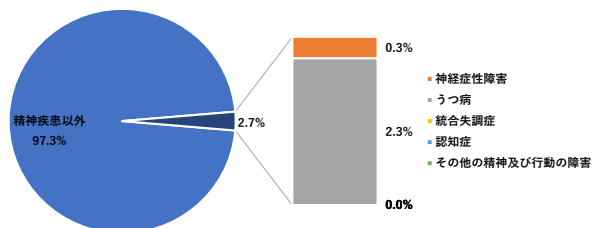
45-49歳



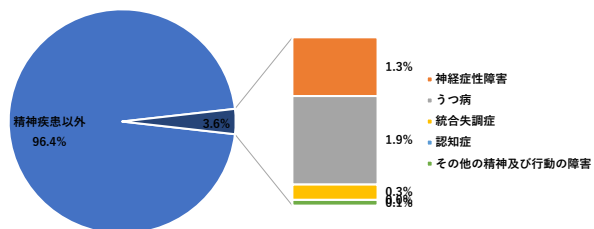
50-54歳



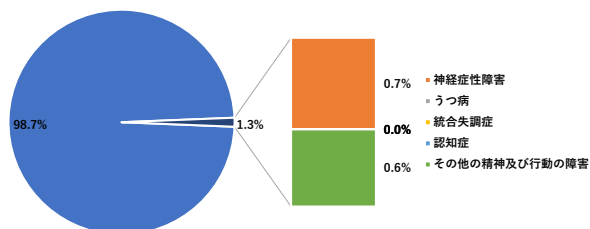
55-59歳



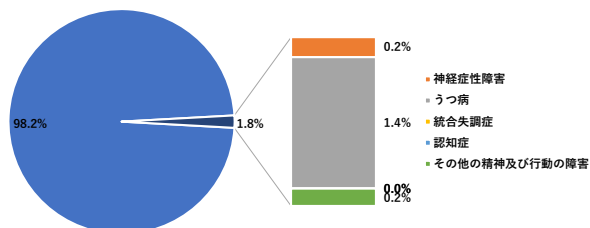
60-64歳



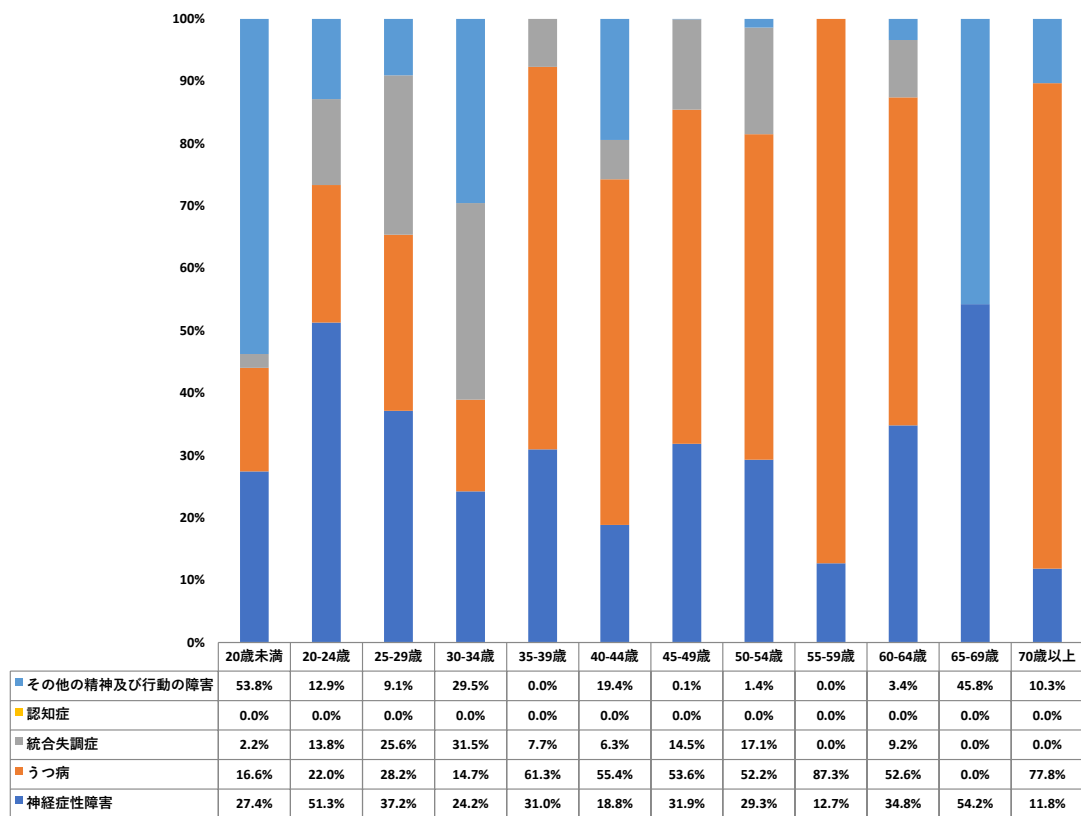
65-69歳



70歳以上

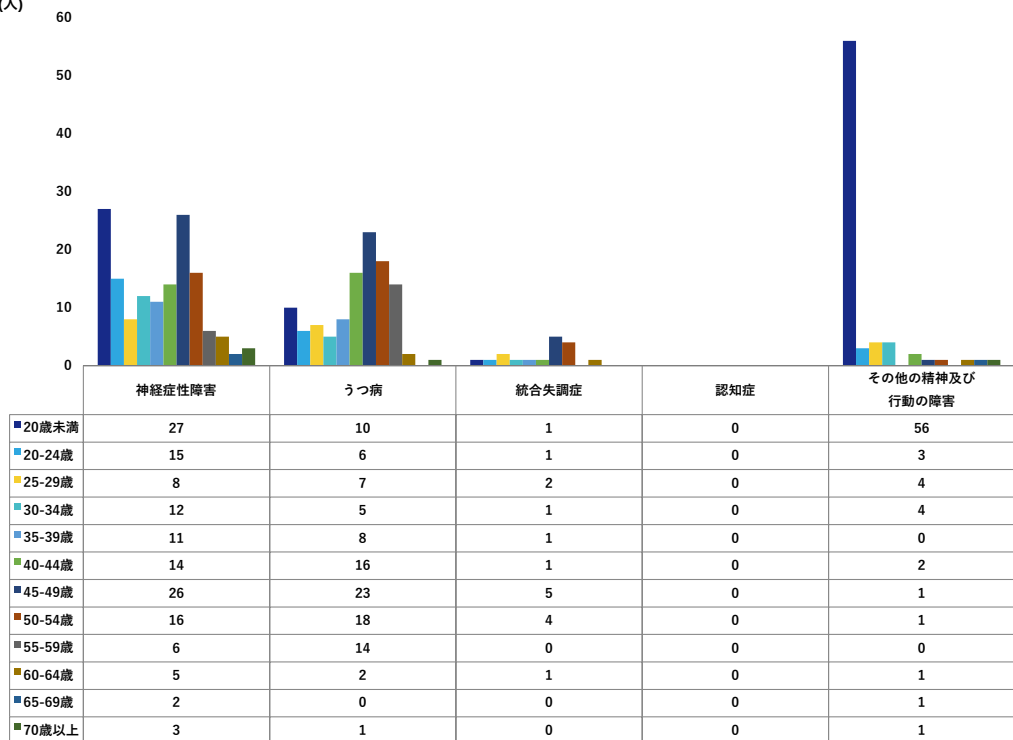


精神疾患の医療費割合

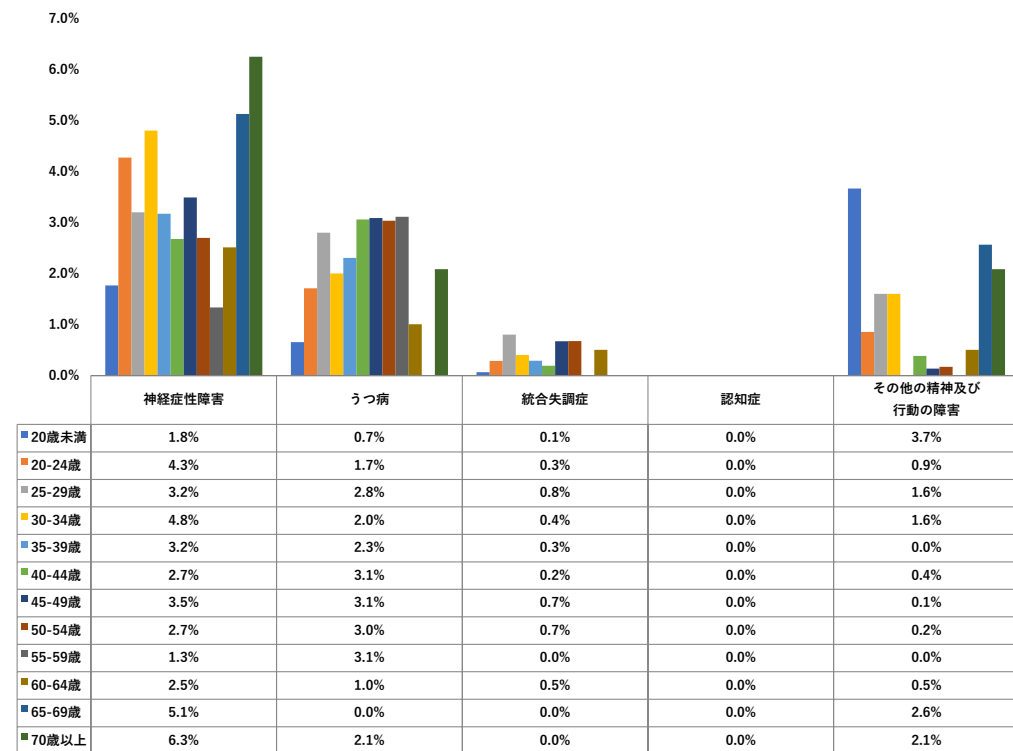


患者数

(人)

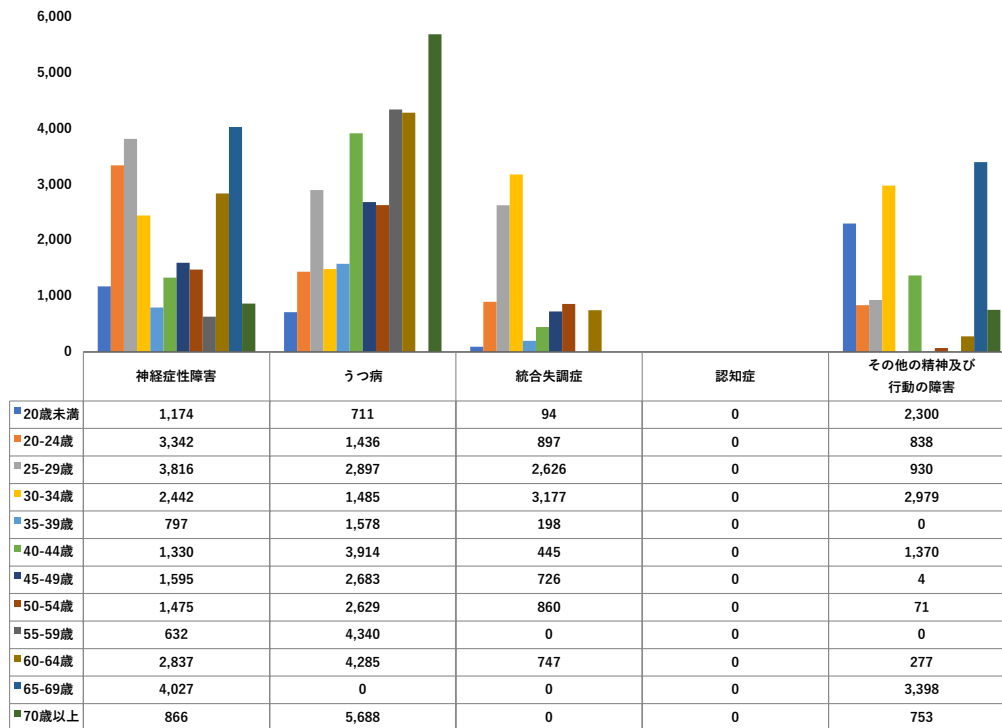


患者割合



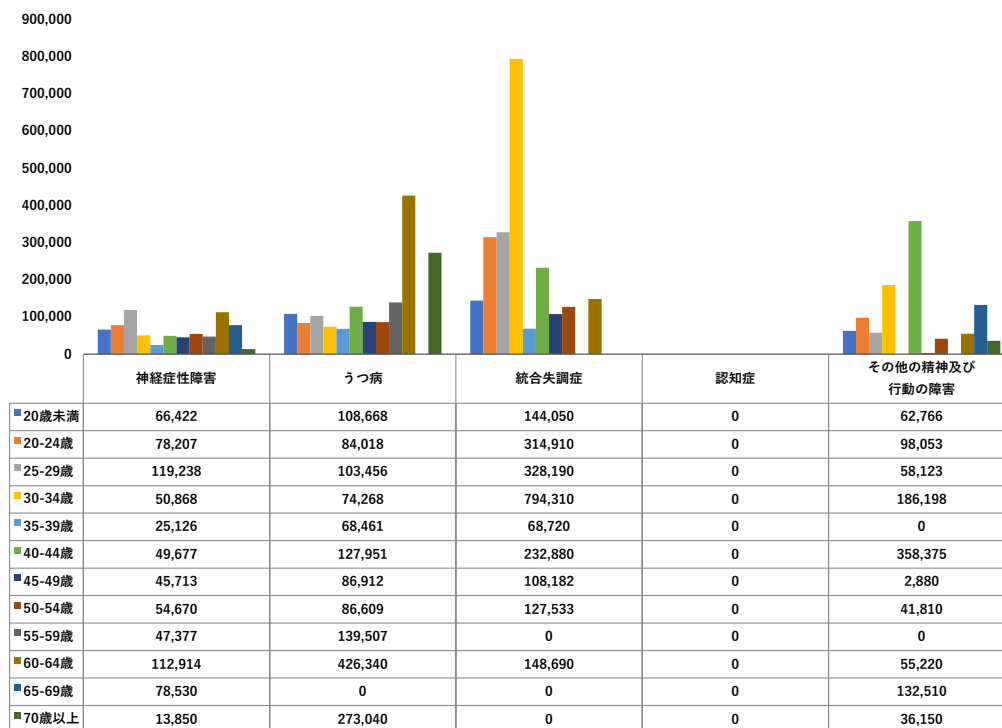
加入者 1 人当たり医療費

(円/人)



患者 1 人当たり医療費

(円/人)



【全体】5-17.糖尿病性腎症対象者の状況

使用データ：レセプトデータ（医科）、健診データ

レセプトデータ使用年月：令和4年4月～令和5年3月診療

健診データ使用年：令和3年～令和4年度

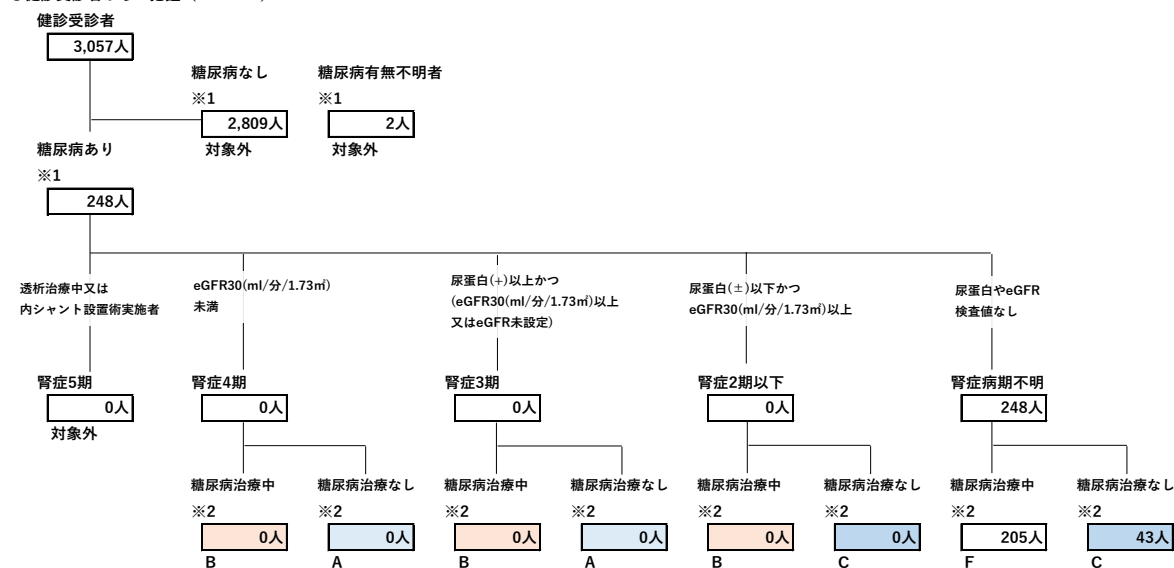
健診受診者：年度末時点で資格保有の健診情報のみ対象とする

糖尿病性腎症対象者の状況

●対象者抽出の考え方

レセプト なし	健診受診者 レセプトなし	健診未受診者 レセプトなし
	C 糖尿病基準該当 + 受診なし 43人 A 糖尿病性腎症 + 受診なし 0人	E 過去に糖尿病治療歴あり 現在治療中断 ※4 11人
レセプト あり	健診受診者 レセプトあり	健診未受診者 レセプトあり
	B 糖尿病性腎症 + 受診あり 0人 F 腎症不明 + 糖尿病基準該当 + 受診あり 205人	D 糖尿病治療中 ※3 48人
	健診受診	健診未受診

●健診受診者からの把握（A・B・C）



※1…糖尿病ありの定義：空腹時血糖126mg/dl以上またはHbA1c6.5%以上、または、糖尿病治療中、過去に糖尿病治療歴あり

※2…糖尿病治療中の定義：当年度に糖尿病治療あり

●健診未受診、レセプトデータからの把握（D、E）

健診未受診者のうち、レセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名があるもの

※3
48人
D

健診未受診者のうち、過去のレセプトに糖尿病病名あるいは糖尿病性腎症病名があるもの

※4
11人
E

※3…当年度に糖尿病（レセ表記 糖尿病：E10～E14）と判定されたレセプトが存在する

※4…当年度に糖尿病（レセ表記 糖尿病：E10～E14）と判定されたレセプトが存在しない かつ
前年度に糖尿病（レセ表記 糖尿病：E10～E14）と判定されたレセプトが存在する

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ウ, エ, オ	- 若い世代から医療費の高騰 - 加齢に伴う疾病発症、重症化による医療費の増加 - 総医療費、加入者1人あたり医療費どちらも男性より女性のほうが高い - 仕事と治療の両立。	➡	- 特定健診やがん検診の利用を促進する。 - 若い世代への健康情報の発信、健康啓発を行う。 - 疾病の早期発見、早期治療の必要性の啓発を行う。 - 加入者への医療費増加の情報提供と適正受診・後発医薬品使用の推進 - 特に女性に対してライフサイクルと女性特有の疾患に対する知識の普及を図る。	
2	カ, キ, ク, ケ	- がん罹患患者数の増加（特に乳がん）と健診による早期発見・重症化予防の低下の懸念 - 被保険者の生活習慣病罹患者と重症化の増加 - 健康づくり、予防に対する意識の低下の懸念 - 妊娠出産に対する情報が少ない可能性 - 新型コロナ感染症後、医療への過度な依存がある可能性 - 被扶養者の筋骨格系疾患の医療費が増加し、総医療費も増加する可能性	➡	- 特定健診やがん検診の利用を促進する。 - がんの早期発見、早期治療の必要性の啓発を行う（特に乳がん検診の受診の充実を図る）。 - 禁煙の啓発を行う。 - 生活習慣病に罹患する前の若年のうちから健康啓発を行う。飲食の改善や運動習慣の定着に向けた取り組みを実施する。 - 妊娠・出産・子育て期の健康情報等を発信する。 - 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の予防に関する啓発を実施する。 - 市販薬での対応可能疾病に対する適正受診の啓発を行う。 - 骨粗しょう症検診を実施する。	
3	コ, サ, シ, ス, セ, ソ	- 糖尿病罹患者は三疾患併発が多く、医療費が高くなる可能性がある。 - 生活習慣病重症化の懸念 - 健康づくり、予防に対する意識の低下の懸念	➡	- 生活習慣病に罹患する前の若年のうちから健康啓発を行う。飲食の改善や運動習慣の定着に向けた取り組みを実施する。 - 生活習慣病悪化防止の必要性の啓発を行う。	
4	ラ, リ, ル	- がん検診受診率低下の懸念 - 生活習慣病改善による罹患抑制が低下している可能性 - 女性の健康づくりへの支援の不足 - 喫煙との関係等、健康情報提供不足の可能性	➡	- 特定健診やがん検診受診の利用を促進する。 - がんの早期発見、早期治療の必要性の啓発を行う。 - 女性への情報提供や健診受診勧奨を行う。 - 喫煙、飲酒、食生活、運動、適正体重などの生活習慣改善とがん予防の関連性の健康啓発を行う。	
5	レ, ロ	- メンタルヘルスに対する啓発と情報提供の不足 - ストレスチェックの活用 - 休職者、通院者に対する支援の不足	➡	- ストレスチェックを促進する。 - 相談の方法や相談機関情報の提供を行う。 - 就労環境や就労状況の改善や配置を検討する。 - 休職者への職場復帰対応、再休職防止への対策を行う。 - メンタルヘルスや睡眠についての知識の普及を図る。	
6	タ	歯科予防に対する対策不足の懸念	➡	- 歯科健診の受診勧奨を行う。 - 歯磨きやマウスウォッシュ等の施行を推進する。	
7	チ	- 健診未受診者は支援を得る機会が少ないため、医療費が高くなる - 生活習慣病発症を見逃し、重症化する可能性 - 健診結果が不透明なことにより、リスク状況の把握が難しい - 特に、女性の受診率が低い	➡	- 被保険者、被扶養者各々、特に女性に健診受診の必要性の啓発、及び健診受診勧奨を行う。 - 医療受療者に対する特定健診の受診勧奨を実施する。	

8	ツ	・要精検者の重症化予防が不足の可能性 ・重症化予防施における健康リスクの高い方を見逃し、重症化する可能性 ・医療機関受診につながっていない者が一定数いる	➡	・重症化リスクが高い者への（医療機関）受診勧奨を実施する。	
9	テ	・生活習慣病、がんなどの疾病罹患の可能性が高くなる	➡	・肥満と病気の関係性の健康啓発を行う ・飲食の改善や運動習慣の定着に向けた取り組みを実施する。	
10	ト，ナ，ニ	・医療機関受診中でもコントロール不良者が一定数いる ・医療機関受診につながっていない者も一定数いる ・重症化している人が被保険者に多い。	➡	・生活習慣病適正治療必要性の啓発を行う。 ・重症化リスクが高い者への医療機関への受診勧奨を実施する。 ・生活習慣病のコントロール不良・治療中断者への保健指導と医療機関との連携を図る。 ・就労環境や就労状態の改善や配置の検討する。	
11	ワ	・過去に糖尿病歴がある健診未受診者が11人いる。	➡	・糖尿病性腎症や高血圧症の悪化予防、適正治療の必要性の啓発を行う。 ・健診未受診者で過去に糖尿病治療歴があり、現在治療中断中の11人の現状を確認し、フォローを実施する。	
12	ヌ，ネ，ノ	・特定保健指導を終了しない人が一定数いる。 ・生活習慣病の見逃しや生活習慣病増加による、医療費増加や重症化の可能性がある。	➡	・健診を受診するための有給休暇制度の設定など、被保険者が受診しやすい環境を整備する。 ・健診未受診者に対して、受診の必要性の啓発、及び、健診受診勧奨を行う。 ・特に女性に特定保健指導の利用促進を図る。参加勧奨の電話や通知などを実施する。 ・利用しやすい指導方法（ICTやウェアラブル端末の活用）や指導業者の選択肢を増加する。被保険者に対しては、勤務時間の調整や事業所、上長への促しの協力を依頼する。保健指導の日程を決め、希望者ではなく、対象者全員に日程を決めて実施する事業所一括面談などを取り入れる。 ・指導対象者に対するインセンティブを活用（初回・終了回、改善した場合）し、参加を勧奨する。	
13	ハ，ヒ	・医科、歯科での使用率が低い ・一部の人でジェネリック医薬品使用への抵抗感がある可能性 ・未成年が単独で受診した際に、後発医薬品を使用する申し出ができていない可能性が高い	➡	・後発医薬品差額通知の送付により、啓発を実施する。 ・保険証に後発医薬品使用に関するシールの貼付を推進する。 ・後発医薬品差額通知を送付する。	
14	ヘ，ホ，マ，ミ	・少数だが、適正に受診できていない人がいる。 ・医療費増加の可能性もある。	➡	・適正受診の必要性の周知を行う。 ・電話や訪問により、状況の確認や適正受診の指導を行う。	
15	ム，メ，モ，ヤ，ユ，ヨ	・新型コロナ感染症後、医療への過度な依存がある可能性 ・去痰剤については入手困難になっているため確保のための受診の可能性 ・かかりつけ薬局やお薬手帳の活用不足 ・加齢とともに多剤になる傾向 ・基礎疾患を有することでより多剤になる可能性	➡	・適正受診、適正服薬についての啓発を実施する。 ・ポリファーマシー対策の一環として、適正受診や適正服薬通知等の通知や電話勧奨を実施し、啓発を図る。 ・併用禁忌薬使用者について、お薬手帳の活用と医療機関との連携について、個別通知を行う。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・加入者数は年々減少しており、年少（15歳未満）、生産年齢（15-39歳）は減少しているが、生産年齢（40-64歳）は、令和3年度までは減少傾向だったが、令和4年度は増加に転じた。65歳以上の前期高齢者割合は、85人前後で推移している。被保険者数と被扶養者数はほぼ同数である。 ・全体の男女比率はおよそ3：2で、40-64歳が半数を占める。 被保険者は、男性が女性の約5倍多く、40－59歳が6割を占める。 被扶養者は、女性が男性の約1.7倍多く、40歳以上の男性は13人である。24歳以下が約7割を占め、女性では40代後半、50代前半の割合も高い。	➡	・加入者への情報提供（加齢と疾患・1人当たり医療費増加の現状の周知、早期治療によるメリットと重症化によるデメリットの見える化） ・管理者との情報共有（加齢と疾患・総医療費と1人当たり増加の現状の周知、早期治療によるメリットと重症化によるデメリットの共有）

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	メタボリックシンドロームを減らす施策を行っていたが、対象者割合の大幅改善は見られなかった。 ○割→○割	➡	・保健指導及び生活習慣改善施策の強化

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
健康課題に応じた保健事業を実施することで加入者の健康増進を図る

事業全体の目標
健康増進に向けた目標値は以下の通り
・特定健診受診率 90%を目指す
・特定保健指導実施率 60%を目指す
・生活習慣病リスク保有率の減少を目指す（以下内訳）
-糖尿病：1.35%
-高血圧：11.6%
-脂質異常症：25.8%

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	事業所別レポートの発行
加入者への意識づけ	
その他	機関誌（灯台）の発行
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診受診率
特定健康診査事業	人間ドック
特定健康診査事業	婦人科健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	健康セミナー
保健指導宣伝	生活習慣病重症化予防
保健指導宣伝	後発医薬品使用促進
保健指導宣伝	重複服薬対策
保健指導宣伝	多剤服薬対策
疾病予防	歯科検診
疾病予防	歯科保健指導
疾病予防	喫煙対策
疾病予防	インフルエンザワクチン接種補助金申請

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者			注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連		
				対象 事業所	性別	年齢						実施計画								
												令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度	
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
保 健 指 導 宣 伝	1	既 存	事業所別レポ ートの発行	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	キ,ケ	-	ア	-	-	-	-	-	-	-	事業所別レポートを用いて、事業主との健康情報の連携を図る。	・健診未受診者は支援を得る機会が少ないため、医療費が高くなる ・生活習慣病発症を見逃し、重症化する可能性 ・健診結果が不透明なことにより、リスク状況の把握が難しい ・特に、女性の受診率が低い
													事業所別レポートを事業主に連携する。	事業所別レポートを事業主に連携する。	事業所別レポートを事業主に連携する。	事業所別レポートを事業主に連携する。	事業所別レポートを事業主に連携する。	事業所別レポートを事業主に連携する。		
	事業所別レポートの配布(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													アウトカムは難しいため、設定しないこととする。 (アウトカムは設定されていません)						
加入者への意識づけ																				
そ の 他	5	既 存	機関誌（灯台） の発行	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者	1	エ,キ,ケ	-	シ	-	-	-	-	-	-	-	機関誌（灯台）の発行を通じて加入者の健康知識の向上を目指す。	・健診未受診者は支援を得る機会が少ないため、医療費が高くなる ・生活習慣病発症を見逃し、重症化する可能性 ・健診結果が不透明なことにより、リスク状況の把握が難しい ・特に、女性の受診率が低い
													機関誌（灯台）の加入者へ発行する。	機関誌（灯台）の加入者へ発行する。	機関誌（灯台）の加入者へ発行する。	機関誌（灯台）の加入者へ発行する。	機関誌（灯台）の加入者へ発行する。	機関誌（灯台）の加入者へ発行する。		
	機関誌（灯台）の発行(【実績値】 2回 【目標値】 令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)-													アウトカムは難しいため、設定しないこととする。 (アウトカムは設定されていません) (アウトカムは設定されていません)						
個別の事業																				
特 定 健 康 診 査 事 業	3	既 存 （ 法 定 ）	特定健診受診 率	全て	男女	40 ～ 74	加入者 全員	3	イ	-	ア	-	8,677	8,677	8,677	8,677	8,677	8,677	生活習慣の改善、医療費の抑制を目指す。	・健診未受診者は支援を得る機会が少ないため、医療費が高くなる ・生活習慣病発症を見逃し、重症化する可能性 ・健診結果が不透明なことにより、リスク状況の把握が難しい ・特に、女性の受診率が低い
													毎年特定健診受診及び人間ドック等の補助を実施する。	毎年特定健診受診及び人間ドック等の補助を実施する。	毎年特定健診受診及び人間ドック等の補助を実施する。	毎年特定健診受診及び人間ドック等の補助を実施する。	毎年特定健診受診及び人間ドック等の補助を実施する。	毎年特定健診受診及び人間ドック等の補助を実施する。		
	特定健診実施率(【実績値】 87% 【目標値】 令和6年度：89% 令和7年度：89% 令和8年度：89% 令和9年度：89% 令和10年度：89% 令和11年度：89%)-													内臓脂肪症候群該当者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：15.5% 令和7年度：15.5% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：14.5% 令和11年度：14.5%)-						
3	既 存	人間ドック	母体企 業	男女	30 ～ 74	加入者 全員	3	ケ	-	ア,カ	-	-	42,196	42,196	42,196	42,196	42,196	42,196	健康状態を把握し、生活習慣病重症化及びがんの早期発見を行い、重症化を事前に防ぐ。	・がん検診受診率低下の懸念 ・生活習慣病改善による罹患抑制が低下している可能性 ・女性の健康づくりへの支援の不足 ・喫煙との関係等、健康情報提供不足の可能性 ・がん罹患者数の増加（特に乳がん）と健診による早期発見・重症化予防の低下の懸念 ・被保険者の生活習慣病罹患者と重症化の増加 ・健康づくり、予防に対する意識の低下の懸念 ・妊娠出産に対する情報が少ない可能性 ・新型コロナウイルス感染症後、医療への過度な依存がある可能性 ・被扶養者の筋骨格系疾患の医療費が増加し、総医療費も増加する可能性 ・健診未受診者は支援を得る機会が少ないため、医療費が高くなる ・生活習慣病発症を見逃し、重症化する可能性 ・健診結果が不透明なことにより、リスク状況の把握が難しい ・特に、女性の受診率が低い
													人間ドックの参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。人間ドックの受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	人間ドックの参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。人間ドックの受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	人間ドックの参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。人間ドックの受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	人間ドックの参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。人間ドックの受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	人間ドックの参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。人間ドックの受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	人間ドックの参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。人間ドックの受診券発行の際に補助を行い受診を促す。		
	人間ドック受診勧奨(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													人間ドック受診人数(【実績値】 995人 【目標値】 令和6年度：1,000人 令和7年度：1,000人 令和8年度：1,000人 令和9年度：1,000人 令和10年度：1,000人 令和11年度：1,000人)-						
3	既 存	婦人科健診	全て	女性	30 ～ 74	加入者 全員	3	ケ	-	ア,カ	-	-	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	7,910	女性の健康状態を把握し、女性特有の疾病の早期発見を行い、重症化を事前に防ぐ	・がん検診受診率低下の懸念 ・生活習慣病改善による罹患抑制が低下している可能性 ・女性の健康づくりへの支援の不足 ・喫煙との関係等、健康情報提供不足の可能性
													婦人科健診の参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。婦人科健診の受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	婦人科健診の参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。婦人科健診の受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	婦人科健診の参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。婦人科健診の受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	婦人科健診の参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。婦人科健診の受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	婦人科健診の参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。婦人科健診の受診券発行の際に補助を行い受診を促す。	婦人科健診の参加勧奨を特定健診と合わせて実施する。婦人科健診の受診券発行の際に補助を行い受診を促す。		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度

アウトプット指標												アウトカム指標											
婦人科健診受診勧奨(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												受診人数(【実績値】 563人 【目標値】 令和6年度：550人 令和7年度：550人 令和8年度：550人 令和9年度：550人 令和10年度：550人 令和11年度：550人)-											

特定保健指導事業	4	既存 (法定)	特定保健指導	全て	男女	40 ～ 74	加入者 全員	3	工,オ	-	ア,ウ	-	10,984	10,984	10,984	10,984	10,984	10,984	特定保健指導の実施率を向上させることで、生活習慣病リスク改善（メタボリックシンドローム等のリスク者）および生活習慣病対象者の減少を目指す。	・特定保健指導を終了しない人が一定数いる。 ・生活習慣病の見逃しや生活習慣病増加による、医療費増加や重症化の可能性がある。			
													・特定健診実施後（9月頃以降）にICT主体として希望があれば対面で実施。 ・被保険者：事業所から参加の呼びかけ ・被扶養者：健診委託会社より呼びかけ。電話勧奨も併せて実施。	・特定健診実施後（9月頃以降）にICT主体として希望があれば対面で実施。 ・被保険者：事業所から参加の呼びかけ ・被扶養者：健診委託会社より呼びかけ。電話勧奨も併せて実施。	・特定健診実施後（9月頃以降）にICT主体として希望があれば対面で実施。 ・被保険者：事業所から参加の呼びかけ ・被扶養者：健診委託会社より呼びかけ。電話勧奨も併せて実施。	・特定健診実施後（9月頃以降）にICT主体として希望があれば対面で実施。 ・被保険者：事業所から参加の呼びかけ ・被扶養者：健診委託会社より呼びかけ。電話勧奨も併せて実施。	・特定健診実施後（9月頃以降）にICT主体として希望があれば対面で実施。 ・被保険者：事業所から参加の呼びかけ ・被扶養者：健診委託会社より呼びかけ。電話勧奨も併せて実施。	・特定健診実施後（9月頃以降）にICT主体として希望があれば対面で実施。 ・被保険者：事業所から参加の呼びかけ ・被扶養者：健診委託会社より呼びかけ。電話勧奨も併せて実施。					
													特定保健指導実施率(【実績値】 60% 【目標値】 令和6年度：60% 令和7年度：60% 令和8年度：60% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)-										
													特定保健指導対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：20.5% 令和7年度：20.3% 令和8年度：20.1% 令和9年度：19.9% 令和10年度：19.7% 令和11年度：19.5%)-										
-												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：23% 令和7年度：22.5% 令和8年度：22% 令和9年度：21.5% 令和10年度：21% 令和11年度：20.5%)分母：特定健診の2年連続受診者で、1年目に特定保健指導を終了した者の数 分子：分母に該当する者のうち、2年目に特定保健指導の対象ではなくなった者の数											
-												腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】 20.1% 【目標値】 令和6年度：21% 令和7年度：22% 令和8年度：23% 令和9年度：24% 令和10年度：25% 令和11年度：26%)分母：特定保健指導修了者 分子：腹囲2cm・体重2kg減となった者											

保健指導宣伝	3	既存	健康セミナー	全て	男女	18 ～ 74	加入者 全員	2	ケ,サ	-	ア	-	300	300	300	300	300	300	被保険者の健康知識の向上を目指す。	・メンタルヘルスに対する啓発と情報提供の不足 ・ストレスチェックの活用 ・休職者、通院者に対する支援の不足						
													事業所主体で健康セミナーを実施し、セミナーに対して補助を行う。	事業所主体で健康セミナーを実施し、セミナーに対して補助を行う。	事業所主体で健康セミナーを実施し、セミナーに対して補助を行う。	事業所主体で健康セミナーを実施し、セミナーに対して補助を行う。	事業所主体で健康セミナーを実施し、セミナーに対して補助を行う。	事業所主体で健康セミナーを実施し、セミナーに対して補助を行う。								
													健康セミナー(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-													
													アウトカム評価が難いため (アウトカムは設定されていません)													
4	既存	生活習慣病重症化予防	全て	男女	40 ～ 74	加入者 全員	1	イ,エ,キ,ク-	ウ	-	ウ	-	2,816	2,816	2,816	2,816	2,816	2,816	重症化予防対策を実施し、加入者の健康促進を行う。	・若い世代から医療費の高騰 ・加齢に伴う疾病発症、重症化による医療費の増加 ・総医療費、加入者1人あたり医療費どちらも男性より女性のほうが高い ・仕事と治療の両立。 ・要精検者の重症化予防が不足の可能性 ・重症化予防施における健康リスクの高い方を見逃し、重症化する可能性 ・医療機関受診につながっていない者が一定数いる ・糖尿病罹患者は三疾患併発が多く、医療費が高くなる可能性がある。 ・生活習慣病重症化の懸念 ・健康づくり、予防に対する意識の低下の懸念 ・過去に糖尿病歴がある健診未受診者が11人いる。 ・生活習慣病、がんなどの疾病罹患の可能性が高くなる ・医療機関受診中でもコントロール不良者が一定数いる ・医療機関受診につながっていない者も一定数いる ・重症化している人が被保険者に多い。						
													生活習慣の重症化予防及び受診勧奨対象者の人数を把握し、健診結果の見える化及び受診勧奨を定期的に行う。	生活習慣の重症化予防及び受診勧奨対象者の人数を把握し、健診結果の見える化及び受診勧奨を定期的に行う。	生活習慣の重症化予防及び受診勧奨対象者の人数を把握し、健診結果の見える化及び受診勧奨を定期的に行う。	生活習慣の重症化予防及び受診勧奨対象者の人数を把握し、健診結果の見える化及び受診勧奨を定期的に行う。	生活習慣の重症化予防及び受診勧奨対象者の人数を把握し、健診結果の見える化及び受診勧奨を定期的に行う。	生活習慣の重症化予防及び受診勧奨対象者の人数を把握し、健診結果の見える化及び受診勧奨を定期的に行う。								
													3疾患リスク保有者の医療機関未受診に受診勧奨を実施(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-								糖尿病リスク保有者の医療機関未受診割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：1.37% 令和7年度：1.37% 令和8年度：1.36% 令和9年度：1.36% 令和10年度：1.35% 令和11年度：1.35%)分母：特定健診受診かつ「脂質異常症」・「血糖」・「血圧」いずれかで医療機関未受診 である者 分子：「HbA1c：＜6.5、空腹時血糖：＜126」 である者					
													-								高血圧リスク保有者の医療機関未受診割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：12.1% 令和7年度：12% 令和8年度：11.9% 令和9年度：11.8% 令和10年度：11.7% 令和11年度：11.6%)分母：特定健診受診かつ「脂質異常症」・「血糖」・「血圧」いずれかで医療機関未受診 である者 分子：「収縮期血圧：＜140、または、拡張期血圧：＜90」 である者					
-						脂質異常症リスク保有者の医療機関未受診割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：26.8% 令和7年度：26.6% 令和8年度：26.4% 令和9年度：26.2% 令和10年度：26% 令和11年度：25.8%)分母：特定健診受診かつ「脂質異常症」・「血糖」・「血圧」いずれかで医療機関未受診 である者 分子：「LDL：＜140、または、中性脂肪：＜300、または、HDL：＜34」 である者																				
													2,816	2,816	2,816	2,816	2,816	2,816								

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラクチャー 分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
7	既存	後発医薬品使用促進	全て	男女	18～74	加入者全員	1	工	-	ウ	-	後発医薬品使用率及び差額を加入者が見える環境化を提供することで、切り替えメリットをいつでも把握できるようにする。	後発医薬品使用率及び差額を加入者が見える環境化を提供することで、切り替えメリットをいつでも把握できるようにする。	後発医薬品使用率及び差額を加入者が見える環境化を提供することで、切り替えメリットをいつでも把握できるようにする。	後発医薬品使用率及び差額を加入者が見える環境化を提供することで、切り替えメリットをいつでも把握できるようにする。	後発医薬品使用率及び差額を加入者が見える環境化を提供することで、切り替えメリットをいつでも把握できるようにする。	後発医薬品使用率及び差額を加入者が見える環境化を提供することで、切り替えメリットをいつでも把握できるようにする。	ジェネリック使用率向上を促進し、医療費の適正化を図る。	・ 医科、歯科での使用率が低い ・ 一部の人でジェネリック医薬品使用への抵抗感がある可能性 ・ 未成年が単独で受診した際に、後発医薬品を使用する申し出ができていない可能性が高い	
後発医薬品差額の明細提供(【実績値】 365日 【目標値】 令和6年度：365日 令和7年度：365日 令和8年度：365日 令和9年度：365日 令和10年度：365日 令和11年度：365日)-												後発医薬品使用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：84% 令和7年度：84% 令和8年度：84% 令和9年度：85% 令和10年度：85% 令和11年度：85%)-								
5	既存	重複服薬対策	全て	男女	0～74	加入者全員	1	工,キ	-	ウ	-	重複服薬該当薬剤の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	重複服薬該当薬剤の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	重複服薬該当薬剤の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	重複服薬該当薬剤の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	重複服薬該当薬剤の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	重複服薬該当薬剤の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	加入者の健康維持及び医療費の適正化を目指す。	・ 少数だが、適正に受診できていない人がいる。 ・ 医療費増加の可能性がある。	
重複服薬明細提供(【実績値】 365日 【目標値】 令和6年度：365日 令和7年度：365日 令和8年度：365日 令和9年度：365日 令和10年度：365日 令和11年度：365日)-												重複服薬の対象者割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0.3% 令和7年度：0.3% 令和8年度：0.3% 令和9年度：0.25% 令和10年度：0.25% 令和11年度：0.25%)-								
5	既存	多剤服薬対策	全て	男女	0～74	加入者全員	1	工,キ	-	ウ	-	2,816	2,816	2,816	2,816	2,816	2,816	加入者の健康維持及び医療費の適正化	・ 新型コロナウイルス感染症後、医療への過度な依存がある可能性 ・ 去瘀剤については入手困難になっているため確保のための受診の可能性 ・ かかりつけ薬局やお薬手帳の活用不足 ・ 加齢とともに多剤になる傾向 ・ 基礎疾患を有することでより多剤になる可能性	
												服薬数の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	服薬数の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	服薬数の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	服薬数の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	服薬数の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。	服薬数の明細を提供することで、注意喚起を定期的に促す。			
服薬数明細の提供(【実績値】 365日 【目標値】 令和6年度：365日 令和7年度：365日 令和8年度：365日 令和9年度：365日 令和10年度：365日 令和11年度：365日)-												多剤服薬の対象者割合 (6種類) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：14.8% 令和7年度：14.8% 令和8年度：14.5% 令和9年度：14.5% 令和10年度：14% 令和11年度：14%)-								
-												多剤服薬の対象者割合 (15種類) (【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0.2% 令和7年度：0.2% 令和8年度：0.2% 令和9年度：0.2% 令和10年度：0.2% 令和11年度：0.2%)-								
疾病予防	3	既存	歯科検診	全て	男女	18～74	被保険者	2	ケ,サ	-	ウ,カ	-	1,485	1,485	1,485	1,485	1,485	1,485	歯科の重症化対策及び糖尿病対策。	・ 歯科予防に対する対策不足の懸念
													歯科検診を事業所と協力し実施する。	歯科検診を事業所と協力し実施する。	歯科検診を事業所と協力し実施する。	歯科検診を事業所と協力し実施する。	歯科検診を事業所と協力し実施する。	歯科検診を事業所と協力し実施する。		
	歯科検診の実施(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												歯科検診によるアウトカム設定は難しいため。 (アウトカムは設定されていません)							
4	既存	歯科保健指導	全て	男女	18～74	被保険者	2	ケ,サ	-	ウ,カ	-	歯科検診を実施後、予防の必要な方に対しては当日の保健指導参加協力を依頼する。	歯科検診を実施後、予防の必要な方に対しては当日の保健指導参加協力を依頼する。	歯科検診を実施後、予防の必要な方に対しては当日の保健指導参加協力を依頼する。	歯科検診を実施後、予防の必要な方に対しては当日の保健指導参加協力を依頼する。	歯科検診を実施後、予防の必要な方に対しては当日の保健指導参加協力を依頼する。	歯科検診を実施後、予防の必要な方に対しては当日の保健指導参加協力を依頼する。	歯科の重症化対策及び糖尿病対策。	・ 歯科予防に対する対策不足の懸念	
歯科保健指導の実施(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												歯科保健指導のアプトカムは難しいため (アウトカムは設定されていません)								
5	既存	喫煙対策	全て	男女	20～74	被保険者	3	工,オ,ケ	-	ア,ウ	-	HP、イントラヘ禁煙外来全額補助であることを掲載。	HP、イントラヘ禁煙外来全額補助であることを掲載。	HP、イントラヘ禁煙外来全額補助であることを掲載。	HP、イントラヘ禁煙外来全額補助であることを掲載。	HP、イントラヘ禁煙外来全額補助であることを掲載。	HP、イントラヘ禁煙外来全額補助であることを掲載。	喫煙リスク保有者を減らすことで、疾病の重症化を予防する。	該当なし (これまでの経緯等で実施する事業)	
禁煙外来参加告知(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												喫煙リスク保有率(【実績値】 25.9% 【目標値】 令和6年度：26% 令和7年度：26% 令和8年度：25.5% 令和9年度：25.5% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)-								
8	既存	インフルエンザワクチン接種補助金申請	全て	男女	0～74	加入者全員	3	ケ	-	ア	-	10月～2月にかけて、インフルエンザワクチン接種の補助金を実施する。	10月～2月にかけて、インフルエンザワクチン接種の補助金を実施する。	10月～2月にかけて、インフルエンザワクチン接種の補助金を実施する。	10月～2月にかけて、インフルエンザワクチン接種の補助金を実施する。	10月～2月にかけて、インフルエンザワクチン接種の補助金を実施する。	10月～2月にかけて、インフルエンザワクチン接種の補助金を実施する。	インフルエンザワクチン接種の補助金を行うことで、予防接種参加率を向上させ、重症化を防ぐ。	該当なし (これまでの経緯等で実施する事業)	
補助金の実施(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												インフルエンザワクチン摂取者数(【実績値】 1,249人 【目標値】 令和6年度：1,300人 令和7年度：1,300人 令和8年度：1,300人 令和9年度：1,300人 令和10年度：1,300人 令和11年度：1,300人)-								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他